

## 第五十九回 帝國議院貴族院 地租法案特別委員會議事速記録第十號

昭和六年三月二十二日(日曜日)午前十時  
十九分開會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 開會イタシマス

○森田福市君 チヨット議事進行ニ付テ二ツダケチヨット……質問ノ方ガアリマスカ

ラ議事進行上ニツダケ御尋ネ致シマス、一ツハ私ガ請求シテ居ル廣島縣ノ参考材料ヲマダ御配付ニナラヌ、政府ノ都合ガ惡イト云フ結果カラデアルカモ知レマセヌ、惡イカラト云フノデ遅レ貰<sup>タ</sup>テハ困ルノデアリマス、ソレカラ又新聞紙ノ傳フル所ニ依ル通過ガ確實デアル、通過ガ確實デアルカラ、モウ材料ヲ出サナクテモ宜イト云フヤウニ考ヘテ居ラレルノデアルカ、勿論通ル通ラヌニ拘ラズ、議員ノ要求シタ材料ハ速ニ、私ハ、御出シニナッタラ宜シイ、私ハ廣島縣ト福岡縣ト、此ニツラ請求シテ居ル、福岡ト廣島ト御出シニナラヌ、廣島縣ハ都合ガ惡イト云フコトニナルノデアルカ、好イ悪イハ別問題デアリマス、都合ガ惡カラウガ、委員ガ要求シタモノハ速ニ夜業シテデモ御出シニナッタラ宜イノデアリマスガ、

ソレトモ強ヒテ御出シニナリマセヌカ、ドウカ、此點ヲ明カニシテ置キタイ、ソレカトハ、斯ウ云フコトハドウナルノデス、稅務官吏ガ徵稅ヲスル爲ニ、所謂稅金ノ取立ニ行キテ、其徵稅ヲ、所謂稅金ヲ取<sup>タ</sup>テ、場合ニ、ソレハ國庫ノ損失トナルモノデアッテ、納稅者ノ損失トナルノデナイト思フガ、此點ヲダウ云フ風ニ御解釋ニナルノデアリマセウカ、此ニ點ヲ御聽キシタイノデアリマス。

○政府委員(岡田周造君) 只今、廣島縣ノ町村別ノ附加稅等ノ調べヲ出サナイト云フノハ、ドウ云フ事情デアルカト云フコトデアリマスガ、御話ノ通り、先日、廣島縣、福岡縣ヲ特ニ御指定ニナリマシタ御要求ガアリマシタノデ、私ノ方デ各府縣調査シマシテ、十人内外ノ手ヲ以チマシテ殆ド深夜マデ作業イタシマシテ數日間ヲ要スル調査ガアリマス、其外、長岡サンノ方カラモベデアリマス、御話ガアリマシテ、同時ニ重ナリマシタ爲ニ調査ガ出來ナクテ差上ゲラレヌ次第デアリマス、今調査中デアリマスカラ、調査方出来次第、差上ゲルコトニ致シマス。

○森田福市君 今ノ内務省關係デ申上ゲマスガ、調査中デアルカラ調査出來次第出斯ガニシテ戴カヌト、モウ此委員會トシテモ、ト仰シヤルガ、一體イツ御出シニナルカ明カニシテ戴カヌト、モウ此委員會トシテモ、議會トシテモ、サウ長クナイノデアリマス、

カト云フコトヲ明カニシテ戴キタイ、即チ

何日ニ出スカ、議會後ニ出スナラ出スト云フ

コトヲ明カニシテ戴キタイ、ソレカラ主

稅局長ノ今ノ御答ハ分リマシタ、要スルニ

稅金ノ收入ニ行<sup>タ</sup>者ガ領收書ヲ發行シタ

以上ハ國庫ノ損失トナル、現在ノ廣島稅務署ニ起キテ居ル問題ハ、金額ト、ソレカラ

ソレトモ強ヒテ御出シニナリマセヌカ、ドウカ、此點ヲ明カニシテ置キタイ、ソレカトハ、斯ウ云フコトハドウナルノデス、稅務官吏ガ徵稅ヲスル爲ニ、所謂稅金ノ取立ニ行キテ、其徵稅ヲ、所謂稅金ヲ取<sup>タ</sup>テ、場合ニ、ソレハ國庫ノ損失トナルモノデアッテ、納稅者ノ損失トナルノデナイト思フガ、此點ヲダウ云フ風ニ御解釋ニナルノデアリマセウカ、此ニ點ヲ御聽キシタイノデアリマス。

○政府委員(岡田周造君) 只今、廣島縣ノ町村別ノ附加稅等ノ調べヲ出サナイト云フノハ、ドウ云フ事情デアルカト云フコトデアリマスガ、御話ノ通り、先日、廣島縣、福岡縣ヲ特ニ御指定ニナリマシタ御要求ガアリマシタノデ、私ノ方デ各府縣調査シマシテ、十人内外ノ手ヲ以チマシテ殆ド深夜マデ作業イタシマシテ數日間ヲ要スル調査ガ出來ナクテ差上ゲラレヌ次第デアリマス、今調査中デアリマスカラ、調査方出来次第、差上ゲルコトニ致シマス。

○森田福市君 今ノ内務省關係デ申上ゲマスガ、調査中デアルカラ調査出來次第出斯ガニシテ戴カヌト、モウ此委員會トシテモ、ト仰シヤルガ、一體イツ御出シニナルカ明カニシテ戴カヌト、モウ此委員會トシテモ、議會トシテモ、サウ長クナイノデアリマス、

カト云フコトヲ明カニシテ戴キタイ、即チ

何日ニ出スカ、議會後ニ出スナラ出スト云フ

コトヲ明カニシテ戴キタイ、ソレカラ主

稅局長ノ今ノ御答ハ分リマシタ、要スルニ

稅金ノ收入ニ行<sup>タ</sup>者ガ領收書ヲ發行シタ

以上ハ國庫ノ損失トナル、現在ノ廣島稅務署ニ起キテ居ル問題ハ、金額ト、ソレカラ

國庫ノ損失トナル金額等ノ調査ニ付テ御報

告ヲ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(青木得三君) 只今直グ申上ゲ

ルヤウニト云フ御要求デゴザイマスレバ今

書類ヲ取寄セテ居リマスカラ、後程マテ御

待チヲ願ヒマス

○政府委員(岡田周造君) 廣島縣ノコトニ

付キマシテ只今申上ゲマシタヤウナ次第デ

アリマスルガ、外ノ縣ヲ調べマシタノニ十

人内外居リマシテ深夜業マデヤッテ數日掛

リマシタ經驗ヲ以テ申シマスレバ、尙ホ二

三日ハドウシテモ掛ルダラウト思ヒマス

○森田福市君 一二三日デヤ分リマセヌ、議

會ノ開會中ニ御出シニナリマスカ、議會ノ

閉會後ニ御出シニナルカト云フコトヲ申シ

テ居ルノデアリマス、十數人デ足ラヌナラ

三十數人デモ御掛ケニナツラ宜シイ、人數

ヲ私ガ指定シテ居ルノデナイ、人數ハアナ

タノ方ノ御隨意デ、アナタノ方ガ日ヲ明カ

ニシテ戴キタイ、餘リ無責任ナ答辯ヲセズ

ニ、内務大臣ヲ出シテナリ、ハッキリ仰シ

ヤツラ宜イト思ヒマス、無責任デハ困ル

○政府委員(岡田周造君) 關係ノ者ガ深更

マデ作業シテ居リマシテ、ソレデ出來ナイ

ヤウナ狀態デアリマシテ、出來ルマデ御待

チヲ願フ外仕方ガナイヤウニ考ヘマス

○森田福市君 出來ルノハ即チイツデスカ

ト云フコトヲ聞ウタノデス、地方局長ガ居

ラレルデアリマセウ、出來ルマデト云フヤ

ウナ生温イコトデハ……二十五日ニ議會ガ

濟ムノデアルカラ、ソレマデニ出サレルカ

出サレヌカト云フコトヲ仰シヤツラ宜イ

○政府委員(岡田周造君) 従來ノ深夜業ヲ

繼續シ出來得ルダケ早ク調べテ、出來次第

提出スルコトニ致シタイト思ヒマス

○森田福市君 出來次第トハ議會ノ開會中

デアリマスカ、閉會後デスカ、ナゼハッキリ

シナイカ

○政府委員(岡田周造君) 出來次第差上ゲ

マス、開會中ニ出來マスレバ早速差上ゲル

コトニ致シマス

○森田福市君 開會中ニ出來レバト仰シ

ヤルコトハ、其裏ハ開會中ニ出來ナイト云

フ虞レガアルノデアリマスカ、地方局長ノ答

辯ヲ望ミマス、事實ヤッテ居ラレヌノデセ

ウ、アナタノ方ハ都合ガ惡イカラヤッテ居ラ

ヌノデセウ

○政府委員(次田大三郎君) 私カラ御答ヘ

致シマス、今他ノ政府委員カラ御答ヘ致シ

マシタ通リニ、地方局ノ掛ノ者ガ全部總掛リ

デ調べテ居リマスノデ、是ハ人數ヲ殖ヤセバ

宜シイト云フ御話、ゴザイマスガ、外カラ人

ヲ連レテ來マシテモ此調べハ直グニハ出來

マセヌノデアリマシテ、地方局ノ總動員ヲ

ス、十分ニ私ハ質問應答ヲ聽イテ居リマシ

テ、サウシテ疑點カ残シテ居ルノデアリマ

カラ、更ニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマ

ス、一昨日、濱口總理大臣モ仰セニナツタノ

デアリマスガ、軍縮ノ剩餘財源ハ負擔ノ輕

減トナスコトヲ社會ニ聲明サレタノデアル

カラ、若シ本法案ガ通過シナイ場合ニ於テ

ハ、國民ハ甚ダ失望スルダラウト云フ意味

今御出シニナツテ居ルノハ餘リ正確ナモノ

デナイ、廣島縣ノハ私ガ相當正確ナモノヲ

手ニ入レテ居ル、ソコノ間ガ喰違ヒノアル

虞レガアルカラ遠慮シテ居ルヤウニ聞イテ

居ル、ソレハ困ルノデアリマス、ドウゾ喰

違ヒガアッテモ、アナタノ方ノモノデ宜シイ

カラ開會中ニ間ニ合フヤウニ御出シ下サル

モノト、ソレヂヤ認メテ置キマス

○男爵井上清純君 私ハ一昨日濱口總理大

臣カラノ御答辯ヲ得マシタケレドモ、其點

ニ付キマシテ更ニ海軍大臣カラ御答辯ヲ

得タイ點ガ出テ來タノデアリマス、ソレ故

ニ議事進行上、海軍大臣ノ御出席ヲ、イツ

デモ宜シイノデアリマスカラ、要求シテ置

クノデアリマス、次ニ大藏大臣ニ伺ッテ宜シ

ウゴザイマスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイ

ヌ所ノ錯誤トナルノデアラウカト思フノデ

アリマス、地價、以テ地租ヲ御取リニナツテ居タコトニ付キマシテハ、負擔ノ公平ヲ維持スルコトガ出來ナイト云フコトデ、之ヲ

御改正ナサルコトニ付テハ、或ハ賃貸價格ニ依ルトカ、或ハ賣買價格ニ依ルトカ、或多方面ガアルノデアリマスルガ、其中ニ最モ賃貸價格ニ依ルノガ宜シト云フヤウナ御決定ニ達シタト云フコトデアリマスルケレドモ、是ハ十五年ニ調査會ノ答申ニ依テ、オヤリニナッタトシマシテモ、何故ニ今日減税ト云フモノヲ標榜サレテ、斯ウ大キナ所ノ根本的ノ地租條例ヲ御改正ニナルト云フコトニ付キマシテハ、私共ハドウモ其儘ニ受容レルコトガ困難ニナッテ來テ居ルノデアリマス、此際ニ於テハ小サナ、例ヘバ僅カバカリノ關稅ノ改正ニ付キマシテモ、調査會ヲ御開キニナッテ居ルノニ拘ラズ、地租條例ノ改正ト云フヤウナ大キナ問題、殊ニ地方稅ニ對スル所ノ地方問題ニ關スル問題ニ付テ調査會モ御設ケニナラナイ、政府ガ獨斷專行サレルト云フコトニ付キマシテハ而モシナケレバナラスト云フコトハ、常識的ニ見テモ非常ナ困難ナモノデアルト云フコトハ申ス迄モナイコトグラウト思フノデアリマス、斯ウ云フ困難ナコトヲ我ミニ御望ミニナルニ付キマシテハ、モント周到ナル所ノ總理大臣邊リカラノ御説明ガナケレバナラ

大臣ノ御説明ニ依リマスト、全ク辯護士的ニ……一體、各商工會議所、或ハ農會トカ、マス、何故ニ斯ウ云フ改正ヲナサル前ニアリマスカ、若シアッタコトナラバ答申ハドコニアルノデアリマス、其御答申ヲ先ヅ承リタイト思フノデアリマス、之ニ付テ大藏大臣カラ私共ニ能ク分ルヤウニ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス  
○國務大臣(井上準之助君) 御答ヘ致シマス、井上男爵ノ御問ニ對シテ御答ヘ致シマスガ、地租法ノ改正ト減税ト云フコトヲ…先日ドナタカノ御質問ニ對シテ御考ヲ願ヒタタヤウニ、全クニシニ分ケテ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、從テ私ハ先ニ、地租法ノ改正ガ何故ニ必要デアッタカ、ドノヤウナ手續ヲ執テ進シテ來タカヲ大要説明イタシマスト、御承知ノ如ク地租條例ト云フモノガアリマシテ、數十年間地價ニ依テ地租案トシテモ地租價格ノ調査ニ依テ改正シヤウセヌノデアリマスガ、多分私ノ記憶ニ依リマスト、加藤友三郎内閣ノ時ノ調査會ノ一案トシテモ地租價格ノ調査ニ依テ改正シヤウト云フヤウナ議ガアッタコトヲ記憶イタシテ居リマス、サウ致シマシテ其後ニドウシテモ改正セヌケレバナラヌト云フ大勢ニ迫

ソレデ先日大橋君カラ舉ゲラレタヤウニ、地租ノ租率其モノヲ度々國ノ必要カラシテ上ガタリ下ゲタリシテ居リマスケレドモ、シテ、サウシテ之ニ依テ調査ヲシテ地租條例ヲ改正シヤウ、斯ウ云フコトデ豫算モ千萬圓、調査費ヲ豫算ニ計上、イタシマシテ、サウシテ大正十五年ト昭和二年ト丸二箇年掛リマシテ之ヲ調査イタシタノデアリマス、サウシテ豫定ハ昭和三年カラ只今ココニ出シテ居リマス地租法ヲ提出スルノガ豫定デアッタノデゴザイマス、若シ其時ニ豫定スガ、地租法ノ改正ト減税ト云フコトヲ…ト、今日ノヤウニ、ヤッパリ賃貸價格ヲ本ニシテ宅地ヲ調査シテ、サウシテ掛けテ居リガ發達シテ、宅地ガ田畠ト大變違テ來タ、マス、ソレダケノコトデアリマシテ、都市ニ於キマシテモ場所ニ依テ非常ニ收入ガ

テ居ル、サウ云フコトヲ公平ニスル爲ニ達ラテ居ル、サウ云フコトヲ公平ニスル爲ニス、井上男爵ノ御質問ニ對シテ御考ヲ願ヒタタヤウニ、全クニシニ分ケテ御考ヲ願ヒタイノデアリマス、從テ私ハ先ニ、地租法ノ改正ガ何故ニ必要デアッタカ、ドノヤウナ手續ヲ執テ進シテ來タカヲ大要説明イタシマスト、御承知ノ如ク地租條例ト云フモノガアリマシテ、數十年間地價ニ依テ地租案トシテモ地租價格ノ調査ニ依テ改正シヤウセヌノデアリマスガ、多分私ノ記憶ニ依リマスト、加藤友三郎内閣ノ時ノ調査會ノ一案トシテモ地租價格ノ調査ニ依テ改正シヤウ評議ニ掛けテヤッタノデアリマス、サウシテノヲ設ケマシテ、日本全國ニ稅務署管内ニツヅツ委員會ヲ置イテ、サウシテ皆之ニ出来上ガリマシテ、昭和三年ニ之ヲ實行スルノデアリマシテ、其間ニ地租委讓ト云フヤウナ違タ案ガ出テ來タノデアリマシテ、今日マデ延ビテ居タルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマシテ、只今農會トカ或ヘ商業會議所トカ何トカ云フヤウナ問題ハドウカト云フ御尋デア

リマスガ、殆ド土地調査委員會ト云フモノノ  
ハ非常ニ廣汎ナモノデ、日本全國ニ多數ノ  
會ガ出來マシテ、其土地土地ノ、何ト申シ  
マスカ、所得稅調查委員ト云フヤウナ種類ノ  
人ガ皆其中ニ入ツテ討議イタシマシタノデ  
アリマス、ソレデアリマスカラ其土地土地ニ  
付テノ此變化ハ其土地土地ノ人ニ調査サセ  
ルト云フコトノ意味カラシテ調査會ト云フ  
モノガ出來テ居リマス、サウシテ若シ減稅  
ト云フモノガ無クシテ、即チ昨年ノ議會ニ  
提出イタスコトニシテ居リマシタ案ニ依リ  
マスト、ソレガ減稅ノナカッタ時ノ地租法ノ  
案デアリマスガ、市街宅地ノ方デ九百万圓  
稅率ガ殖エマス、農村ノ方デハ九百万圓減  
リマス、即チ總額ニ於テ一厘ノ差ガナイヤ  
ウニシテ、其中デ負擔ノ公正フ圖ル爲ニ、  
宅地ガ九百万圓殖エテ田畠ガ九百万圓減ル  
ト、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ガ即  
チ減稅ニ關係ガナイ時ノ地租法ノ大體ノ骨  
子デアリマス、即チソレヲ、モーツノ言葉  
デ説明イタシマスト、過去ノ日本ノ經濟界  
ノ變遷ニ依リマスト、宅地ノ方ノ賃貸價格ガソレダ  
ケソレダケ上ツテ、田畠ノ賃貸價格ガソレダ  
ケ下ツテ居ルト云フコトデ、兩者ノ釣合ガ取  
レルト、斯ウ云フコトニナル次第アリマ  
ス、即チ一昨日デアリマシタカ大橋氏カラ

色と例ヲ舉げラレマシテノ御話デアリマシ  
タガ、左様ナ所モアリマセウ、併ナガラ賃  
貸價格其モノヲ正シクシマスト、其結果ハ  
ドウデアルカト申セバ、市街宅地ト云フモ  
ノハ經濟上ノ變化、總テノ變遷ニ依ツテ非常  
ニ賃貸價格ガ殖エテ居ル、然ルニ負擔ガ輕  
レダケ輕クナツ居ル、根本ノ收入ガ殖エテ  
居ルニ拘ラズ、田畠ニ比較スルト負擔ガ輕  
クナツテ居ル、ソレダケ根本ノ收入、  
或ハ地ノ價值ト云フ所謂賃貸價格ニ依ツテ  
見レバ、ソレダケ殖エルノガ當然デアルノ  
ガ殖エテ居ナイ、片方ハ減ルノガ當然デア  
ルガ減ツテ居ナイ、斯ウ云フコトニナリマス  
ノガ地租法ノ根本デアリマス、ソコデ今度  
減稅ガソレニ加ハリマシタ結果ガ現在ノ千  
八十万圓ホド地租ヲ減稅イタシマシタ結果  
ガ九百万圓殖エルト云フ筈ノ宅地ガ五百万  
圓少シ上、殖エルコトニナリマシテ、田畠  
ノ方ニハ千五百万圓減稅ニナル、斯ウ云フ  
コトニナツタ結果デアリマス、地租法ト減稅  
ト區別シテ御考ヘ下サリマスト、御了解ガ  
出來ルコトト考ヘテ居リマス

ルモノダト考ヘルノデアリマス、併ナガラモ過ギテ居ルシ、殊ニ昨年來ノ此財界ノ變動ト云フモノハ民間經濟界ニ及ボシマシテ、非常ニ其當時ノ事情トハ異ナルモノガアルト考ヘマス、ソコニ賃貸價格ノ課稅法ガ宜シイモノトシマシテモ、永イ間地價法デ… 地價デ以テ標準サレタ地租ト云フモノガ誠ニ不合理ナモノデハアタノデアリマスガ、ソレヲ不合理ノ儘ニ放ツテ置カレタト云フコトハ、先ヅ政治家モ怠慢ト申サナケレバナラヌモノト國民カラハ思フノデアリマス、併ナガラ永イ間地價デ以テヤッテ居ラレタ爲ニ自ラ社會ニハソレヲ又補フ所ノモノガ出來テ居タト思フノデアリマス、何トナレバ地租ガ輕イ所ニ於テハ惡イ地面ニ於テモ高ク評價サレルコトハ申ス迄モナイコトデアリマシテ、自ラノ間ニ於テ均勢ト云フモノハ自然ニ取レルベキモノダト考ヘルノデアリマス、併ナガラ是等ノコトガアリマシテモ不合理ノコトヲ改正サレルコトニ向シテハ咨カナラザルモノデアルニ付テハ、大藏大臣ノ御説明デ十分ニ私共ハ了承スルノデアリマスガ、併ナガラ今度ノ地租條例ノ御改正ニナツタ點ハ何處ニアルカト云フコトハ、今ノ賃貸價格ニ依ルノト、ソ

レカラモウ一ツハ此賦課ノ率ガ變更サレタモノハ、此二點ガ主ナル點ダラウト思フノデアリマス、然ルニ私共ハ能ク此地租ノコトニ付テハ承知シマセヌケレドモ、此地租ヲ取ラナイ除外例ノ所ガ澤山アルト思フノデアリマス、社會的ノ事業ヲヤ、テ居ル所、例ヘバ或ハ鐵道線路ト云フヤウナモノハ取フテ居ラナイグラウト思フノデアリマス、然ト云フヤウナモノハ敷地ハ除外例ノ中ニハルニ此濟生會ノ病院トカ、或ハ無線電信所這入テ居ラヌヤウニ思フノデアリマス、寺院ノヤウナ所、神社佛閣ノ敷地ハ除外例ニナッテ居リマスガ、マダサウ云フ社會的ノ事業ノ中ニ於テ除外サレナイ所ガ多々アルト思フノデアリマス、何故ニ地租ノ根本的改正ヲ施サレムトスル場合ニ於テハ斯ウ云フ社會的ノ施設ニ付テ何故考慮ヲ拂ハレナカツタカ、來年アル所ノ稅制整理ノ際ニ於テハ、地租ニ付テハ成ベク手ハ觸レナイ積リデアルト云フコトヲ大藏大臣ガ仰セニナッテ居リマス所ヲ見マスルト、モウ此地租法ト云フモノガ制定サレル以上ハ、近イ内ニ調サレル所ノ現内閣ガ、何故ニシテ此地租ニ付テ社會的ノ考慮ヲ拂ハレナカツタノカ、強

其點ヲ承リタイノデアリマス

○國務大臣(井上準之助君) 第一ノ點八私

カラ御答へ致シマスルガ、成程昭和二年ニ  
賃貸價格ヲ調査イタシマシテカラ後ノ經濟  
界ハ大分違<sup>ツ</sup>テ居ル、併ナガラ違<sup>ツ</sup>タ事柄ガ、  
若シ假ニ市街地ノ賃貸價格モ下<sup>ト</sup>タ、即刻ノ  
通ジテ、凡ソ平等ニ下<sup>ト</sup>テ居ルト言ヒマスナ  
ラバ、負擔ヲ公正ニスルト云フ見地カラ見  
マシタナラバ何等妨<sup>ツ</sup>ゲナイ、斯ウ我ミハ考  
ヘタノデアリマス、ノミナラズ成程、時々  
刻々一年、二年經ツ申ニハ、市街地ノ中デ  
場所ノ違<sup>ツ</sup>所ノ爲ニ或ル特殊ノ田地ガ價格  
ガ違ヒ、賃貸價格ノ違フコトハ出テ來マス、  
是ハモウ時ガ經ツニ從<sup>ツ</sup>テ已ムヲ得ナイコ  
トト考ヘテ居リマス、東京アタリデ、非常  
ナ、郊外ノ盛ニナリ、又中心地ガ賃貸價  
格ガ下<sup>ト</sup>テ來ルコトハアリマス、是ハ併ナガ  
ラ今後ニ於キマシテモ已ムヲ得ヌ事情デア  
リマスノデ、從テ十年目十年目ニ賃貸價格  
ノ調査ヲシテ行<sup>ト</sup>テ、實際ノ變化ニ連レテ此  
地租法ヲ改正シヤウトスウ云フ考デゴザイ  
マス、從テ只今仰シヤラレル事柄ガ昭和三  
年ニ實行スペキノガ昭和六年マデ延ビテ居  
ルガ爲ニ、左様ナ事實ガ出テ參リマシタノ  
デ、ソレハ一般經濟界ノ變動デアルカラ、

其間ニ差支ハナイト斯ウ考ヘテ居リマス、  
ト、斯ウ云フ意味デハナイノデアリマス、  
況ヤ目前ノ今日ノ田畠ヲ考ヘテ見マシタナ  
ラバ、米ト繭ノ下ツタ爲ニ、今年アタリヲ申  
シマシタラバ、田地田畠ノ賃貸價格ノ下リ  
方ノ方ガ宅地ヨリカズット酷カラウト思フ、  
併シソレハ十ヶ年間ト云フ長イ價値ヲ決メ  
ルノデアリマスカラ、必シモ一年ヤ二年ノ  
所ニ拘<sup>ム</sup>テ、ソレヲ決メル積リハ勿論ナイノ  
デアリマス、從テ只今御指摘ニナリマシタ  
ヤウニ、年限ガ二年カ三年延ビタガ、成程  
ソレニハ多少ノ變化ガアリマスガ、決メマ  
シテ後ノ十ヶ年間ハ同一ノ賃貸價格ヲ臺帳  
ニ掲ゲテ、ソレヲ課稅ノ標準リシテ行クノデ  
アリマスカラ、只今御指摘ノヤウナコトハ  
十年目ニ變化イタシマスコトハ是ハ免レナ  
イ現象デアルノデアリマスカラ、其點ハサ  
ウ御了解ヲ願<sup>フ</sup>テ置キマス、只今ノ無線電信  
及濟生會ノ病院等ノ事柄ニ付キマシテハ、  
實例ヲ以テ政府委員カラ一應御説明申上ゲ  
タ方ガ宜シカラウト思ヒマス

シテ居リマス、御話ガゴザイマシタ恩賜財團濟生會ノ用地ニ付キマシテ、地租ヲ免除シ來屢々議會ニ請願等モ出テ居ルノデアリマシテ、又大藏省ニ直接陳情等モゴザイマシタ、從テ此地租法ヲ改訂イタシマス時ニハ其點ハ十分慎重ニ考慮ヲ加ヘマシタノデゴザイマス、其點バカリデハゴザイマセヌノデ、此第四條ノ免租地ノ範圍ヲ如何ニ決定スペキカト云フコトニ付キマシテハ、種種ナル問題ガゴザイマシテ、例へバ此公益法人ノ使用スル所ノ土地ニ付テモ免稅ヲシテ貰ヒタク、恩賜財團濟生會ノ使<sup>ツ</sup>テ居リマス土地ヲ免租スルナラバ、其他ノ赤十字社デアリマストカ、或ハ愛國婦人會デアリマストカ云フヤウナモノガ使<sup>ツ</sup>テ居ル土地ニモ免稅スペキモノデハナイカ、其他ノ公益法人ニ付テモ同ジヤウナコトヲシナケレバナラナイノデアルト云フヤウナ意見モゴザイマシテ、色ニ研究ヲ致シマシタノデゴザイマス、後ニ御尋ニナリマシタ無線電信ノ土地等モ併セテ研究ヲ致シマシタノデアリ四條ノ範圍ヲ更ニ擴張シテ、或ハ無線電信或ハ恩賜財團濟生會ト云フヤウナモノヲ其

1

中ニ新タニ加ヘルト致シマスト、ソレトノ  
權衡ト致シマシテ種々ナルモノヲ之ニ加ヘ  
ナケレバナラナイヤウナコトニナリマシ  
テ、其處ニ限界點ヲ設ケルコトガ極メテ困  
難ナル事情デゴザイマスノデ、御覽願ッテ居  
リマスヤウニ、大體ニ於テ現行法ノ第四條  
ト同一趣旨ノ規定ヲ茲ニ作リマシテ、サウシ  
テ御話ガゴザイマス點ハ新タニ免租スルト  
云フコトハ致シマセヌデシタ、併シ是ハ決  
シテ簡単ニサウ云フコトヲ決定シタノデハ  
ゴザイマセヌデ、十分研究考慮ノ結果デゴ  
ザイマス

ヲ高メルコトニナルト、甚ダ國家ト云フモノハ多年社會政策ヲシテ居ル者ニ對シテ、ケレバナラヌコトニナルノデアリマス、而モ將來トテモ租稅ハ上ヲテモ賃貸價格ヲ上ゲルコトハ不可能ノ所ガ多々アルト思フノデアリマス、是等ノモノニ對シマシテハ、誠ニ日本ノ今マデ恩情的ナル社會ノ氣分ヲ惡クスルヤウナコトニモ立至ルベキモノダト考ヘマスルカラ、斯ノ如キ地租ト云フモノノ御變革ニ對シマシテハ、地方ノコトモ大事ニ考ヘナケレバナラヌガ、中央ノ、殊ニ東京ト云フヤウナ首都ノ地面ガ如何ヤウニナシテ居ルカト云フコトニ付テモ深甚ノ考慮ヲ御拂ヒニナラナケレバナラヌ、是等ノコトニ付キマシテモ、唯私共ハマダ地租條例ノ改正ニ向テ、大藏省ガ十分ニ審議ヲ盡サレテ居ラヌヤウナ點ガアルト考ヘルノデアリマス、次ニ伺ヒタイコトハ賃貸價格ヲ課稅標準トスルノヲ、假ニ最善ノモノトシマシテモ、只今大藏大臣ガ御話ニナラレマシタ如クニ、大正十五年四月現在ノ調査ノ賃貸價格ハ頗ル適正ヲ缺クモノト思フノデアリマス、數年間ノ平均ヲ採ラレタト云フノデアリマスケレドモ、調査以來六年モ過ギテ居ルシ、恐ラクハ政府ハ此前ニ千

万圓ノ巨費ヲ拋タレテ、種々ナル困難ヲ爲ザレテ調査ヲサレタ其結果ノ反故ニナルコトヲ非常ニ恐レラレテ、其調査ノ結果ヲ活用セムトサレテ、地租條例ノ改正ヲ提案サレタノデアラウカト思フノデアリマス、而モ調査其モノニ粗漏ガアルト云フコトハ、丁度内閣ノ交代スル時期デアルノデアリマスルカラ、ドウ考ヘテモ調査スル心理狀態ハ宜クナカタト思フ次第デアリマス、ドウモ粗漏ガアタヤウニモ見受ケルノデアリマス、一々例ヲ舉ゲナクテモ有リ得ベキコトダト思フノデアリマス、而モ賃貸價格ト云フモノハ十年毎ニ御調べニナルト云フコトデアリマス、併シ大藏大臣ハ賃貸價格ノヤウナモノハ毎年調べナケレバ正確ナモノハ得ラレナイト云フコトヲ何處デカ言明サレテ居ラレマス通リニ、非常ニ變更ガ多イモノデアリマス、私共ハ十年ト云フコトハ、ノデアリマス、次ニ伺ヒタイコトハ賃貸價格ヲ課稅標準トスルノヲ、假ニ最善ノモノトシマシテ、サウシテ各用地、田畠、宅地、其他雜種地ノ間ノ公平ヲ保ツト云フコトノ爲ニ、之ヲ計畫シタノデアリマス、調査イタシマシテ、單獨ニ申シマシタナラバ、ソレハ賃貸價格ガ今是デヤナリ、宅地ノ賃貸價格ハ是デヤナイト言ハレル、併シソレナラバ、田地、田畠モ共ニ下ガタテ居ル、斯ウ云フナラバ其目的ニハ差支ナイ、トスウ我々ハ考ヘマスノミナラズ、井上男爵ガ五年ト仰シヤラレマス、五年毎ニ調査シロト仰シヤラレマスガ、十年目ニ調査イタシマシテ

ナケレバ其目的ハ到達ズルコトハ出來チイト思フノデアリマス、茲ニ此賃貸價格ヲ標榜ニスルコトノ甚ダ困難ナル事情、困難ナル弱點ガアルト思フノデアリマス、而モ之ヲ調査スルコトガ非常ニ多額ノ費用ガ掛ルト云フノデアリマシテ、將來ハドウシテモ掛ル、ソレデ甚ダ不當ダ、經濟上ノ狀態ガ變タカラ、實際ニ適合シナイ、斯ウ仰シヤラレマスガ、賃貸價格ノ調査ヲ致シマスス、五箇年毎ニ六百万圓ノ費用ヲ投ジ、而モ其收入ハ六千七百万圓ト云フコトデアルト考ヘルノデアリマス、是等ノ意味ニ於テモ、課稅ノ公正ヲ期スル上ニ於テ、私ハ折角千万圓ヲ投ゼラレテ、大正十五年四月現在デ以テ御調べニナシタ調査ハドウモソレハ此儘今日オヤリニナル、ト云フコトハ、折角ノ地租條例ノ根本的改正デアリマスカラ、モウ一年クラキ御待チニナシテ、再調査ヲ爲サタ上ニサル、ノガ無理ガ行カナイヤリ方デアラウカト思フノデアリマス、政治ト云フモノハ唯理論デハ行カヌカト思フナイ譯ニ參ラヌノデアリマス、五箇年毎ニ更正スルノガ適當デヤナイカ、一年毎ニヤルコトハ非常ニ金ガ掛ルカラ是ハ出來ナイトシマシテモ、五箇年位ニハ一度之ヲ調査ノ賃貸價格ハ頗ル適正ヲ缺クモノト思フノデアリマス、數年間ノ平均ヲ採ラレタトシナケレバナラヌヂヤナイカト云フヤウナコトヲ考ヘマス、負擔ノ公正ヲ期セラ、ルコトハ非常ニ金ガ掛ルカラ是ハ出來ナイトシマシテモ、五箇年位ニハ一度之ヲ調査ノ賃貸價格ハ頗ル適正ヲ缺クモノト思フノデアリマスカラ、調査ハ頻々オヤリニナラ

ナケレバ其目的ニハ差支ナイ、トスウ我々ハ考ヘマスノミナラズ、井上男爵ガ五年ト仰シヤラレマス、五年毎ニ調査シロト仰シヤラレマスガ、十年目ニ調査イタシマシテノデアリマスカラ、調査ハ頻々オヤリニナラノヤウデゴザイマスガ、一番當初ニ仰シヤラレタ賃貸價格ヲ調査シテ、實行マデニ三年準ニスルコトノ甚ダ困難ナル事情、困難ナル弱點ガアルト思フノデアリマス、而モ之ヲ調査スルコトガ非常ニ多額ノ費用ガ掛ルト云フノデアリマシテ、將來ハドウシテモ掛ル、ソレデ甚ダ不當ダ、經濟上ノ狀態ガ變タカラ、實際ニ適合シナイ、斯ウ仰シヤラレマスガ、賃貸價格ノ調査ヲ致シマスス、五箇年毎ニ六百万圓ノ費用ヲ投ジ、而モ其收入ハ六千七百万圓ト云フコトデアルト考ヘルノデアリマス、是等ノ意味ニ於テモ、課稅ノ公正ヲ期スル上ニ於テ、私ハ折角千万圓ヲ投ゼラレテ、大正十五年四月現在デ以テ御調べニナシタ調査ハドウモソレハ此儘今日オヤリニナル、ト云フコトハ、折角ノ地租條例ノ根本的改正デアリマスカラ、モウ一年クラキ御待チニナシテ、再調査ヲ爲サタ上ニサル、ノガ無理ガ行カナイヤリ方デアラウカト思フノデアリマス、政治ト云フモノハ唯理論デハ行カヌカト思フナイ譯ニ參ラヌノデアリマス、五箇年毎ニ更正スルノガ適當デヤナイカ、一年毎ニヤルコトハ非常ニ金ガ掛ルカラ是ハ出來ナイトシマシテモ、五箇年位ニハ一度之ヲ調査ノ賃貸價格ハ頗ル適正ヲ缺クモノト思フノデアリマス、數年間ノ平均ヲ採ラレタトシナケレバナラヌヂヤナイカト云フヤウナコトヲ考ヘマス、負擔ノ公正ヲ期セラ、ルコトハ非常ニ金ガ掛ルカラ是ハ出來ナイトシマシテモ、五箇年位ニハ一度之ヲ調査ノ賃貸價格ハ頗ル適正ヲ缺クモノト思フノデアリマスカラ、調査ハ頻々オヤリニナラノヤウデゴザイマスガ、一番當初ニ仰シヤラレマス、五年毎ニ調査シロト仰シヤラレマスガ、十年目ニ調査イタシマシテ

ナケレバ其目的ハ到達ズルコトハ出來チイト思フノデアリマス、茲ニ此賃貸價格ヲ標榜ニスルコトノ甚ダ困難ナル事情、困難ナル弱點ガアルト思フノデアリマス、而モ之ヲ調査スルコトガ非常ニ多額ノ費用ガ掛ルト云フノデアリマシテ、將來ハドウシテモ掛ル、ソレデ甚ダ不當ダ、經濟上ノ狀態ガ變タカラ、實際ニ適合シナイ、斯ウ仰シヤラレマスス、五箇年毎ニ六百万圓ノ費用ヲ投ジ、而モ其收入ハ六千七百万圓ト云フコトデアルト考ヘルノデアリマス、是等ノ意味ニ於テモ、課稅ノ公正ヲ期スル上ニ於テ、私ハ折角千万圓ヲ投ゼラレテ、大正十五年四月現在デ以テ御調べニナシタ調査ハドウモソレハ此儘今日オヤリニナル、ト云フコトハ、折角ノ地租條例ノ根本的改正デアリマスカラ、モウ一年クラキ御待チニナシテ、再調査ヲ爲サタ上ニサル、ノガ無理ガ行カナイヤリ方デアラウカト思フノデアリマス、政治ト云フモノハ唯理論デハ行カヌカト思フナイ譯ニ參ラヌノデアリマス、五箇年毎ニ更正スルノガ適當デヤナイカ、一年毎ニヤルコトハ非常ニ金ガ掛ルカラ是ハ出來ナイトシマシテモ、五箇年位ニハ一度之ヲ調査ノ賃貸價格ハ頗ル適正ヲ缺クモノト思フノデアリマス、數年間ノ平均ヲ採ラレタトシナケレバナラヌヂヤナイカト云フヤウナコトヲ考ヘマス、負擔ノ公正ヲ期セラ、ルコトハ非常ニ金ガ掛ルカラ是ハ出來ナイトシマシテモ、五箇年位ニハ一度之ヲ調査ノ賃貸價格ハ頗ル適正ヲ缺クモノト思フノデアリマスカラ、調査ハ頻々オヤリニナラノヤウデゴザイマスガ、一番當初ニ仰シヤラレマス、五年毎ニ調査シロト仰シヤラレマスガ、十年目ニ調査イタシマシテ

ナケレバ其目的ニハ差支ナイ、トスウ我々ハ考ヘマスノミナラズ、井上男爵ガ五年ト仰シヤラレマス、五年毎ニ調査シロト仰シヤラレマスガ、十年目ニ調査イタシマシテノデアリマスカラ、調査ハ頻々オヤリニナラノヤウデゴザイマスガ、一番當初ニ仰シヤラレマスス、五箇年毎ニ六百万圓ノ費用ヲ投ジ、而モ其收入ハ六千七百万圓ト云フコトデアルト考ヘルノデアリマス、是等ノ意味ニ於テモ、課稅ノ公正ヲ期スル上ニ於テ、私ハ折角千万圓ヲ投ゼラレテ、大正十五年四月現在デ以テ御調べニナシタ調査ハドウモソレハ此儘今日オヤリニナル、ト云フコトハ、折角ノ地租條例ノ根本的改正デアリマスカラ、モウ一年クラキ御待チニナシテ、再調査ヲ爲サタ上ニサル、ノガ無理ガ行カナイヤリ方デアラウカト思フノデアリマス、政治ト云フモノハ唯理論デハ行カヌカト思フナイ譯ニ參ラヌノデアリマス、五箇年毎ニ更正スルノガ適當デヤナイカ、一年毎ニヤルコトハ非常ニ金ガ掛ルカラ是ハ出來ナイトシマシテモ、五箇年位ニハ一度之ヲ調査ノ賃貸價格ハ頗ル適正ヲ缺クモノト思フノデアリマス、數年間ノ平均ヲ採ラレタトシナケレバナラヌヂヤナイカト云フヤウナコトヲ考ヘマス、負擔ノ公正ヲ期セラ、ルコトハ非常ニ金ガ掛ルカラ是ハ出來ナイトシマシテモ、五箇年位ニハ一度之ヲ調査ノ賃貸價格ハ頗ル適正ヲ缺クモノト思フノデアリマスカラ、調査ハ頻々オヤリニナラノヤウデゴザイマスガ、一番當初ニ仰シヤラレマス、五年毎ニ調査シロト仰シヤラレマスガ、十年目ニ調査イタシマシテ

モ、五年目ニ調査イタシマシテ來年賃貸價格ヲ決メテ地租法ヲ改正イタシマシテモ、後ノ四箇年間ハ其決メマシタ賃貸價格ニ依ツテ稅ヲ取ルノデアリマス、從テ是マデノ經驗ニ依リマシテバ、四年五年ノ間ニハ同ジ市街地ノ中デモ、或ハ田地田畠ト宅地ト比較イタシマシテモ、其賃貸價格ハ可ナリ變ラウト思ヒマス、併シソレハ已ムヲ得ナイ事情デアリマシテ、毎年斯様ナ廣汎ナ調査ヲシテ、巨額ナ金ヲ使ツテ稅ヲ取ルコトガ出來マスレバ、ソレハ結構デアリマスガ、ソレガ出來ナイトスレバ、多少ノソコニ大同小異ハアリマスガ、サウ云フ變動ハ來マスノデアリマスガ、ソコノ所ヲ御覽下サイマスト、左様ナ意味ノ缺點ハナイト考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一つノ御言葉ノ中ニアリマシタガ、市街地デ社會政策ノ爲ニ特ニ非常ニ地代ヲ安クシテ居ルノガアル、然ルニソレニモ今度ハ變動ヲ來タスゾ、斯ウ仰シャイマスガ、併シ其例ハ一方カラ申シマスルト、市街地ノ中デ御承知ノ如ク地價ニ依ツテ基礎ヲ出シテ居ル、ソレヲ今日ノ現狀ノ賃貸價格トニ賃貸價格ハ上ツテ居ル、何十倍ニ地價ガ、即チ土地ノ賣買價格ガ上ツテ居ルト云フノ

ハ非常ニ多イノデアリマス爲ニ、ソコラガ  
負擔ノ公正ヲ保ツ爲ニハ、ドウシテモソコ  
ニ調査ヲシテ、サウシテ總テノ地目ノ間ニ  
シタノデアリマスガ、明治十七年ニ地租條  
例ガ決マッテ、今日マデ一切根本ノ改正ヲシ  
テ居リマセヌ、明治十七年カラ今日マデ地  
位ノ變、テ居ルト云フコトハ非常ナコトデ  
アラウト私ハ考ヘテ居リマス、一方ニハ非  
常ニ上<sub>レ</sub>テ居ル所モアリ、上リ方ノ少イ所モ  
アル、ソレヲ公正ニ致サウト云フ結果デア  
リマスカラ、ドウシテモ或ル場合ニハ所謂  
地位、賃貸價格ガ上<sub>レ</sub>テ居レバ地租ヲ餘計納  
メルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイ結果  
ニナルノデゴザイマス、ソレカラ五年ニシ  
タラ宜カラウト云フ御説モアリマス、成程  
理想カラ申シマシタナラバ、近イ上ハナカ  
ラウト思ヒマス、近イト云フコトガ一番實  
際ノ變動ニ對シテノ用意ガ一番正シイノデ  
アリマスガ、ナカニ其金ガ千万圓モ今度  
ハ掛リマスマイ、併ナガラ二箇年掛<sub>レ</sub>テヤリ  
タト云フコト、ソレカラ明治十七年ニ  
決マツタモノヲ今日迄ドウシテモ出來ナカッ  
マシタト云フコト、二ツ考ヘテ見マスト、理  
想的デハアリマセヌケレドモ、先ヅ十年グ

ニアラウカ、トスウ云々、我ニハ十年ト云フコトニ決メタノデアリマス、數字上ノ根據モ何モアリマセヌ、一種ノ腰ダメニシカ過ギナインデアリマスケレドモ、假ニニ年掛チテ調査スルト見テ置クト、五年ダト云フコトハ後三年シカ残フヌト云フコトニナリマシテ、是ガ一ツノ當時ノ仕事ノヤウナ形ニアリマスト云フト、國ト致シマシテハ可ナリノ大事業ニナリマスカラ、十年ト云フコトニ決メマシタ次第デアリマス、ソレカラ最後ノ地租法ノ改正ヲ止メテ減稅ダケヲ此際ヤツタラドウダ、モウ少し詳シク調査イタシタラドウダ、斯ウ仰シヤラレマスガ、地租ノ改正ヲシテ賃貸價格ヲ調査シテ目ノ前デ御覽下サイマスト、成程高クナッタ宅地租カラ申シマスト、甚ダ稅ガ殖エルトスウ言ハレマスガ、之ヲ止メマス結果ハ田地田畠烟カラ言ヒマスト、自分達ノ賃貸價格ハ下テ居ナガラ依然トシテ從來ノ負擔ヲセヌケレバナラヌ、斯ウ云フ感ジガ田地田畠ノ所有者ニアルト見ナクチヤナルマイト思ヒマス、折角永年ノ懸案ヲ茲ニ調査ヲ致シテ結果ガ出テ減稅ガナケレバ……、九百万圓ノ田畠ニ於キマシテ減稅ニナル、減稅サルベキモノガ之ヲ止メラレバサウ云フ感ジハ

私ハ當然アルト考ヘテ居リマス、サウ云フ意味  
デアリマスカラ負擔ノ公正ヲ圖ルト云フ意味  
カラシテ茲ニ地租法ヲ出シテ、而モ賃貸價  
格ヲ調査シタ結果ガ左様ナ數字的ノ結論ガ  
茲ニ出テ居リマス以上ハ、一日モ早ク負擔  
レガ即チ國民全體ノ立場カラ行ケバ當然ノ  
儀デハナカラウカト考ヘテ提案イタシタ次  
第デゴザイマス

ナルヤウナ、ソシナ拙イ變革ハ起テ來ナカタダラウト思フノデアリマス、一億三千四百万圓デモ都市ノ稅制ニ向テ減稅ヲスルコトハ困難トナリマシテ、其爲ニ地租ダケニ付テハ一部增稅ニナルト云フコトモ已ムヲ得ナイト云フ御方針デ、此度ノ御提案ヲ御出シニナッタモノダトハ思ヒマスルガ、其處ニ病ガアルト思フノデアリマス、更ニ二億、三億万圓ノ財源ガオアリニナッタモバ、都市モ亦等シク減稅ノ恩典ニ浴シタモノダト思フノデアリマス、而モ一年先キニハ稅制財政行政ニ向テ整理ヲサレルノデアリマス、ソコニ初メテ恒久的ノ財源ガ得ラレル譯デアラウト思フノデアリマス、其恒久的ノ財源ニ依テ地租ヲ御變革ニナッタナラバ、都市ニ於テモ又町村ニ於テモ均シク減稅ノ恩典ニ浴スベキモノデアルノニ、今此財源ガ甚ダ缺乏シテ居ル際ニ於テ此地租條例ヲ改革サレルト云フコトヲ急ガレク爲ニ、都市ニハ增稅ニナルト云フヤウナ誠ニ反對的ノ現象ヲ茲ニ生ミ出サレタト云フコトヲ私共ハ悲マナイ譯ニ參ラヌノデアリマス、今ヤ國民ハ片方ニ於テハ少シク國防、否、大キナ國防ノ缺陷ヲ生ジテ居ルケレドモ、片方ニ於テハ負擔ノ輕減ヲ多少タリトモ得ルコトヲマダシモノ慰安トシテ待フテ

居ルノデアリマス、其頭ベニ向テ都市ダケ、殊ニ都市ト云フモノハ一國ノ文化ノ中心デアリマス、知識……指導階級ノ居ル者ニアリマシテ、是ハ大事ナ所デアリマス、恐ラクハ全國ノ町村ト都市ト相竝行スベキモノデアッテ、ドチラガ重イトカ輕イトカ言フコトガ出來ナイヤウナ大キナ使命ヲ國家ニ有テ居ル、其都市ニ向テ三倍八割ト云フヤウナ增稅ニナルコトハ、實際上ニ於テハ、其額ニ於テハ或ハ小ナルモノデ、……比較的小ナルモノデアルヤモ知レマセヌガ、免ニ角、增稅ニナッタナラバ、國民ハ一體ドウ云フ政治デアルカト云フコトヲ疑ハナイトガ起テ來ル、ソレハ皆此不增減主義ガ齎ラズモノデアル、何故ニ不増減主義ヲ執ラウ云フ政治デアルカト云フヤウナ變ナコトガ起テ來ル、ソレハ皆此不增減主義ガ齎ナケレバナラヌカト云ヘバ、財源ガ無イ力ナレアリマス、ソレデアルカラ財源ガ有タシテ、矢張リソコニ宅地ト田畠ノ間ノ不公正ガ依然トシテアルトスウ云フコトニリマシテ、矢張リソコニ宅地ト田畠ノ間ノ不公正ガ依然トシテアルトスウ云フコトニナルカラ宜シイデハナイカト云フヤウナ、ソシナ僅カナ理由ニ依テ此大キナ地租條例ト云フモノヲ改革サレルト云フコトニ付テハ、モットモット深ク政府ノ御信念ヲ承ラシ付テ大藏大臣ノ御說ヲ承リタイノデアリマス

**○國務大臣(井上準之助君)** 井上男爵ノ御意見及御質問ニ對シテ先刻私、申上ゲマシタガ、重ねテノ御質問デアリマスカラ御答果ハ總稅額ニ於テハ變ラナイト仰シヤルカラマスガ、此稅ハ國民負擔ニ不公正ダカラテ、當然此改革ニ依テ出サナケレバナラヌモノガ出サナイデ、三倍八割ニ止テ居ル、モノニ一般ニ轉嫁サレルコトニナルノデアリマシテ、是亦甚ダ不合理ナルモノト言ハケレバナラヌノデアリマス、其點ヲ緩和サレタコト、其モノニ付テ又不合理ガ起テモコトアルノデアリマス、ドチカト言ヘバ三倍八割以上ノ稅率ヲ掛ケラレル所ノモノハ負擔力ハモットアルノデアリマシテ、ソレ以上ノモノガ負擔力ガ足ラナイノデアリマス、負擔力ノアルモノヲ緩和シテ、足ラナイモノニ之ヲ賦課シナケレバナラヌト云フヤウナ變ナコトガ起テ來ル、ソレハ皆此不增減主義ガ齎ナケレバナラヌカト云ヘバ、財源ガ無イ力ナレアリマス、ソレデアルカラ財源ガ有タシテ、矢張リソコニ宅地ト田畠ノ間ノ不公正ガ依然トシテアルトスウ云フコトニナルノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ賃貸價格調査ノ結果ガ市街宅地ノ賃貸價格ガ田畠ノ賃貸價格ヨリカ、過去ノ數十年間ニ殖エテ居ルノデ、稅ヲ餘計負擔シテモ宜イデヤナイカト斯ウ云フ極ク普通ノ道理カラ行ケバ行クノデアリマス、稅ノ公正ヲ圖リマス爲ニハ私方申上ゲル迄モナク斯様ナ問題ハイツモ起テ參リマスノデ、稅制調査ヲ致シマシテ、成程、減稅バカリヲスル、斯ウ云フ、財源ノ事情ガ許スナラバ宜シウゴザイマスガ、此稅ハ國民負擔ニ不公正ダカラテ補テ行カウ、殖ヤサウ、斯ウ云フコトヲ致シマスレバ、是ト同ジヤウナ問題ハ常ニ生ズルノデアリマス、財源ガ巨額ニ有リマ

法ヲ改正スル場合ニ財源ガアッタナラバ宅地ニモ增稅ニナラズニ行ケルデハナイカト云フ御話デアリマシタガ、假ニ宅地モ下ゲ同率デ田畠モ下ゲマシタナラバ、左様ナコトモ出來得ルノデアリマスガ、假ニ或ル程度ノ財源ガアリマシテ、宅地ダケ上ゲズニ置ク、田畠ハ下ゲタガ宅地ダケ上ゲズニ置カウト云ヒマスト、地租法ノ改正ノ根本目的ハ全ク達セラレヌトスウ云フコトニナルカラ宣シイデハナイカト云フヤウナ、其儘何等審議サレナイデ、唯一般的ニ減稅ニナルカラ宣シイデハナイカト云フヤウナ、ソシナ僅カナ理由ニ依テ此大キナ地租條例ト云フモノヲ改革サレルト云フコトニ付時マデ御待チニナッタラドウカト云フコトヲ先程カラ申上ゲテ居ルノデアリマス、之ニ付テ大藏大臣ノ御說ヲ承リタイノデアリマス

シテ税制調査が常ニ減税アリマスナラ  
バ、不公正ナル税ヲ全部ヘヅッテシマヒサヘ  
タ状態ニハ適當デアル、斯ウ致シマスレバ  
其新タナ税ナリ税率ナリ、殖ヤサレルモノ  
ハ、イツデモ只今井上男爵ノ言ハレルヤウ  
ナ事態ヲ茲ニ惹起シテ來ルノデゴザイマ  
ス、ソレデゴザイマスカラ地租法ト減税ト  
云フモノハ全ク別物デアルノデアリマスル  
ガ、唯、茲ニ提案ノ状態カラ云ヒマスト、  
地租法ヲ改正シ、改正シテ未ダ實行シテ居  
ナイ中ニ、其地租額ヲ減サウト、斯ウ云フ  
ノデアリマスカラ離スコトノ出來ナイ法案  
ニナシテ居リマスカラ、御手許ニ御協賛ヲ仰  
イデ居ル次第アリマス、サウ云フ状態デ  
アリマスカラ其點ハサウニツニ分ケテ御考  
ヲ願シテ置キタイノト、ソレカラ税制調査ヲ  
致シマシテ減税ダケヂヤナイト斯ウ言ヒマ  
スト、常ニ斯様ナコトガ起シテ参リマス、ソ  
レカラ只今ノヤウニ三倍八割止メタ、斯  
ニ云ヘバ十倍賃貸價格ガ上シテ居ルモノヲ、  
三倍八割止メタノハ不都合ダト云フコト  
ノハ十倍取レバ宜シイヂヤナイカト云フ御

○男爵井上清純君　只今、大藏大臣ハ地租トソレカラ減税トハ全ク分離シテ考ヘナケレバナラヌト云フコトヲ先程カラモ重ネテ仰セデアリマシタ、分離シテ考ヘルト云フコトデアルナレバ、是ハ増減税案デアリマシテ、單ナル減税案デハナインデアリマス、無論是ハ全部括メテ減税案トモ何トモ名稱ハ付イテ居ラヌノデアリマスケレドモ、倫敦條約ノ效果ニ依ツテ國民ハ減税サレルノデアルト云フコトデアルカラ、若シモ此法

スルカラト云フヤウナ意味合ヒニ濱口總理大臣ガ仰セニナツタノデアリマス、ソレデアルカラ私ハ地租ト云フモノハ分ツベキモノハ無論分ツベキモノデ、地租ト云フモノハ無論分ケルベキモノデアリマスケレドモ、一緒ニナツテ減稅案トシテ茲ニ提出サレテ居ルノデアリマス、其意味合ヒデ殊ニ我ミハ審議シナケレバナラヌト考ヘテ居リマスカラ、只今マデヨリ增稅ニナルコトハオカシイコトデアル、ソレナラバ此地租條例ノ改正ト云フコトハ、イソ外ノ時ニオヤリニナッタラ宜カラウト云フコトヲ申上ゲテ居ルノニ、此際オヤリニナルト云フモノヲ一緒ニ敦條約ノ結果ニ依ルモノト國民ハ認メテ居リマスカラ、其際ニ斯ウ云フモノヲ一緒ニ突ツキ込マレルト云フコトハ、政府ノ御趣旨ガ通ラヌコトニナルト考ヘルノデ、ソレヲ申上ゲタノデアリマス、ソレデアリマスカラ、此三倍八割ト云フコトハ、ソレ以上ノ者ノ増稅額ヲソレ以下ノモノニ分賦スルコトニナルカラ、是ハ租稅ヲ徵收サレル方デハナカラウト思フノデアリマス、此點ニシテ租稅ヲ納メル方カラ見タ所ノ便宜主義ノ目カラ御覽ニナツタ便宜主義デアッテ、決付テ御尋ラシタノデアリマスガ、却テ大藏

宜デアルト云フ御答辯ガアタノデアリマス、今度ノ地租ノ方ノ改正ハ悉ク租稅ヲ徵收サレル方ノ立場ニ於テ主觀的ノ御改正ダト見テ、テノ御考慮ガ足ラナイヤウニ考ヘルノデアリマスカラ、先程カラ御尋ヲシテ居タノアリマス、次ニ此度ノ減稅案ニ依リマスレバ地租ノ輕減ニ依リマシテ農林業者ノ負擔ヲ輕減シ、營業收益稅ノ輕減ニ依リマシテ商工業者ノ負擔ヲ輕減サレタノニ、何故ニ鑛業ノミ負擔ノ輕減ヲ圖ラレナカッタノニアリマセウカ、此鑛業稅ヲ納メル者ハ營業收益稅ハ課セラレザルモノト考ヘマスルガ何故ニ此鑛業稅ヲ輕減セラレナカッタノアリマスカ、尙ホ土地ニ關スル租稅ノ一種デアリマス所ノ鑛區稅ノ輕減ヲモ爲サレナカッタノデアリマスカ、之ヲ承リタイノデアリマス

中ノンノ、漫レゾン、スケルトン、アート、音楽、映画、書籍、アート、音楽、映画、書籍

九百万圓減ルト、斯ウ云フ一つノ改正デアリマス、ソレデ今度ノ税率デ云ヒマスト、即チ四五ト云フ税率ヲ貨賃價格ニ盛リマスト、丁度サウナリマスノデアリマス、ソレガーツ改正法……改正シタ結果、其上ニ一千八十万圓ノ減税ヲ圖ッテ、ソレニ依ッテ税率ガ三・八ト低下シテ來ル、斯ウ云フコトニナリマシテ四・五ノ税率ヲ三・八ニ變ヘルト云フコトガ減税デゴザイマシテ、地租法ノ改正ハ即チ其以前ニナルノデアリマス、ソコノ所ヲ甚ダ諄ウゴザイマスガ、モウ一度申上ゲテ御諄解ヲ得タイト思ヒマス、三倍八割ニ止メマシタコトハ、稅ヲ一度ニ十倍ニ上ゲル、斯ウ云フコトモ隨分納稅者カラ言ヘバ極端ナ一時のノ急激ナル增加デアルカラ、ソレヲ三倍八割ニ止メテ置カウ、斯ウ云フコトニホカ過ギマセヌノデアリマス、ソレカラ井上男爵ノ御指摘ニナリマシタノハ、鑛業ニ關スル鑛產稅ト云フモノ御意味デハナイカト考ヘルノデアリマスガ、鑛產稅ノコトハ大分前カラ、是ノ改正ヲ頻ニ迫ッテ居ル事情ガアリマス、ソレハ即チ石炭ノ地方ニ於キマシテ、北海道、或ハ茨城縣、或ハ福岡等ニ於キマシテハ、誠ニ無理ノナイ事情ガアルノデアリマシテ、即チ鑛業地ニ寄ッテ來ル者ハ鑛夫デアル、然ル

ニ教育費ノ如キハ非常ニ増加スル、人口増加ニ依ッテ増加スルガ、負擔力ノ非常ニ弱イ者バカリデアルカラシテ、其地方ノ町村ハ非常ニ困ルカラ、何トカシテ鑛產稅ヲ改正シテ貰ヒタイ、其改正ノ主要ナ點ハ、國稅トシテ或ル程度ノ減税ヲスル、サウシテ其減稅サレタ稅ヲ地方ノ者ガソレヲ取ラウ、即チ言葉ヲ換ヘテ言ヘバ一種ノ委讓デアリマス、サウ云フコトヲシテ貰ヒタイト云フコトヲ申出テ居ルノガアリマシテ、衆議院ニモ同様ナル法律案ノ改正ガ出テ、貴族院モ通過シタヤウナ次第デゴザイマス、此點ニ付キマシテハ、政府ハ各鑛業地ノ事情モ一一遍調査シテ、之ガ改正ヲ一つ考ヘテ調査シテ見ヤウ、斯ウ云フ氣持モアリマスノデ、アノ稅ニ付テハ、昭和六年度カラ實行スルト云フコトハ不贊成デアルガ、之ヲ政府ガ調査シタ結果、將來ニ於テ實行シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ意見ナラ贊成スルト云フ意見ヲ發表シテ、アノ鑛產稅ニ付テモ調査シヤウト考ヘテ居ルノデアリマスガ、鑛產稅ノコトハ大分前カラ、是ノ改正ヲ頻ニ迫ッテ居ル事情ガアリマス、御意見ノ營業収益稅ト對立イタシマシテノ問題トナリマスト、大分複雜ニナリマス、營業収益稅ハ減ジテ鑛產稅ハ何故減サヌカ、斯ウ云フマスト、スルノデアリマシテ、家屋稅ハ戸別割ニ之ハ、地租カラ得ラレナケレバ他ニ之ヲ轉嫁スコトハ承知シテ居リマスルガ、中央ノ地租ニ依ッテノ減稅ハ……地方費ト云フモノニナリマシタ、無論ソレハアルノデアリマス、然ルニ私ノ考ヘル所ニ依レバ今回ノ營業収益稅法ノ改正及明治四十一年法律第三十七號、此改正ニ依ッテ矢張リ一部ニ增稅ノ結果ガ現レルヤウニ見エル、其一例ヲ本會議デモ申上ゲマシタガ、今日ハ別ノ例ヲ申上ゲ

ヌノデアリマスガ、是モ調査イタシマシタナラ、井上男爵ノヤウナ或ハ結論ガ出ルカナ知レマセヌガ、今日、稅制ノ整理ニハ其事ハ加味シテ居ラヌノデアリマス、併シ將來ニ於テハ鑛產稅ニ付テハ徹底的ニ調査イタシテ見ヤウト云フコトハ、意思ヲ決メテ發表モ既ニ致シテ居ル次第デアリマス〔湯地幸平君發言ノ許可ヲ求ム〕○委員長(伯爵柳澤保惠君) 井上男爵宣シウゴザイマスカ

## ○男爵井上清純君

モウ少シアリマスケレドモ……

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 長岡サンカラ御通告ガゴザイマスカラ……

## ○男爵井上清純君

モウ一ツ……此質問デ

## ○長岡隆一郎君

先日カラ此案ガ減稅案デ

アルカ增稅案デアルカト云フコトニ付テ、度ニ御議論ガアリマシテ、要スルニ演口總理大臣及井上大藏大臣ノ御答辯ノ趣旨ハ、

## ○長岡隆一郎君

地租法ノ改正ニ依ッテ、土地ノ課稅標準ヲ貨

貸價格ニ改メテ、負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フ

コトカラ、都會ニ於テハ增稅ノ如ク見エルガ、其他ノ點ニ付テハ增稅ニナルモノデハ

ナイ、斯ウ云フヤウニ承知シテ居リマス、

然ルニ私ノ考ヘル所ニ依レバ今回ノ營業収

益稅法ノ改正及明治四十一年法律第三十七

號、此改正ニ依ッテ矢張リ一部ニ增稅ノ結果ガ現レルヤウニ見エル、其一例ヲ本會議デモ申上ゲマシタガ、今日ハ別ノ例ヲ申上ゲ

トニ付テモ、ソレハ御考慮ガナカッタナラバ、其地租ダケニ付テノ減稅ニハナラヌト思ヒマス、此點ニ付テモ深ク考慮ヲ煩シタイ、尙ホ今ノ鑛業者ニ對スル稅ト云フモノハ、全ク考慮ノ外ニ置カレテ居ルヤウデアリマスルカラ、地租條例ノ御改正ニハ當然是ガ這入テ來ナケレバナラヌモノデアラウト考ヘルノデアリマス、此點ニ付テモ深ク御考慮ヲ爲サルト云フコトデアリマスルガ、尙ホ將來モ一つ御考慮ヲ煩シタイト考ヘテ、私ノ質問ハ一時打切リニ致シテ置キマス。

タイノデアリマスガ、法人ノ納メル資本利子稅額ガ其營業收益稅額ト同額デアルカ、又ハ超エルモノニ付テハ今回ハ増稅ニ相成ルヤウニナル、私實ハ斯カル實例ハ餘リ有ルマイカト思テ油斷ヲシテ居タノデアリマスガ、聞く所ニ依ルト、銀行、殊ニ貯蓄銀行ノ如キハ貯蓄銀行法ノ第二十二條ノ適用ト、ソレカラ營業收益稅法ノ第十條ノ適用ニ依シテ、資本利子稅額ガ營業收益稅額ヨリモ多イコトガアル、實際有ルノデス、私實例ヲ調べマシタ、實ハソレヲ申上ゲタイノデスガ、當該銀行業者カラ餘計ナコトヲ長岡ニ陳情シタト云フヤウナコトデ、大藏省カラ睨マレテハ困ルカラ銀行ノコトハ言フテ吳レルナ、斯ウ云フ依頼ヲ受ケテ居ルカラ殘念ナガラ申シマセヌガ、實例ハ幾ツモアル、即チ此資本利子稅額ガ營業收益稅額ト同額デアルカ、之ニ超エルモノハ今回ノ營業收益稅ノ輕減ト云フモノノ恩典ニ與ラヌ、與ラヌノミナラズ、此附加稅ニ付テハ今回増率サレマシタカラ、附加稅ダケ此時蓄銀行ノ如キモノハ餘計ニ取ラレル、即チソレダケ増稅ニナル、斯ウ云フ結果ニナル、若シ御分リ難ケレバ實例ニ付テ申上ゲマスガ、例ヘバ或ル法人ノ從來ノ營業收益稅額ガ一千圓デアル、其者ノ納メル資本利子稅

額ガ同ジク一千圓デアレバ營業収益稅額ト云フモノハ營業収益稅ハ納メナクテモ宜イ、然ルニ之ニ對シテ地方稅ハ、地方稅制限ニ關スル法律、即チ明治四十一年法律第三十七號ノ第二條第二項ニ依ッテ「營業収益稅法第十條附加稅ノ賦課ニ付テハ營業収益稅額ト看做ス」二項ノ規定ニ依ル資本利子稅額ノ控除ヲ爲ササルモノヲ以テ營業収益稅額ト假定シ斯ウ云フ規定ガアリマスル結果、假令營業収益稅ヲ納メナイデモ納メルモノト假定シテ、其稅額ニ附加稅ヲ課セラレル、從ヒマシテ今マデノ附加稅ト云フモノハ府縣ガ百分ノ四十一、市町村ガ百分ノ六十、併セテ百分ノ百一デゴザイマス、依テ附加稅ハ從來ハ百一圓デアルガ、資本利子稅ヲ合セテ千百一圓ノ稅ヲ納メレバ宜イ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、然ルニ今回ハ其營業収益稅ノ稅額ハ減ゼラレマシタガ、是ハ今マデ此時蓄銀行ハ納メテ居ナイ、併シ此營業収益稅ト云フモノカラ附加稅ガ出テ来マスカラ計算ヲ致シマスト、今回百分ノ三十六ヲ百分ノ三十四ニ改メマシタ結果、此法人ノ營業収益稅ト云フモノハ九百四十四圓ニナリマス、是ハ現實ニ納メマセヌガ附加稅ヲ算出ノ基礎ニナル、所ガ附加稅ハ今回ハ府縣ガ百分ノ四十六・五、市町村ガ百分ノ六十九

シマシテ百分ノ百十二・五トスウ云フコトニ改マリマシタカラ合計ニナル、今マデ百分ノ百一ガ百分ノ百十三・九百四十四圓ニ較ベマスト、百六圓二十錢ト云ト云フモノニナリマシテ、資本利子稅ヲ合シテ今回此貯蓄銀行ハ千百六圓二十錢ト云フモノヲ納メレバ明カニ増稅ニナル、是ハ此事實ヲ御認メニナリマスカドウカ、其稅額ノ多少ト斯ウ云フ適例ガ澤山アルトカ少ナクアルトカ云フヤウナコトハ茲ニ御伺ヒシナクテモ宜シイノデアリマスガ、貯蓄銀行ノ或モノノ如キハ今回ノ營業収益稅法ノ改正ト四十一年法律第三十七號ノ改正ニ依テ兎モ角モ増稅ニナルト云フ事實ヲ御認メニナリマスカドウカ、此「イエス・ノウ」ノ御返辭ヲ戴ケバ宜シイノデス

○國務大臣(井上準之助君) チヨット只今ノ長岡サンノ言フコトヲ私ハ春込ミガ悪イノデゴザイマスガ、簡單ナ答テナシニ、アナタノ舉ゲラレタ例ガアリマスガ、一遍、政府委員カラ御答ヲ致サセテ、ソレカラ……

○政府委員(青木得三君) 只今御尋ノゴザイマシタヤウニ、資本利子税ト、サウシテ、營業収益税ノ附加税ヲ合計スレバ從前ヨリモ多クナルト云フコトデアリマシテ、營業収益税ノ附加税ダケヲ取レバ別段増税ニハナラヌノデアリマシテ、今長岡サンノ仰セニナリマスコトハ、資本利子税ト云フモノヲ營業収益税カラ控除シテ置ク、然ルニ其營業収益税ノ方ガ少クナッタモノデアリマスカラ、從來ナラバ資本利子税ノ方ガ全部控除サレタ場合デア、テモ、今度ハ營業収益税ノ方ガ少クナッタカラ、資本利子税ガ全部控除シ切レナイト云フヤウナコトガ起ル……

○長岡隆一郎君 サウヂヤナイ……

○政府委員(青木得三君) サウヂヤゴザイマセヌカ、ソレデ達ヒマスレバモウ一應……

○長岡隆一郎君 従来ノ營業収益税ガ資本利子税ヨリ少クテモ宜シイ、今回ハ尙少クナル、併シ營業収益税ト云フモノハ現實ニ從來モ納メテ居ナケレバ今回モ納メテ居ナ

イ、所ガ營業収益稅ノ附加稅ノ率ト云フモノハ今回上ガリマシタノデスネ、サウスルトソレダケ今度ハ殖エル、營業稅ハ無論増減ハゴザイマセヌ、資本利子稅ハ從來モ千圓、今回モ千圓デアル、併ナガラ附加稅ノ率ガ上ガタ爲ニ資本利子稅「プラス」營業稅附加稅ト云フモノハ明カニ増稅ニナル、是ハ私ガ計算シタト云フト御信用ガナイガ、私ハ自分でモ計算シマシタシ若シ間違ガアツテハイカスト思ッテ、私ノ家ニ助手ガ居ルガ、其助手ノ又其助手ガ稅務署ノ屬テ見タラ間違ガナインデス。

○政府委員(青木得三君) アナタノ御計算ニハ等間違ナイト思ッテ、初メカラ申上げテ居ルノデアリマスガ、サウ致シマスト云フ、ト、詰リ御議論ニナリマス……御質問ニナリマス點ハ、營業収益稅ハ前ニモ後ニモ實際少シモ納メテ居ラナカタ、斯ウ云フコトガ前提ニナツテ只今ノヤウナ御質問デハ、サウ云フ結論ニナリマス、私ガ最初申上げマシタヤウニ、アナタノ數字ハ決シテ否定ハシナインデアリマス、併シ是ハ皆サン方ニモ御諒解ヲ得テ置カナケレバナラヌト思ヒマスガ、何ガ故ニ營業収益稅カラ資本利子稅ヲ控除スルノデアルカ、根本ヲ申上ゲ

マセヌケレバ……其增稅ニナルノハ、成程數字ノ土ニ於テハ稅ガ殖エルカラ增稅ダト仰セニナリマセウガ、其增稅ニナリマシテモ、ソレハ不合理ノコトデハナイト云フコトハ、私ラ不合理的ノコトデハナイト云フコトハスカト存ズルノデアリマス、營業収益稅カラ資本利子稅ヲ控除スルト云フコトハ、長岡サンハモウ非常ニ御存ジノコトト存ジテ居リマスガ、左様ナコトヲ致シマス理由ハ、營業収益稅ト云フモノト資本利子稅ト云フモノハ共ニ所得稅ノ補完稅デアルノデ云フモノハ共ニ所得稅ノ補完稅デアルノデ云フコトヲ目的ト致シマシテ、資本利子稅ヲ控除シテヤウト思フト營業収益稅トガ重複シテ課稅セラレルコトハ、是ハ資產所得課稅ノ目的ヲ達スル爲ニ當然ノコトデアル、所得稅ト地租トガ重複ニ課稅セラリマス、所得稅ト資本利子稅ガ重複シテナリマス點ハ、營業収益稅ハ前ニモ後ニモ實際少シモ納メテ居ラナカタ、斯ウ云フコトガ前提ニナツテ只今ノヤウナ御質問デハ、サウ云フ結論ニナリマス、私ガ最初申上げマシタヤウニ、アナタノ數字ハ決シテ否定ハシナインデアリマス、併シ是ハ皆サン方ニモ御諒解ヲ得テ置カナケレバナラヌト思ヒマスガ、何ガ故ニ營業収益稅カラ資本利子稅ヲ控除スルト云フコトニナリマシテ、是

ハ甚ダ不合理ナコトデアリマスカラ、其重複ヲ避ケル爲ニ營業収益稅ヲ納メル人ガ同一ノモノニ付テ資本利子稅ヲ納メルナラモ、ソレハ不合理ノコトデハナイト云フコトハ、私ラ不合理的ノコトデハナイト云フコトハスカト存ズルノデアリマス、營業収益稅カラ資本利子稅ヲ控除イタシマスレバ、恰モ資本利子稅ヲ控除シテヤウニシヤウ、ソコデ資本利子稅ヲ納メナカタノト同ジ結果ニナルト云フコトヲ目的ト致シマシテ、資本利子稅ヲ控除シテ居ルノデアリマス、偶、只今仰セニナツタ場合ニ於キマシテハ、資本利子稅ノ方ガ大キクシテ、營業収益稅カラ其資本利子稅ヲ控除シヤウト思フト營業収益稅ガ全額無クナル、無クナル場合デアリマスカラ、營業収益稅ヲ納メテ居ラレナイ、納メテ居ラレナイカラ減稅ノ恩典ニ浴シナイ、浴シテ居ルノデアリマスガ、補完稅相互ガ重複スル、同一資本利子ニ付テ資本利子稅ヲ掛ケラレル、例ヘバ國債ヲ有シテ居シテ、或ハ公債ヲ有シテ居シテ、社債ヲ有シテ居シテ、其利子ニ御認メゼザルヲ得ナイノデアリマスガ、營業収益稅ヲ實際納ムベキ人ガ只今例外的ノ場合ト言シテ差支ナイト思ヒマスガ、營業収益稅ヲ實際納ムベキ人ガ只今例外的ノ場合ト言シテ差支ナイト思ヒマスガ、營業収益稅ノ方ガ少イ爲ニ營業収益稅ヲ、一つモ納メナイ結果ニナツテ居ルカラ、減稅ノ恩典ニ浴シナイト云フコトハドウモ是ハ已ムヲ

○長岡隆一郎君 大分會期モ切迫シテ參リ得ナコトダト存ジマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) チヨット水野サンニ御相談申上ゲマスガ、今長岡君ハ地租法案ノ第七十條二項ノ關係ヲ御尋不致シマス

マシタカラ質問ニ對シテハ質問ノ要點ダケ御答辯願ヒタイ、色々御蘊蓄モゴザイマセウガ、ソレハ原案ノ説明トシテ御説明ニナルコトハ御隨意デゴザイマスガ、私ハ餘り多クノ時間ヲ費スコトハ好ミマセヌカラ、簡単ニ質問ノ要旨ダケ御答辯ヲ願ヒタイ、兎モ角モ今ノ地方稅ニ關スル法律ニ依リマシテ、假令營業収益稅ヲ納メナクトモ、地方稅ノ附加稅ノ計算ニ付テハ其營業収益稅ヲ納メタモノト看做シテ其額カラ附加稅ヲ割出スノデアリマスカラ、今言ツタヤウナ貯蓄銀行ノ或モノハ、現實ニ貯蓄銀行ノ或ル部分ノモノハ現實ニ今回ノ改正ニ依シテ増稅ニナル、斯ウ云フ事實サヘ御認メ下サレバモウソレデ宜シイ、詰リ地租條例ヲ地租法ニ改メタ結果、唯一部ノモノハ增稅ニナルガ、其他ハ今回ノ改正ニ依シテ現實ニ稅ヲ澤山納メル者ハナイト云フ、斯ウ云フ御答辯ヲ御取消下サレバ、ソレデ宜シイノデアリマス、次ニ私ハ地租法ニ付テ多少ノ質問ガ残シテ居リマスカラ此際片付ケテ置キタイト思フノデアリマス、先づ第一ニ地租法案ノ第七十條二項ノ關係ヲ御尋不致シマス



ソレニ附加稅ヲ課スル、尤モ從來地租ノ免租ニナリマシテモ、附加稅ヲ賦課シ得ルト云  
フコトデ内務省モ取扱ヒ、行政裁判所ニモ、  
サウ云フ判例ガアリマスルノハ、從來ノ沿革、  
從來ノ慣習カラ多少獨立稅ノ性質ヲ持ッテ  
居リマシタカラデアリマセウガ、併シ道理  
上、理窟上カラ申シマスレバ、本租アッテノ  
……本稅アッテノ附加稅デアル、本稅ガ丸デ  
無クナッテシマッタモノカラ附加稅ヲ取ルト云  
フコトハ、理論上ハ正シクナイノカト考ヘマス  
○長岡隆一郎君 只今ノヤウナ御答辯デア  
ルト色ミナ茲ニ派生的ノ問題ガ生ジテ來ル  
ノデアリマス、是ハ當局デ御存ジノコトデ  
アリマスルガ、府縣ノ附加稅ハ原則トシテ、  
四月一日及十月一日現在ニ依テ其月末又  
ハ翌月末ニ徵收スル所ガ多イノデアリマ  
ス、東京府ノ方デハ四期ニ分ッテ居リマス  
ルガ、是ハ例外デアッテ、多クハ只今ノヤウ  
ニ取扱シテ居ル、殊ニ是ハ町村役場等ハ、年  
度初メニハ營業稅ノ附加稅ノ一部ト、雜種  
稅ノ附加稅ノ一部ノ外、收入ハナイカラ、  
地租ノ附加稅ヲ年度初メニ取ルト云フコト  
バナラヌト云フコトニナル、此例ハ能ク御

承知デアラウト思ヒマスガ、然ラバ四月ニ  
先ニ地租附加税ヲ徵收シテシマッタ、然ル  
ニ……田租ハ其時ニハ無論取リマセヌ、ズフ  
ト後ニ遲レマス、此土地ガ……田畠ニ付テ  
四月若クハ五月ニ地租附加税ヲ納メル、ガ  
本税ヲ納メル前ニ賣ガアツテ、他人ニ所有  
權ガ移リ、而モ其土地ニ災害ガアツテ、他人ニ所有  
ハ免租ニナツタト云フ時ニハ、地租附加税ハ  
四月、五月ニ外ノ人ガ納メテ居ル、免租地  
トナリシ現在ノ所有者ニ非ザルモノガ先ニ  
附加税ヲ納メタ、斯ウ云フコトガ非常ニ頻  
繁ニ起ツテ來ルト思フ、今迄ハ本税ハ免租シ  
テモ附加税ハ取ツテ居リマシタカラ問題ハ  
起リマセヌデシタガ、今回ノヤウナ御取扱  
ニナリマスト、今申上ゲマシタヤウナ場合  
ニハ附加税ハ返還スルノデアリマスカ

租ノ徵收ハ其年ノ七月カラ始<sup>フ</sup>テ居ル、其年ノ月カラ始<sup>フ</sup>テ居ル、是ハ御承知ノ通り、然ルニ附加稅ハ四月五月ニドコノ縣デモ取<sup>フ</sup>テ居リ、町村デモ取<sup>フ</sup>テ居ル、此間ニ例へバ土地ノ賣買ガアッタ、而シテ水害ガアッテ免租ニナッタト云フ時ニハ、此附加稅ハ前ノ納稅者ニ御返シニナル、斯ウナリマストデス、今迄ノ地方ノ實狀ニ非常ニ反スルコトニナッテ、殊ニ田租ノ如キハ四期ニ取<sup>フ</sup>テ居リマスカラ、附加稅ハ四分ノ一ヅツニ分ケテ返考ヘナケレバナラヌ、即チ四回ニ分ケテ返サナケレバナラヌト云フコトニナッテ、町村役場ト云フモノハ非常ナ手續上ノ騒ガ起ルコトト思ヒマスガ、ソレニ付テドウ云フ御考デアリマスカ

税ハ其一部分ハ、マダ本税ヲ納メマス前ニ  
納メテ居リマス、ソレカラ後ニ灾害デ免租  
ニナリマシタ場合ニ、其附加税ヲ返スト云  
フ手續ハシナケレバナリマセヌガ、其返ス  
ノニ、所有者ガ變ラタコトニ依テ非常ニ混  
雜ヲ起スト云フ場合ハアルマイ、サウ非常  
ニ町村役場ノ事務ガ煩雜繁劇ニナシテ困ル  
ト云フ程度ノモノデハナイグラウト思テ  
居リマス

カラ御答へ致シマス

○政府委員(岡田周造君) 府縣制、市制、町村制ノ附屬命令トシテ、サウ云フモノヲ規定シヤウト思ッテ居リマス

○長岡隆一郎君 衆議院ト御答辯ガ違フデヤアリマセヌカ、衆議院デハ地方稅ニ關スル法律、即チ大正十五年法律第二十四號デアリマス、ソレノ施行勅令ニ依ルト云フコトヲ明瞭ニ御答辯ニナツテ居ル、兩院デ答辯ヲ御變ヘニナルノハオカジイト思ヒマスガ、衆議院デ他日、是ハ此會期中ニ御取消シニナルノデアリマスカ

○長岡隆一郎君 衆議院ト御答辯ガ違フデヤアリマセヌカ、衆議院デハ地方稅ニ關スル法律、即チ大正十五年法律第二十四號デアリマス、ソレノ施行勅令ニ依ルト云フコトヲ明瞭ニ御答辯ニナツテ居ル、兩院デ答辯ヲ御變ヘニナルノハオカジイト思ヒマスガ、衆議院デ他日、是ハ此會期中ニ御取消シニナルノデアリマスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 午後一時半カ再開イタシマス、是デ休憩イタシマス  
午後零時五分休憩

午後一時四十四分再會

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 委員會ヲ始メマス、先程ノ長岡サンノ御質問ニ對シテ返事ガゴザイマセヌ、ソレカラ……

○政府委員(岡田周造君) 午前中ノ長岡マスト……

○長岡隆一郎君 府縣制ノコトハ能ク知テ居リマス、市町村制ノコトモ能ク知ッテ居リマス、前ノ御答辯ト違フ點ハドウ云フ譯カト云フノデアリマス、兩院デ御答辯ヲ御變ヘニナルト云フコトハ、私ハ面白イコトトハ思ハナイ、衆議院デハ前ノ御答辯ヲ信ジテ協賛ヲ與ヘタ人ガアルカモ知レナイ、ソレヲ御取消シニナラズニ、貴族院デ御答辯ニナルト、マルデ適用條文ヲ御變ヘニナルト云フコトハ面白イ御答辯トハ思ヒマセヌ

○政府委員(次田大三郎君) 午前中ノ長岡マスト……  
サンノ御質問、即チ特別地稅、特別地稅附加稅ノ災害免租ヲスル手續ハドウスルカト云フ御質問ニ對シテ別ノ政府委員カラ御答ヘ致シマシタ所ガ、ソレハ衆議院ニ於ケル政府委員ノ答辯ト違フト云フ御話デアリマシタ、衆議院ノ委員會ニ於ケル御質問ガアリマシテ政府ハ特別地稅、特別地稅附加稅ヲ災害免租地ニ付テ免除シタイト云、テ居ルノデアリマス、其點ハドウスルカ、省令デヤルノカト云フ御質問ガアリマシタ、ソレニ對シテ私、省令デハ出來マシタ、改正ヲ加ヘルト云フコトト矛盾スルデハナリカト云フ意味ノ御詰問ト存ジマス、私ガ衆議院デ答ヘマシタ趣旨ハサウ云フ譯デゴザイマス、只通俗ニ大正十五年法律第二十四號ヲ指シテ、地方稅ニ關スル法律ト申シテ居ルコトト、私共承知シテ居ルニモ拘ラズ、モウ少シ碎ケタ言葉ヲ用ヒテ、只地方稅ニ關シテ居ル所ノ法律ノ施行勅令デト云フ風ニ申シマシテ、今御質問ノ如キ誤解ヲ惹起シタコトハ私ノ甚ダ遺憾トスル所デア

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 長岡サン如何得ズ」ト云フ意味ノ新シイ條文ヲ加ヘル考デ

居リマス、而シテ府縣制ノ施行令中ニモ同様ノ條文ヲ加ヘル考デ居リマスルガ、之ニ付キマシテハ其必要ハナイト云フ議論モアリマシテ、マダシカリハ決マッテ居リマセヌガ、兎ニ角市制町村制ノ施行令中ニ只今讀上ゲマシタヤウナ條文ヲ加ヘル、府縣制ノ方ハ加ヘズニ濟メバ……府縣制ノ施行令中ニサウ云フ條文ヲ加ヘズニ濟メバ書カナイ、書ク必要ガアレバ書ク、其點ハ研究イタシテ居ルト御答ヘシタ次第デアリマス、此事ハ災害免租ニ關スル地租ノ附加稅ヲドウスルカト云フ内務省ノ省議ヲ決定シマス、此事マデ決定シテ居タノデアリマス、衆議院ニ於テ確カ委員會デ岡田サンカラ御質問ガアリマシテ政府ハ特別地稅、特別地稅附加稅ヲ災害免租地ニ付テ免除シタイト云、テ居ルノデアリマス、其點ハドウスルカ、省令デヤルノカト云フ御質問ガアリマシタ、ソレニ對シテ私、省令デハ出來マシタ、改正ヲ加ヘルト云フコトト矛盾スルデハナリカト云フ意味ノ御詰問ト存ジマス、私ガ衆議院デ答ヘマシタ趣旨ハサウ云フ譯デゴザイマス、只通俗ニ大正十五年法律第二十四號ヲ指シテ、地方稅ニ關スル法律ト申シテ居ルコトト、私共承知シテ居ルニモ拘ラズ、モウ少シ碎ケタ言葉ヲ用ヒテ、只地方稅ニ關シテ居ル所ノ法律ノ施行勅令デト云フ風ニ申シマシテ、今御質問ノ如キ誤解ヲ惹起シタコトハ私ノ甚ダ遺憾トスル所デア

リマスル、モウ此事ハモト前ニ決マッテ居  
リマシテ、唯其事ヲ衆議院ノ委員會デ説明  
ヲスル際ノ言葉ノ用ヒ方ニ用意ガ足リナ  
カッタダケノコトデアリマシテ、其方針ハ  
違ツテ居ル譯デハアリマセヌ、左様御諒承ヲ

原ビース

トカ云フノデスガ、私ハ少シモ誤解シテ居  
アル、誰ガ府縣制市制町村制ヲ地方稅ニ關  
スル法律ト言ツテ居ルモノガゴザイマセウ、  
自分が誤解シテ居タト云フナラバ、是ハ私  
深ク追究イタシマセヌガ、誤解ヲ私ニ歸ス  
ルコトハ甚ダ迷惑千萬ト存ジマス、併シ私  
ハ敢テ其形式ヲ争フモノデハアリマセヌ  
ガ、併シ衆議院ニ於テ不用意ニ政府委員ガ  
地方稅ニ關スル法律ノ施行勅令トシテ特別  
地稅及附加稅ノ災害免租ニ關スル規定ヲ此  
施行勅令ニ書クト云フコトヲ仰シヤッタノ  
ハ、寧ロソレガ本筋デハナイカト思フ、地  
方ガ、或ハ私ハ本筋デハナイカト思フ、地  
方稅ニ關スル法律ヲ開イテ御覽ニナシタ  
アル、第二條乃至第八條ニハ特別地稅ノ規定ガア  
ル、第九條乃至第十三條ニハ家屋稅ニ關ス

ル規定ガアル、第十四條乃至第十八條ニ  
營業稅ニ關スル規定ガアル、第十九條乃至  
第二十一條ニハ雜種稅ニ關アル規定ガスル、  
第二十二條乃至第二十七條ニハ戸數割ニ關  
スル規定ガアル、即チ主ナル地方稅ノ特別  
地稅、家屋稅、營業稅、雜種稅、戸數割、  
之ニ關スル規定ガ地方稅ニ關スル法律ノ中  
ニアッテ、而モ此中、家屋稅ニ關スル免稅ノ  
規定ハ第十一條第三號ニアリ、營業稅ノ免稅  
ニ關スル規定ハ第十七條ニアリ、雜種稅ノ  
免稅ニ關スル規定ハ第二十條ニアリ、戸數  
割ニ關スル免稅ノ規定ハ第二十六條ニアル、  
然ルニ特別地稅ノ免稅ニ關スル規定ダケ、地  
方稅ニ關スル法律ニ落チ居ル、是ハ御氣  
付ニナラヌデ、斯ノ如ク家屋稅以下ノ四ツ  
ノ地方稅ノ免稅ノ規定ガアルニモ拘ラズ、  
特別地稅ガ同ジヤウニ竝ベテ書イテアッテ、  
免稅ニ關スル規定ガアリマセヌカラ、ソコ  
デ今御話ノヤウニ府縣制市制町村制ニ根據  
ヲ求メルト云フヨリ外ハナイ、此立法ノ時  
ノ沿革ハ私能ク承知シテ居リマス、能ク承  
知シテ居リマスガ、併ナガラ直覺的ニ地方  
稅ニ關スル法律ニ依ッテ特別地稅及附加稅  
ノ免稅ノ規定ヲ設ケルト仰シシヤッタ方ガ本  
筋デアッテ、今申シマシタ家屋稅、營業稅、  
雜種稅、戸數割等ニ關スル免稅規定ガ地方

地税ダケガナイ、而モ其根據ヲ寶シノヤ  
ニ、府縣制ノ第百十條第二項、市制ノ第  
百二十一條ノ二、町村制ノ第一百一條ノ二ト  
云フヤウニ、此五ツノ中タツ一ツダケ木ニ  
竹ヲ接イダヤウニ、他ノ法律ニ行クト云フ  
コトガ是方無理デ、寧ロ參議院ニ於ケル御  
答辯ノヤウニ、地方稅ニ關スル法律ヲ此際  
ドウセ改正案ヲ御提出ニナッタノデアルカ  
ラシテ、修正サレテ、サウシテ此家屋稅、  
營業稅、雜種稅及戸數割ノ如ク、特別地稅  
ノ免稅ニ關スル規定モ地方稅ニ關スル法律  
ノ中ニ堂々ト御規定ニナッタ方ガ寧ロ本筋  
デヤナカラウカ、是ハ府縣制市制町村制ノ  
條文ヲ御覽ニナレバ如何ニモ此特別地稅ノ  
免稅ノモノダケ、之ニ當嵌メルト云フコト  
ハ、立法當時ノ手續ガドウデアルカニ拘ラ  
ズ、今日カラ見ルト、法制ノ體裁ヲ得ナイ  
ヤウニ考ヘル、ソレデ過去ノコトハ彼レ此  
レトハ咎メマセヌガ、寧ロ府縣制市制町村  
制ニ迷ヒ込ンデ行クヨリモ、地方稅ニ關ス  
ル法律ノ中ニ特別地稅ノ免稅ニ關スル規定  
ヲ、他ノ家屋稅、營業稅、雜種稅、戸數割  
ト同ジク御設ケニナルト云フ方ガ素直ナ立  
法デヤナイカト思ヒマスガ、之ニ對スル御  
意見ハ如何デアリマスカ

○政府委員(次田大三郎君) 大正十四年法  
律第二十四號ノ中デ特別地稅及特別地稅附  
加稅ニ關スル免稅ノ規定ガ缺ケテ居リマス  
ルコトハ御話ノ通り、又立法當時ノ事情モ  
御承知デアルト云フコトデアリマスカラ說  
明イタス必要ハ認メマセヌガ、御話ノ如ク  
此法律ヲ改正シテ、サウ云フ條文ヲ加ヘルコ  
トモ一ツノ方法デアリマス、同時ニ勅令  
ヲ改正シテ、勅令ノ中ニ此條文ヲ加ヘルコ  
トモ一ツノ案タルヲ失ハヌト考ヘテ居ルノ  
デアリマス、何故勅令ノ方ニソレヲ持シテ  
行キマシタカト申シマスルト、災害免租ヲ  
スル必要ガアルノハ地租ノ附加稅、特別地  
稅、特別地稅ノ附加稅ノミナラズ、有租地  
ニ對スル段別割、無租地ニ對スル段別割等  
モ、若シ地租ノ免租ニナルト同ジヤウナ災  
害ガ或ル公共團體ヲ襲ヒマスルナラバ、矢  
張リ免除シナケレバナラヌト思フノデアリ  
マス、ソレデ只今讀上げマシタ條文ハ有租  
地ニ對スル段別割ヲモ一緒ニ解決スル積リ  
デ、詰リ特別地稅ノ問題ノミナラズ段別割  
ノ問題モ、災害ガアレバ免除スルコトガ出  
來ルト云フ其問題ヲ一緒ニ解決スルノニハ  
併セテ地方制度ノ方ノ施行令ニ書イタ方ガ  
適當デアルト考ヘタノデアリマス、法律ノ  
中ニ書ケバ無論書ケナイコトハゴザイマセ

ヌガ勅令ノ方ニ書イテモ今ノ特別地税ダ  
ケノ問題ナラバ宜シイノデゴザイマスガ、  
他ノ問題モ一绪ニ併セテ規定スル必要カラ  
勅令ノ方ニ書イテ宜シイノデハナイカト思  
ヒマス

○長岡隆一郎君 私ハ地方税ニ關スル法律  
ノ中ニ家屋税、營業税、雜種税、戸數割ノ  
規定ガアリ、而シテ之ニ對スル免稅ノ規  
定ガアルニモ拘ラズ、特別地税ノ規定ガ  
アツテ獨リ之ニ限リ免稅ノ規定ヲ缺クト  
云フコトハ體裁ヲ成サザルモノト心得テ居  
リマスルカラ、唯町村制ノ中ニ「町村ハ公益  
上其ノ他ノ事由ニ因リ課稅ヲ不適當トスル  
場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ町村稅  
ヲ課セサルコトヲ得」他ノ府縣制市制モ同  
ジヤウナ條文デアリマスガ、此中ニ特別地  
稅ヲ入レ込ムト云フコトハ、如何ニモ體裁  
ヲ成サザルモノト思ヒマスガ、是ハ意見ノ  
相違ニナリマスルカラ、若シ修正案ヲ提出  
スルト云フヤウナ時機ガアリマシタナラバ、  
其際ニ譲リマシテ、此問題ハソレデ止メテ  
賦課スル土地ガ災害又ハ天候不良ニ依リ收  
穫皆無ニ歸シタル場合ハ免除イタス、此免  
稅地ノ認定ハ何人ガ之ヲ致シマスカ、之ヲ  
伺ヒタク

○政府委員(次田大三郎君) 自作農免租地  
ノ免租ノ效力ハ是ハ申ス迄モナク、對人的  
手ニ移リマシタナラバ、直チニソレガ自作  
農免租ト云フコトガ無クナルノデアリマ  
ス、デアリマスルカラ災害免租ノ場合ハ、  
假令ソレガ自作農免租ノ土地デアリマシテ  
モ、一先ヅハ稅務署ガ、若シソレニ對スル  
申請ガアリマスルナラバ災害免租ノ取調ヲ  
シ處分ヲスル、サウ云フコトニ大藏省ト協  
議濟ニナツテ居リマス

○長岡隆一郎君 只今ノ御答辯デ安心イタ  
シマシタ、常識カラ考ヘマシテ特別地税ニ  
付テハ府縣知事、附加稅ニ付テハ町村長ガ  
認定ヲスルト云フヤウニ考ヘラレマスルカラ  
、若シサウ云フコトガアレバ、近來ノ地  
方ノ政黨ノ争ノ激甚ナルニ乘ジテ、斯カル  
事ガ政争ノ具ニ供セラル處レハナイカト  
云フコトヲ思テ質問イタシタノデアリマ  
ス、併シ稅務署長ガ認定スルト云フ御答辯  
デアリマスレバ、ソレデ満足イタシマス、  
次ニ地租法第七十一條ノ申請ハ實際ニ於テ  
ス、是ハ沿革ヲ私申上ゲナクテモ御承知デ  
アリマセウガ、大正十五年ノ貴族院ノ特別  
委員會ニ於テ此自作農ノ免租ノ申請ト云フ

コトガ問題ニナリマシテ、例ヘバ金持ガ郊  
外ニ於テ娛樂ノ爲メ園藝ヲヤツテ居ル、ソレ  
ガ偶、當時法定地價二百圓以下ノ土地デア  
ルト云ツテ、自作農免租ノ特典ヲ及ボス必要  
ノモノデアリマシテ、若シソレガ他ノ者ノ  
手ニ移リマシタナラバ、直チニソレガ自作  
農免租ト云フコトガ無クナルノデアリマ  
ス、現行法ノ第十三條ノニ依リマスルト  
云フト、此自作農免除ノ恩典ニ沿スル爲ニ  
ハ申請ヲ要スルヤ否ヤト云フコトハ、法律  
ノ條文ノミカラシテハ必シモ明確デアルト  
ハ申サレナイノデゴザイマス、只今御質問  
ニモゴザイマス通り、十八條ノ、勅令ノ規  
定ニ依リマスト、コニ申請スペシト云フ  
所ガ今日ノ實際ノ状況ヲ見マスルト、納稅  
ノ義務者ガ自ラ自作農免租ノ申請書ヲ調製  
シ得ザルモノガ相當アルガ爲ニ、事實ハ町  
村役場ニ於テ申請書ヲ代シテ作成シテ稅務  
署ニ之ヲ申達シテ居ル所ガ相當ゴザイマ  
ス、中ニハ今日ハ最早ヤ稅務署ニ申達セズ  
シテ、町村役場ニ其儘止メ置クト云フ所モ  
ゴザイマス、從ヒマシテ全國町村長會議等  
ニ於キマシテハ事務簡捷ノ爲ニ前年ト異動  
ノナイモノヲ毎年申請スル手續ヲ省略イタ  
シタイト云フ決議ヲシテ陳情ヲ致シタノデ  
アリマスガ、今回ハ今マデ勅令ノ規定ニアツ  
タノヲ更ニ法律ニ引上げテ、毎年自作農免  
稅ノ申請ヲ爲サシムルヤウニ法律規定ニ依  
テ強制スルト云フコトニナツタノデアリマ

スガ、是ハ地方ノ實情ニ鑑ミマシテ、餘リ  
手續ガ煩瑣ノヤウニ考ヘマスガ、之ヲ御修  
正ニナル意思ハゴザイマセヌカ  
○政府委員(青木得三君) 御答ヲ申シマ  
ス、現行法ノ第十三條ノニ依リマスルト  
云フト、此自作農免除ノ恩典ニ沿スル爲ニ  
ハ申請ヲ要スルヤ否ヤト云フコトハ、法律  
ノ條文ノミカラシテハ必シモ明確デアルト  
ハ申サレナイノデゴザイマス、只今御質問  
ニモゴザイマス通り、十八條ノ、勅令ノ規  
定ニ依リマスト、コニ申請スペシト云フ  
所ガ今日ノ實際ノ状況ヲ見マスルト、納稅  
ノ義務者ガ自ラ自作農免租ノ申請書ヲ調製  
シ得ザルモノガ相當アルガ爲ニ、事實ハ町  
村役場ニ於テ申請書ヲ代シテ作成シテ稅務  
署ニ之ヲ申達シテ居ル所ガ相當ゴザイマ  
ス、中ニハ今日ハ最早ヤ稅務署ニ申達セズ  
シテ、町村役場ニ其儘止メ置クト云フ所モ  
ゴザイマス、從ヒマシテ全國町村長會議等  
ニ於キマシテハ事務簡捷ノ爲ニ前年ト異動  
ノナイモノヲ毎年申請スル手續ヲ省略イタ  
シタイト云フ決議ヲシテ陳情ヲ致シタノデ  
アリマスガ、今回ハ今マデ勅令ノ規定ニアツ  
タノヲ更ニ法律ニ引上げテ、毎年自作農免  
稅ノ申請ヲ爲サシムルヤウニ法律規定ニ依  
テ強制スルト云フコトニナツタノデアリマ

スガ、是ハ地方ノ實情ニ鑑ミマシテ、餘リ  
手續ガ煩瑣ノヤウニ考ヘマスガ、之ヲ御修  
正ニナル意思ハゴザイマセヌカ  
○政府委員(青木得三君) 御答ヲ申シマ  
ス、現行法ノ第十三條ノニ依リマスルト  
云フト、此自作農免除ノ恩典ニ沿スル爲ニ  
ハ申請ヲ要スルヤ否ヤト云フコトハ、法律  
ノ條文ノミカラシテハ必シモ明確デアルト  
ハ申サレナイノデゴザイマス、只今御質問  
ニモゴザイマス通り、十八條ノ、勅令ノ規  
定ニ依リマスト、コニ申請スペシト云フ  
所ガ今日ノ實際ノ状況ヲ見マスルト、納稅  
ノ義務者ガ自ラ自作農免租ノ申請書ヲ調製  
シ得ザルモノガ相當アルガ爲ニ、事實ハ町  
村役場ニ於テ申請書ヲ代シテ作成シテ稅務  
署ニ之ヲ申達シテ居ル所ガ相當ゴザイマ  
ス、中ニハ今日ハ最早ヤ稅務署ニ申達セズ  
シテ、町村役場ニ其儘止メ置クト云フ所モ  
ゴザイマス、從ヒマシテ全國町村長會議等  
ニ於キマシテハ事務簡捷ノ爲ニ前年ト異動  
ノナイモノヲ毎年申請スル手續ヲ省略イタ  
シタイト云フ決議ヲシテ陳情ヲ致シタノデ  
アリマスガ、今回ハ今マデ勅令ノ規定ニアツ  
タノヲ更ニ法律ニ引上げテ、毎年自作農免  
稅ノ申請ヲ爲サシムルヤウニ法律規定ニ依  
テ強制スルト云フコトニナツタノデアリマ

ガアルト云フコトハ私共モ耳ニシタコトガ  
ゴザイマスガ、後段御述べニナリマシタ其  
申請書ガ稅務署ニモ届カナイト云フコトニ  
付キマシテハ今迄耳ニシタコトハゴザイマ  
セヌ、其點ハ何レニ致シマシテモ、斯様ナ地  
租免除ノ恩典ヲ受ケル場合ニ於テ、申請ヲ

以テ法律上ノ條件トスルコトガ妥當デアル  
ト考ヘマシテ、斯ノ如キ規定ヲ設ケマシタ  
次第デアリマス

○長岡隆一郎君 是モ見解ノ相違ト云ヘバ

ソレ迄デゴザイマスケレドモ、兎三角土地ニ  
賣買ガ行ハレズ所有者ニ變動ナク、而シテ  
賃貸價格ハ變化ハナニ、然ルニ自作農ノ免  
稅ノ手續ダケハ毎年毎年申請サセルト云フ  
ヤウナコトハ、如何ニモ地方ノ實情ニ照シ  
テ煩瑣デアリマシテ、此御役所ノ都合ハ無  
論毎年同ジ申請ヲヤラセルト云フコトハ、  
是ハ御極マリガ宜イデセウケレドモ、如何

ニモ申請者ニ無用ノ手數ヲ掛ケルヤウナコ  
トニ相成ル、異動ガアッタ場合ニ限リ申請ス  
ルト云フコトデ、私ハ實際何等ノ弊害ハナ  
イト思ヒマスガ、是ハ亦意見ノ相違ニナリ  
マスカラ、他日修正案デモ提出スル時機ガ  
アリマスレバ、更ニ意見ヲ申上ゲタイト思  
ヒマス、次ニ地租法案ノ第七十三條ニ依ル  
地租ヲ徵收セザル土地ニ對シテハ地租附加

稅ヲ取ラナイコトニ相成ラウト思ヒマスガ、  
左様ニ承知シテ宜シイノデゴザイマスカ  
セヌ所カラ地租ノ附加稅ハ取ラナイ積デア  
リマス

○政府委員(次田大三郎君) 地租ノアリマ  
リマス

○長岡隆一郎君 七十三條ノ場合ニ於テ地  
租附加稅ヲ取ラナイコト云フ御答デアリマシ  
タガ、更ニ關聯シタ問題ヲ伺ヒマスガ、チ  
ヨット込ミ入ッテ居リマスガ、自作農ヲシテ  
其住所地タル村ニ賃貸價格百圓ノ田畠ヲ有  
シ、其隣接町村ニ賃貸價格一圓未滿ノ畠ヲ  
所有セリトセバ、其二個ノ土地ガ地租法案  
第七十條ノ適用ヲ受ケテ自作農免租地トナ  
ルノデアリマスカ、又賃貸價格百圓ノ土地ノ  
ミガ第七十條ノ自作農免租地トナリ、賃貸  
價格一圓未滿ノ畠ハ第七十三條ノ規定ニ  
依テ地租ヲ徵收シナイコトニナルノデア  
リマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○長岡隆一郎君 七十三條ノ場合ニ於テ地  
租附加稅ヲ取ラナイコト云フ御答デアリマシ  
タガ、更ニ同上ゲルノデアリマスカラ、即座  
ニ御答辯ヲ申上ゲルノデアリマスカラ、慎  
重ニ研究ヲシタ結果デハゴザイマセヌガ、  
間ヲ受ケタコトガゴザイマセヌノデ、即座  
ニ御答辯ヲ申上ゲルノデアリマスカラ、慎  
重ニ研究ヲシタ結果デハゴザイマセヌガ、  
只今御質問ヲ伺テ見マスト云フト、矢張リ  
佳所市町村及隣接市町村内ニ於ケル田畠貨

ルト思ヒマスカラ、七十條ノ規定ニ於テ免  
租セラル、モノト心得ルノデアリマス  
勿論、地租附加稅ハ取レマセヌ、先程ノ内  
務省ノ政府委員ノ説明ニ依テ地租附加稅  
ハ取レナイ、然ラバ只今ノ住所地以外ノ、例  
へバ、甲村ト乙村トスル、乙村ノ賃貸價格  
一圓未滿ノ土地ヨリ特別地稅及附加稅ハ取  
ルノデアリマスカ、取ラナイノデアリマス  
力、……モウ一度申シマセウカ、甲村ヲ即  
チ住所地タル村トシマス、其町村ニ賃貸價  
格百圓ノ田畠ヲ有シテ、乙村ノ隣接町村ニ  
賃貸價一圓未滿ノ畠ヲ所有シテ居ル、此乙  
村ノ土地ヲ第七十三條ノ規定ニ依テ地租  
附加稅ヲ徵收シナイカト云フニ然ラズシテ、甲村  
ヲ徵收シナイカト云フニ然ラズシテ、甲村  
ト乙村ト併セテ七十條ノ適用ヲ受ケル斯ウ  
方ノ問題ヲ決定シテ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(次田大三郎君) 何レノ條文ヲ  
適用シテ地租ヲ徵收シナイカト云フコトガ  
決マリマスレバ、ソレニ從テ此特別地稅ノ  
七十條ニ依ルト云フスウ云フ御答辯デア  
ル、サウシマスト云フト其場合ニ特別地稅、  
附加稅ヲ取ルト云フスウ云フ内務省ノ政府  
委員ノ御答辯デアレバ、ドウシテモ地租法  
ノ七十三條ノ但書ヲ大正十五年度第二十四  
號ノ法律第二條第二項ニ準用スルト云フ規  
定ヲ置カナケレバナラナイヤウナ結果ニ相  
成ル

○政府委員(青木得三君) チヨット私カラ一  
言述ベサシテ戴キタイト思ヒマス、只今ノ  
地租附加稅ヲ取ラナイコトニ相成ラウト思  
ヒマス、只今此所デ考ヘマシタコトヲ申上ゲ  
マスレバ、第七十條ニヨリ地租附加稅ヲ取  
ルト思ヒマスカラハ、自作農ノ免租ノ關係

<p>御質問ハ、實ハ初メテ伺ヒマシタ御質問デゴザイマシテ、慎重ニ考慮スル暇ガナク御答辯申上ゲタノデアリマス、七十三條ノ規定ニ依リマシテモ御話ノ乙村ニ於ケル烟ノ地租ガ徵收セラレナイト云フコトハ、七十條ノ規定ヲ適用イタシマシテモ左様相成リマスノデ、ソレカラ又私方先程申上ゲマシタヤウニ七十條ノ規定ニ依テ之ヲ始末イタシマシテモ、矢張リ地租ハ免除スルト云フコトニナルノデゴザイマス、私ハ此關係ガ地方稅ニ及ボス所ノ影響ニ付テハ十分研究ヲ致シマセヌシ、又専門外デゴザイマスカラ十分了解ヲ致シテ居リマセヌノデゴザイマス、就キマシテハドウカ此七十條ノ規定ニ依テ免除セラルルカ、或ハ七十三條ノ規定ニ依テ免除セラルルカ、或ハ七十三條ノ規定ニ依テ徵收シナインデアルカト云フコトハ、内務省ト相當打合セラ致シマシタ上デ、改メテ御答ヲ致シマスコトヲ御許シヲ願ヒマシテ、其結果、私ノ先程ノ答辯ヲ或ハ取消スヤウナコトニ相成ルカモ知レマセヌガ、暫ク打合セ致シマスマデ答辯ヲ御猶豫ヲ願ヒタイト思フノデアリマス。</p> <p>○長岡隆一郎君 勿論、今日ニ限リマセヌカラ御研究ヲ願ヒマスガ、唯其御参考トシテ申上ゲテ置キタイノデスカ、此特別地稅、附加稅ヲ徵收スルト云フ内務省ノ政府委員</p>	<p>ノ御答辯ノヤウダトオカシイコトガアリマス、ソレハアノ大藏省ノ機關雜誌ニ「稅」ト云フ論文ヲ掲ゲテ居ル、ソレヲ拜見シマスト主稅局ノ志達定太郎氏ノ「減稅法大要」ト云フ論文ヲ掲ゲテ居ル、ソレヲ拜見シマストト主稅局ノ志達定太郎氏ノ「減稅法大要」ト云フ論文ヲ掲ゲテ居ル、ソレヲ拜見シマスト</p>
<p>ト思フノデアリマス、從テ市町村ノ關係ニ於キマシテモ此解釋ガ明瞭ニナラヌト隨分紛争ヲ來スコトデアラウト思フ、デ只今青木君ヤ次田君ノ答辯ガドウモ一致シテ居ラスト云フノハ、是ハサウ云フコトマデ御研究シナカツンデアラウト思フ、ソレデスカラ今御研究ニナツテカラ御答ヘスルト云フコトデアリマスカラ、ソレデ私モ御研究ニナツテカラ御答ヲ得タイト思ヒマスガ、其御研究シナカツンデアラウト思フ、ソレデスカラ今御研究ニナツテカラ御答ヘスルト云フコトデアリマスカラ、ソレデ私モ御研究ニナツテカラ御答ヲ得タイト思ヒマスガ、其御研究シナカツンデアラウト思フ、ソレデスカラ今御研究ニナツテカラ御答ヘスルト云フコトハ、大藏省ノ政府委員ハ御同意デゴザイマスカ</p> <p>○長岡隆一郎君 サウ致シマスト墳墓地ノ所有者ニ受益者負擔金ヲ課スルト云フコトハ、地租法ノ第八十九條ニ抵觸シナイト云フコトハ、大藏省ノ政府委員ハ御同意デゴザイマスカ</p> <p>○政府委員(鈴木敬一君) 只今マデノ取扱上、國ノ公課ト解釋シテ運用イタシテ居リマス</p> <p>○長岡隆一郎君 サウ致シマスト墳墓地ノ所有者ニ受益者負擔金ヲ課スルト云フコトハ、地租法ノ第八十九條ニ抵觸シナイト云フコトハ、大藏省ノ政府委員ハ御同意デゴザイマスカ</p> <p>○長岡隆一郎君 次ニ伺ヒタイノデゴザイマスガ、從來、受益者負擔金ヲ寺院ニモ課スベシト云フ議論ガアッタ、此問題ガ解決シスカラ、此原案ヲ固執セズシテ御研究ヲ願ナカツタ爲ニ東京市、名古屋市等デ寺ノ多イ町ノ道路ノ舗裝ニ付テ幾度カ問題ヲ起シタスカラ、暫ク御猶豫ヲ御願ヒ致シマスガ、地方稅ノ各附加稅ノ制限率ハ色々異シテ居ル、町村長會議等デモ營業收益稅ノ附加稅ノ制限率ガ輕キニ失シ、地租附加稅ノ制限率ハ重キニ失スルト云フヤウナ議論ガ出テ居リマスガ、是ハ町村長ノ意見トシマジテ地方稅ノ各附加稅ノ制限率、是ガ異シテ居ル、此合理的根據ト云フモノハ何處ニアル</p>	<p>課ト解サレルノデアルカ、此地租條例ノ第四條第二項、今回ノ地租法案第八十九條ノ關係ニナリマスガ、此點ヲ御答辯ヲ願ヒタ</p>

ノデゴザイマスカ

○政府委員(鈴木敬一君) 御質問ノ點ガドノ程度マデ……地租附加税ノ制限率ノドノ點マデスカ、ハッキリ致シマセメガ、地租附加税……

〔長岡隆一郎君「地租デハアリマセメ、地方税」下述フ〕

地方税ノ附加税ガドノ點マデノコトヲ仰シヤタノカ、ハッキリ致シマセヌガ、地租附加税、營業税附加税等ニ付テハ、從來市町村……町村長會議ニ於キマシテモ課税ノ均衡ヲ得ナイト云フ非難ヲ聞イタコトハアルノデアリマス、是ハ單純ニ現在ノ制限率ヲノデアリマス、ソレカラ營業収益税ニナリマスレバ、府縣ニ付テハ地租附加税ハ百分ノ三十四……八十三、ソレカラ營業収益税ニナリマスレバ百分ノ四十一、此四十一ト八十三ト云フモノヲ比較イタシマスト、如何ニモ數字ニ隔リガアルヤウニ感ゼラレマスケレドモ、是ハ矢張リ當初カラノ沿革モアリシテ、四十三年ニ制限法ヲ制定イタシマシタ、四十三年ニ制限法ヲ制定イタシマシタ當時ニアリマシテハ、大體ノ方針ガ、地租ニ付テハ本税一圓ニ對シテ附加税全體ガ一圓、ソレカラ營業収益税ニ付テハ、當時營業税ト申シマシタガ、本税一圓ニ付テ六十

錢、サウ云フ程度ヲ以テ附加税全體ノ制限率トスルト云フヤウナ立前カラ來テ居リマシテ、其後、本税ガ或ハ輕減ニナリマスルト附加税ノ率ガ上ルト云フコトニ相成リマシテ、今日ノ數字ニナッタノデゴザイマス

ガ、大體ニ於キマシテハ其當時ノ立法ノ精神ハ今日ニ於テモ維持サレ、今回ノ改正ニ於キマシテモ大體ノ割合ハ維持サレテ居ルト思ヒマス

○長岡隆一郎君 沿革上ノ理由ニ基イテ居シテ居ルノデアリマス、併シ只今ノ御答辯ヲ伺フト、詰リ沿革上ノ理由ニ基イテ居シテ、合理的ノ根據ガナイト云フコトニ、マテ、歸著スルノデアリマス、從來、地方税制ノ改正度を行ハレテ居ルニ拘ラズ、各附加税ノ制限率ガ今尙ホ區々トナッテ居ルコトハ蓋シ其根本的改正ト云フモノハ容易ノト云フモノヲ比較イタシマスト、如何ニモ

○政府委員(次田大三郎君) 従來地租ノ附加税ノ制限率ヲ宅地ト其他ノ土地ニ付テ差同ジ率デヤッテ居リマシタノヲ、明治四十三年ニ宅地價ノ修正ヲ行ヒマシテ……其時、宅地價ノ修正ハ行ヒマシタケレドモ、田畠ノ地價ノ修正ヲ行フコトガ出來ナカッタノデ

アリマス、ソレデ宅地ハ新シイ地價ニ依ッテアリマス、ソレデ宅地カラ這入りマスル所ノ地租ノ附加税、其他ノ土地カラ這入りマスル所ノ地租ノ附加税ヲ合算イタシマシテ、土地全體トシテ附加税ノ收入ニ異動ナキヤウニ計算イタシマシテ、附加税ノ課率ヲ定メタノデアリマス、是ハ從來ノ地價デアリマスレバ、ソレガ不可能デアッタノデアリマス、今度賃貸價格ヲ課税標準ニスルコ

ト其他ノ土地トノ附加税制限率ヲ別々ニ定ムル場合ト、今回ノ如ク其制限率ヲ一ニシタ場合ト、各地方團體ノ財源ニ及ボス影響ハ何レガ大ナリヤト云フコトガ一ツ、ソレカラ大都會及之ヲ包羅スル府縣ニ無用ノ増

收ヲ生ズルヤウニ致シ、大多數ノ府縣及農村ニ不測ノ減收ヲ生ゼシムルヤウニ、結果ニ於テナッテ居リマスガ、結局、地租附加税ノ制限率ヲ一ツニシタト云フコトニ原因スルヤウニ認メラレマス、其點ハ如何デアリマスカ

○政府委員(次田大三郎君) 従來地租ノ附加税ノ制限率ヲ宅地ト其他ノ土地ニ付テ差同ジ率デヤッテ居リマシタノヲ、明治四十三年ニ宅地價ノ修正ヲ行ヒマシテ……其時、宅地價ノ修正ハ行ヒマシタケレドモ、田畠ノ地價ノ修正ヲ行フコトガ出來ナカッタノデアリマス、ソレデ宅地カラ這入りマスル所ノ地租ノ附加税、其他ノ土地カラ這入りマスル所ノ地租ノ附加税ヲ合算イタシマシテ、土地全體トシテ附加税ノ收入ニ異動ナキヤウニ計算イタシマシテ、附加税ノ課率ヲ定メタノデアリマス、是ハ從來ノ地價デアリマスレバ、ソレガ不可能デアッタノデアリマス、今度賃貸價格ヲ課税標準ニスルコ

地租ノ附加税ガ其當時ニ於テ幾ラアルカ、其他ノ土地ハ其他ノ土地全體トシテ地租ノ附加税ガ幾ラアルカト云フコトヲ計算イタシマシテ、其別々ニ附加税ノ收入ガ府縣全體ヲ通ジ、市町村全體ヲ通ジテ異動ノナイ

ヤウニ計算イタシマシテ、附加税ノ課率ヲ定メタノガ今日ノ課率ナノデアリマス、現行ノ課率ナノデアリマス、今回地租ノ附加税ノ制限率ヲ宅地ト其他ノ土地ニ付テ差等ヲ設ケナイコトニ致シマシタノハ、地租ノセラレタカラデアリマス、詰リ同一ノ條件ノ下ニ調査決定セラレタ貨貸價格ヲ課税標準トシテ地租ヲ課スルノデアリマスルカラ、ソレニ對スル附加税モ宅地ト其他ノ土地ヲ區別シナケレバナラヌト云フ理窟モ、原因モ無クナリマシタシ、ソレカラ理論上、是ハ同一ニ致スコトガ適當デアルト考ヘタノデアリマス、ソレデ宅地カラ這入りマスル所ノ地租ノ附加税、其他ノ土地カラ這入りマスル所ノ地租ノ附加税ヲ合算イタシマシテ、土地全體トシテ附加税ノ收入ニ異動ナキヤウニ計算イタシマシテ、附加税ノ課率ヲ定メタノデアリマス、是ハ從來ノ地價デアリマスレバ、ソレガ不可能デアッタノデアリマス、今度賃貸價格ヲ課税標準ニスルコ

トニ依テ初メテ可能ニナッテ參リマシタノ  
デ、而シテソレガ合理的ナ課稅ノ仕方デア  
ルト考ヘルノデアリマス、茲ニ二ツノ土地  
ガアリマシテ、一ツハ宅地デアリ、一ツハ  
田畠デアル、其質實價格ハ全ク同ジデアル  
ニ拘ラズ而シテソレニ對スル本租モ全ク同  
ジデアルニ拘ラズ、ソレニ對スル地方團體  
ノ附加稅ダケガ差等ガアルト云フコトハ極  
メテ不合理ナコト考ヘマシタノデ斯ウ云

フコトニ致シタノデアリマス、但シ其結果  
トシテ御話ノ通り、都會及都會ニ包容シテ  
居ル所ノ公共團體ノ收入、地租ノ制限満度  
マデ取りマスル賦課額ガ非常ニ増加イタシ  
マス、又農村ニ於キマシテハ其制限満度マ  
デ取リマス額、即チ制限額ガ減少イタシマ  
スコトハ御話ノ通りデアリマス、其爲ニ地  
方團體ノ財政經理上、混雜ヲ生ズルコトニ  
ナルノデアリマスガ、併シ是ハ從來トテモ  
稅制改正ノ際ニ統一的ノ稅率、統一的ノ制  
限率ヲ定メマスル際ニハ、ドウシテモ團體  
ニ依ツテ或ハ制限満度マデ取り得ル稅額ガ  
増加シ若クハ減少スルト云フコトハアルコ  
メマスル以上、已ムヲ得ナイ結果ナノデア  
地トヲ區別イタシマシテ、宅地ニ對スル附

加稅ノ率ト其他ノ土地ニ對スル附加稅ノ率  
ヲ變ヘルコトニ致シマシテ、宅地ノ方ノ附  
加稅ノ制限率ヲ特ニ低クスルコトニ致シマ  
スレバ、此原案ヨリカ地方財政ニ及ボス影  
響ハ少クテ濟ムダラウト思ヒマス、唯併シ  
ソレハ程度ガ違フト云フダケデ地方財政ノ  
方ガ困ラヌカト言フノニ、困ラヌコトハア  
リマセヌガ、程度ハ餘程違フグラウト思ヒ  
マス

### ○長岡隆一郎君

只今ノ御答辯ノヤウデア

ルト、制限率ヲ一ニシナイ方ガ地方財政ニ

及ボス影響ハ少イ、斯ウ云フコトデゴザイ

マスルカラ、要スルニ理論ニ囚ハレルガ宜

イカ、實際ノ狀況ニ即シテ立法シタ方ガ宜

イカト云フ議論ニ相成ルノデアッテ、此事ハ

討論ノ場合ニ申上ゲルコトニ致シマス、次

ニ地租附加稅ノ大增收トナル府縣及都市ノ

增收ハ何ニ充當スルカ、之ヲ分ケテ申上ゲ

シテ、而シテ之ニ準ジテ特別地稅及同附加

稅及同附加稅ノ合算額ガソレヲ超エザルヤ

シテ、而シテ之ニ準ジテ特別地稅及同附加

稅ノ制限率ヲ定メ、斯クシテ當分此暫定的

附加稅ガ改正法メヤウニ其制限率ヲ改メル

ト云フコトニナリマスルト、大都市ノ地租ノ

附加稅ハ從來ニ較ベテハ餘計ニ取レルコ

トニナルノデアリマス、之ヲ果シテ餘計ニ

取ルカ取ラナイカト云フコトハ、其團體ノ

意思ニ依ツテ決定スルノデアリマス、唯、制

限外ノ課稅ヲ致シテ居リマス所……所得稅

ノ制限外課稅、營業稅ノ制限外課稅ヲ致シ

テ居リマス所ハ、其制限外課稅ヲ續ケマス

ルガ爲ニハ、三國稅トモ、少クモ制限一バ

イノ課稅ヲスルコトヲ必要ト致シマスル關

係上、是ハ既ニ御承知デゴザイマセウガ、

明治四十一年法律第三十七號第五條ノ第三

項ニ其規定ガアルノデアリマス、制限超過

ノ課稅ヲスル場合ニハ、三國稅ニ對スル賦

ハモウ何人モ問題ノナイコトト思ヒマスル  
ガ、今回ノ地租ノ附加稅ノ大增收ニ依ツテ之  
ヲ解決スルト云フコトニ對シテ當局ニ具體  
的、數字的ノ御調查アリヤ否ヤ、第三ハ地

ハモウ何人モ問題ノナイコトト思ヒマスル  
ガ、今回ノ地租ノ附加稅ノ大增收ニ依ツテ之  
ヲ解決スルト云フコトニ對シテ當局ニ具體  
的、數字的ノ御調查アリヤ否ヤ、第三ハ地

ル暫定的ノ方法ニ依ルコトガ、地方ニ對シ  
テ最モ迷惑ヲ掛ケナイコトト考ヘマスルガ、  
此四ツノ問題ニ對シテ御答辯ヲ伺ヒタノ  
デアリマス

○政府委員(次田大三郎君) 今度地租ノ附  
加稅ノ制限率ヲ變更スルコトニ依ツテ、大都  
市ノ外ノ稅ノ整理ヲ行フ考ガアルカドウカ  
ト云フノガ第一問ト伺ヒマシタガ、サウデ  
モノトセバ、其整理ノ際ノ財源ノミヲ豫メ

アリマス

### ○長岡隆一郎君

具體的ノ調査アリヤ……

ハヌノデアッテ、寧ロ暫定的ニ、現在ソレ等

日行政、財政、稅制調査會ニ於テ研究スル

モノトセバ、其整理ノ際ノ財源ノミヲ豫メ

アリマス

課ガ各、其制限ニ達シタ時ニ限ルト云フ規定ガアリマスカラ、所得稅ナリ、營業收益稅ナリノ制限外課稅ヲ致シマスル場合ニハ、地租ヲ少クモ制限一パイヤデハ増サナケレバ、外ノ營業收益稅ノ附加稅、所得稅附加稅ノ制限外課稅ガ出來ナイト云フコトニナルノデアリマス、而シテ其方法ニ依ッテ尙ホ制限外課稅ヲシナケレバナラナイト云フ場合ガ起リマスレバ、是ハ所得稅ノ附加稅ノ制限外課稅、營業收益稅ノ制限外課稅ノ許可ノ詮議ヲ致シマスル際ニ、營業收益稅ノ附加稅、所得稅ノ附加稅ノ制限外課稅ノ額ヲソレダケ減ゼシメマスカラ、是ハ的確ニ課稅ノ整理ガ出來ルト考ヘマス、其他家屋稅、家屋稅附加稅ニ付テモ、制限外課稅ノ許可ヲ受クル場合ガアリマスカラ、其場合ニハ一方地租ノ附加稅ノ方ニ增收ガアリヲ致シマスル際ニ、家屋稅ノ制限外課稅ノ詮議マスルナラバ、家屋稅ノ制限外課稅ヲ現ト云フコトガ出來ルト思ヒマス、併ナガラドノ稅モ制限外課稅ヲ現ニヤッテ居ナイ、若クハヤッテ居リマシテモ、其額ハ極メテ少額デアリマシテ、地租ノ附加稅ヲ制限満度マデ取りマシタ場合ニハ、大變ニ餘裕ヲ生ズル、ドノ稅モ制限内課稅ニアッテ、制限外課稅ノ許可ヲ申請スル必要ガ、何レノ稅ニ付

テモナイト云フ場合ニ於キマシテハ、今申上ゲマシタヤウナ方法ニ依ッテ課稅ノ整理ヲ致サスコトハ出來マセヌデ、是ハ一般財政監督ノ方法ニ依ッテ訓令通牒ヲ發シテ公共團體ニ此事ヲヤラスヨリ外ニ方法ハナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ大都市ノ家屋稅ノ整理ノ必要ヲ認メルカト云フ御質問ニアリマス、是ハ大都市ノ家屋稅ハ御話ノ如ク、非常ニ重クナッテ居リマスルカラ、之ヲ整理スル必要ハアルト考ヘテ居リマス、此問題ハ昭和六年度ニ於テ行ハレルベキ稅制、財政、行政ノ調査會ニ於テ十分ニ調査シテ其具體的方法ヲ定メタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ暫定的ノ制限率ヲ定メテ、根本的調査ノ出來ルマデハ現在ノ儘デ進ンデ行ッタラドウデアルカト云フ御意見デアリマス、是ハ御話ノ次第モアリマスルガ、昭和六年度ニ於キマシテハ兎ニ角現在ノ儘デ行スノデアリマス、ソレカラ昭和七年度ニナリマシテ今度ノ制限率ニ依リト云フコトガ出來ルト思ヒマス、當リ前デアッテ、今ノ地方團體ノ狀況カラ云來スノデアリマス、行政財政稅制ノ整理ノ源ガナイ爲ニ仕事ガヤレナイト云フヤウナ七分ノ一ツ使ッテシマフコトハ明カデアッテ、ソレハ取ッテ置ケ、其小遣錢ハ先ヅ懷中

シソレガ昭和六年度中ニ出來マスレバ、御話ノ暫定的稅率ヲ定メルガ宜イト云フ趣旨ハ、ソレデ御話ノ通りニナル譯デアリマス、昭和七年度マデ持越シマシタ所ガ、其地方團體ノ蒙ムル影響ハ制限額ノ七分ノ一ニ過ギナインデアリマシテ、此點ハ御趣旨ノヤウニ能ク考ヘテ昭和十二年度マデノ經過規定ヲ設ケマシタ次第デアリマス。

○長岡隆一郎君 私ノ伺ッテ居リマシタコトハ、サウ云フ趣旨デハアリマセヌノデ、例へバ家屋稅若クハ其附加稅ヲ負擔ヲ輕クト云フナラバ、凡ソ數字的ニドレダケスルト云フヤラレルノカト云フヤウナ具體的數字的ノ調査ヲ伺ッタノデアリマスガ、ソレノコトヲヤラレルノカト云フヤウナ具體的ガ無ケレバ致シ方アリマセヌ、併シ何人ガ考ヘテモ明カデアリマスガ、先キニ財源ヲ與ヘテ、アトカラ調査會ノ結果、家屋稅ノ制限ヲ設ケルト云フヤウナコトハ、是ハ實質問題モアリマシタカラ重複ヲ避ケマスガ、整理節約ノ方法ニ依ッテ補填セシムルト云フコトハ是ハ事實出來ナイ、是ハ水野博士カラ御質問モアッタト思ヒマスガ、小サイ町村ニ於テハ現在以上ノ歲出ノ整理節約ノ餘地ハゴザイマセヌ、殊ニ資力薄弱ノ町村ガ多ク歲入缺陷ヲ生ズルノデアリマスカラ、斯ル貧弱ナ町村コソハ既ニ歲出ヲ十二分ニ切詰メテ現在整理シテ居ル、又然カセザルベカラザル事情ニアル、決シテ歲出ノ節約ノ餘地ガアリマセヌカラ、結局七年間ニ七分ノ一ツ使ッテシマフコトハ明カデアッ

スコトニナルヨリ外ナカラウト思フ、所ガ此府縣ニハ制限外課稅ヲ爲シ得ル費途ガ……餘裕ガゴザイマスケレドモ、小町村ノ如キハ制限外課稅ヲ爲シ得ル費途モ……餘裕モ少イ、若クハサウ云フモノハ無イト認メラレマスルガ、之ニ對シテ御調査ガアリヤ否ヤヲ伺ヒタイノデアリマス

○水野鍊太郎君 尚ホ私ハ之ニ付テ内務大臣ノ御意見ヲ承リタイ、事務的ニ大體ノ地方稅制ノコトハ大問題ト私ハ思フノデスガ、今長岡君ノ御質問ニ對シテハ方針ハ此前チヨット井上太藏大臣カラ此根本方針ニ付ケレドモ、尙ホ幸ニ内務大臣ガ御出デニナリマスカラ、内務大臣カラ此根本方針ニ付テ御意見ヲ伺ツテ置キタイ

○政府委員(次田大三郎君) チヨット事務的ノコトニ關シテ御答申上ゲマス、只今ノ長岡サンノ御質問デゴザイマスガ、其前ニチヨット私、其前ノ御質問ニ對スル御答ヲ少シ落シタコトガアリマスルカラ、補足ヲ致シテ置キタイト思ヒマスルコトハ、昭和七年度以降七分ノ一ヅツ、即チ制限ガ緩和セラレタ額ノ七分ノ一ヅツハ課稅シ得ルノデアリマス、而シテ其課稅シ得ルモノハ使テシマフ、決シテ取ツテ置キハシナイト云フ御話ナンデアリマス、御話ノ如ク地方團體

ノ財政ガ、殊ニ都市等ノ財政ハナカノ苦ノ附加稅ノ制限額が緩和サレマシテモ、先刻私ガ申上ゲマシタ通りニ、其總テノ課稅ガ全部制限内ノ課稅ニナルト云フコトハ先考ヘラレナイノデアリマス、殊ニ家屋稅ノ重イ都市ニ於キマシテハ、家屋稅ニ付テハ大抵制限外課稅ヲ致シテ居ルノデアリマスルカラ、地租ノ附加稅ニ關スル制度ガ改ガ、今長岡君ノ御質問ニ對シテハ方針ハ此前チヨット井上太藏大臣カラ此根本方針ニ付ケレドモ、尙ホ幸ニ内務大臣ガ御出デニナリマスカラ、内務大臣カラ此根本方針ニ付スル稅ノ制限外課稅ヲ……制限外課稅ニ付テ許可ヲ要シマスル制限外課稅ヲ詮議イタ

シマス時ニハ外ノコトニハ使ハセナイヤウニ努力スル考デアリマス、ソレダケノコトヲ補足シテ申上ゲテ置キマス、次ニ只今御質問ノ減收ニナリマス團體、殊ニ町村ノ財政ヲドウ見ルカト云フ御尋デゴザイマスルガ、ソレニ關シテ調査ガアルカト云フ御質問デゴザイマス、詰リ斯ノ如キ小町村ニ於收ニ依ツテ、其町村ニ非常ナ變化ヲ來シテ負擔ガ困難ニナリハシナイカト云フ御尋デアリマスガ、先達是ハ何處デカ御答ヘシタト思ヒマスルガ、矢張リ原則トシテハ歳出ノ整理節約ト云フコトハシナケレバナラヌ、併シ何モ整理節約ヲスル餘地ハナイデハナ

イカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ出來ルダケ之ニ依ツテ缺陷ヲ補填スル、サウシテ已ムヲ得ザル時ハ他ノ國稅ノ附加稅、家屋稅來ナイデアラウ、ソレニ關スル調査ヲシタ

コトガアルカト云フ御尋デアリマス、是ハシテ居リマセヌ、併ナガラ参考ニ差上ゲマ

シタ數縣ノ地租ノ附加稅ガドウ云フ風ニ動

タ、其數府縣ノ中デ、減收ノ最モ甚シイ、マア標準的ナ標本的ナ町村ヲ選ビマシテ、

ニ付テ、私ガ聽キ落シタノカモ知レマセヌ

ガ、答辯ガナカッタヤウニ思フ、ソレニ付テ

ノ改正案ヲ御提出ニナツノデアリマシテ、

ガドレダケ計上シテアルカ、結局戸數割ナリ、家屋稅ノ附加稅ニ持ツテ行カナケレバナラヌ金額ガ幾ラニナルカト云フコトニ付キ

マシテハ一通リノ調査ハ致シテ居リマス、御必要ガゴザイマスレバ、ソレヲ御目ニ掛ケテ宜シウゴザイマス

○長岡隆一郎君 今回、明治四十一年法律第三十七號、即チ地方稅制限ニ關スル法律ノ改正案ヲ御提出ニナツノデアリマシテ、

先程、府縣ニハ制限外課稅ヲ爲シ得ル費途ノ餘裕ガ多少アツテモ、小町村ノ如キハ費途ノ重イ都市ニ於キマシテハ、家屋稅ニ付テハ大抵制限外課稅ヲ致シテ居ルノデアリマスルカラ、地租ノ附加稅ニ關スル制度ガ改マリマシテ、七分ノ一ヅツ制限額が緩和サレタ、其爲ニソレダケ徵收スルト云フヤウレタ、其爲ニソレダケ徵收スルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、外ノ國稅ノ附加稅若クハ家屋稅ノ附加稅、詰リ許可ヲ要シマスル稅ノ制限外課稅ヲ……制限外課稅ニ付テ許可ヲ要シマスル制限外課稅ヲ詮議イタ

シ得ル場合ニ於テハ、「内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケテ起シタル負債ノ元利償還ノ爲費用ヲ要スルトキ」、此場合ニハ制限外ノ課稅ヲ許可スルコトヲ得ト云フコトニマア現行

法ハナツテ居ル、然ルニ實際ニ於テハ此法律通り行ハレズシテ、内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケズシテ起シタ負債、即チ俗ニ謂フ委任許可債、若クハ不要許可債、是ハ元利償還ノ爲ニモ制限外課稅ヲ御許シニナツテ居ル實例ガアルヤウニ伺ツテ居ル、茨城縣デアリマシタカ何處デアリマシタカ、私ハ其實例ヲ知ツテ居ル、是ハ法律ニ明瞭ニ書イテアルコトヲ、内規ニ依ツテ緩和サレルト云フコトハ、少シ不穩當ノヤウニ考ヘマスルガ、

○政府委員(次田大三郎君)　只今御引用ニ

ナリマンタ法律ノ第五條ノ第一項第一號ニ  
内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケテ起シタ負債  
ノ元利償却ノ爲メ費用ヲ要スルトキト云フ  
文句ノ解釋ノ問題デアリマス、是ハ此地方  
稅制ノ制限ニ關スル法律ガ出來マシタ時  
ハ、市町村ノ公共團體ノ公債ハ、ハッキリシ  
タコトハ……私ノ記憶ガ間違デアリマセヌ  
トスレバ、總テノ公債ガ内務大藏兩大臣ノ  
許可ヲ受ケルコトニナツテ居ルト思ツテ居リ  
マス、所ガ其後法律ノ府縣制市町村制ノ  
方ニ改正ガ出來マシテ、此内務大藏兩大臣  
ノ權限ニ屬シテ居リマスルモノガ、府縣知  
事ニ委任サレルト云フ事ガ起ツテ參ツタノデ  
アリマス、其際ニソレハ内務大藏兩大臣ノ  
イタシマシタ場合ニ、之ヲ内務大藏兩大臣  
ト云フ事ニ付テ内務省デ色々ミ研究ヲ致シマ  
シタ結果、ソレハ法律第五條ノ第二項第一  
號ノ關スル限りハ、内務大藏兩大臣ノ許可  
ハ、權限ガ詰リ變ツテ、從來ノヤリ方ニ依レ  
バ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ、兩大臣ニ於テ  
許可セラレタコトヲ、其權限ノ一部分ヲ府  
縣知事ニ移シタモノト見テ、此條文ハ内務  
大藏兩大臣ノ許可ヲ得テ起シタ負債、茲ニ

其府縣知事が其委任ヲ受ケテ許可シタ、其許可ヲ受ケテ起シタ負債ト云フ風ニ讀ムト云フコトニ、是ハ私ハ日時ハシカリ覺エマセヌガ、數年前ニサウ云フ風ナ解釋ニ決マリマシテ、ズット其方針デヤリ來ツて居ルト云フコトデアリマス、其事ガ穩當デアルカドウデスカト云フコトハ別問題ト致シマシテ、ソレデ許シテ居ルコトハ事實デアリマス

○ルア條セ十○ヘニ以府リ○リ○債主○

ニ、既ニ條文ハ改メナケレバナラヌモノアル、サウ云フ御答辯アレバ、此元來政官廳ト云フモノハ、法律ノ範圍ニ於テ宜處分ヲナサルト云フコトハ、是ハ宜シウザイマセウ、併ナガラ法律ノ明文ガアル拘ラズ、之ヲ動カシテ行政官廳方便宜處ラスルト云フコトヲ穩當ト御認メニナリスカ

三、中 座 一、又 教 上

居リマスル所ハ、元本五十万圓以下ノ府縣  
債ノミニ止マラズ、此四十六條ノニ規定  
シテアリマス不要許可債ノ元利債還ニ付  
ケ、制限法第五條ニ依リマシテ、制限外課  
税ヲ許シタ實例ハナイト心得テ居リマス  
カ、此點ハ能ク事實ヲ取調べマシテ、御答  
ノ致スコトニ致シマス

○長岡隆一郎君 何レニ致シマシテモ……  
ト云フノハ委任許可債ニシマシテモ、不要  
許可債ニシマシテモ、地方稅制限ニ關スル  
法律第五條第二項第二號ニ此儘ニシテ置ク  
ト云フコトハ、確ニ穩當デゴザイマセヌ、既  
ニ是ハ改正シナケレバナラヌト云フ御内議  
案ニアッタコトモ私モ能ク承知シテ居ル、折角  
ニ同此明治四十一年法律第三十七號ノ改正  
法律案ヲ御提出ニナッタノデアルカラ、從來  
ノ此不便ノ結果、法ノ解釋ヲ曲ゲテ取扱テ  
居ルト云フヤウナコトヲ止メテ、正々堂々  
ト御改正ニナッタラドウデアリマセウ、即チ「内  
務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケテ起シタル」、ト云  
ノ文字ヲ削リ、「負債」ト云二字ノ下ニ「(年度内  
一時借入金ヲ除ク)」ト之ヲ加ヘルカ、或ハ「年  
度内一時借入金ヲ除キタル負債」、斯ウ致ス  
カ、此法文ノ整理ニ付テハ、マダ練ツテ居リ  
カセヌガ、兎ニ角、折角四十一年ノ法律第

<p>三十七號ヲ御改正ニナル機會デアルカラ、今マデモ不便デアル、從テ法ノ解釋ヲ曲ゲ堂々此法律ヲ御改正ニナタッラ如何デアリマスカ、加之、大正十五年ノ法律第二十四號即チ地方稅ニ關スル法律モ今回御改正ニナルノデアリマスカラ、同様ノ理由ニ依ッテ、第五條第二項第一號ヲ御改正ニナル必要ガアルト思フノデ、是ハ御改正ニナルコトヲ御落シニナッタナラバ、私ハ此修正案ヲ提出シタイト思ヒマスガ、之ニ付テハ今マデノ御取扱ノ不便ナ……又不便ナルガ爲ニ、法ノ解釋ヲ色ニ曲ゲテ居ル、少クトモ不穩當ナ取扱ヲ致シテ居ルト云フコトヲ改メテ、正々堂々ト現在ノ取扱例ニ適スルヤウニ改メタイ、此事ニ付テハヨモヤ政府ハ異議ハナイデアラウト思ヒマスカラ、此事ハ内務大臣カラ御答ヲ願ヒマス</p>	<p>○政府委員(次田大三郎君) 私ハ其邊ノ内容ヲ詳シク知ッテ居リマセヌガ、提案シナカッタノハ、現行法ノ儘デ宜シイト考ヘテ居タカラ、提案シナカッタモノト思ヒマス、能ク調べテ又御答へ致シマス</p> <p>○長岡隆一郎君 現行法ノ儘デ宜シクナイ、宜シクナイカラ改メタイト斯ウ申上ゲテ居ルノデ、今回此法律ノ御改正ニナルニ</p>	<p>付テ、内務省、大藏省何レ兩省御協議ニナッテ、法制局ニモ御廻シニナッタノデゴザイマシウガ、此改正ヲ御落シニナッタノハ、私非常ニ頭ノ良イ方ガ御揃ヒニナッテ居ルノニ似合ハヌコトダト思テ居ル、是ハモウ當局ノ爲ニ便宜ヲ圖ラウト云フ、即チ正々堂々ノ取扱例ニ適スルヤウニ直サウト云フノデスカラ、是ハ大藏大臣モ内務大臣モ御異議ガアル筈ガナイト思ヒマスガ、如何デスカ</p>	<p>○政府委員(次田大三郎君) チヨット私力ラ申上ゲマス、實ハ此度ノ此明治四十一年法律第三十七號ノ改正モ、ソレカラ大正十五年法律第二十四號ノ改正モ今度ノ地租法ノ改正ニ伴ウテ、ドウシテモ改正シナケレバナラナイ所ダケヲ選り出シテ、其改正案ヲ提案イタシタノデアリマス、此二ツノ法律ニ付テ斯ウモシタラ宜カラウ、アアモシタラ宜カラウト云フ話ハ、是ハ内輪ノ話ヲ申上ゲルノハ甚ダ恐縮デアリマスガ、話合ウタコト、研究シタコトハアルノデアリマスガ、兎ニ角、昭和六年度ニ於テ地方稅ニ關カニ、現行法ノ儘デ宜シイト考ヘテ居タカラ、提案シナカッタモノト思ヒマス、能ク調べテ又御答へ致シマス</p> <p>○長岡隆一郎君 法律改正案ト云フノハ詰リ今マデノ法律ノ惡イ所ヲ直スノガ改正案デアリマスカラ、委任許可債ニシテモ、不要許可債ニシテモ法律ノ明文ニ反シタル取扱ヲサレテ居ルノヲ直スト云フコトハ、是ハ何等差支ナイコトデ、根本的改正ダトカ、根本的整理ト云フコトハ、是ハ別問題デ、根本的整理ト云フモナク、私立學校、殊ニ中等學校以上ハ多く中產階級以上ノ子弟ヲ收容シテ居ルノデアシテ、學校トシテハ授業料ト云フ確實ナ收入モアルノデアル、比較的確實ナ收入ガアル、先づ今日ハ不景氣デアリマスカラ、經營モ困難ノヤウデアリマスガ、景氣ノ好イ時代ニハ東京デ高等女学校ヲ許可ニナレバ先ヅ損ハシナイトマデ</p>
---	--	---	--

位言ハレタ、何モ私ハ私立學校ノ用地免租ガ  
惡イト云フノヂヤナ、社會事業ノ用地ガ  
免租ニナッテ居ナイカラ、ソレヂヤ序ニ私立  
學校ノ用地ノ免租モ廢メテシマハウトスウ  
云フヤウニ言ハレルト敷蛇ニナルノデアル  
ガ、サウ云フ趣旨ヂヤゴザイマセヌ、先ヅ  
斯ノ如キモノモ免租ニナリマシタ以上ハ、  
中產階級以下ノ者ヲ對照トシテ居ル所ノ孤  
兒院ヂアルトカ、養老院ヂアルトカ云フヤ  
ウナモノカラ地租ヲ取ルト云フコトハ餘リ  
ニ苛酷ナヤリ方デハナイカト思ヒマス、是  
ハ景氣ノ好イ時代デモ、不景氣ノ時代デモ  
經營ガ非常ニ困難デアリマスガ、今日不景  
氣ノ時代ヂ斯カル社會事業ト云フモノハ氣  
息奄々トシテ潰レ掛ツテ居ル時代ニ、家屋稅  
ニ對シテ宗教慈善等ノ公益法人ニハ之ヲ  
免稅スルコトヲ得ト云フ途モ開カレテアリ  
マスガ、斯カル細民階級救濟ヲスル孤兒院、  
養老院等カラマデ地租ヲ取ルト云フコトハ  
餘リニ是ハ苛酷デアリ、且ツ私立學校用地  
ノ免稅ト權衡ヲ得ナイヤウニ思ヒマスガ、  
是ハ他日ノ調査ニ讓ルトカ、調査會ヂ議ヲ  
練ルトカ、社會事業ノ範圍ガ曖昧デアル、  
他トノ權衡ガ何トカ云フヤウナ、サウ云フ  
月並ナ御答辯デナシニ、今日私ハ御即答ヲ  
得ルトモ思ヒマセヌガ、將來此事ニ對シテ

少クモ同情ヲ以テ成ベク長岡ノ願意ノ叶フ  
ヤウニ調查會ヂ好意ヲ以テ調査スルト云フ  
位ノ御答辯ガ欲シイノデアリマスガ、如何  
ニアリマス

○政府委員(青木得三君) 御答ヲ致シマス  
ガ、只今ノ御質問ハ嘗テ長岡サンガ社會局  
長官ニ御在職中ニ大藏省ノ方ニ御希望ヲ御  
述ベニナリマシタ事柄ニ關聯スルカト思ヒ  
マスガ、ソレハ又別ノコトヂゴザイマセウ  
カ、若シソレデアリマスレバ救護法ノ實施  
ニ當リマシテ當時ノ社會局長官ト大藏省主

税局トノ間ニ或ル新ナル免租地ヲ設ケルト  
云フコトニ付キマシテハ御約束ヲ致シタ事  
柄ガアル筈ヂゴザイマス、所ガ本地租法ヲ  
制定スルニ當リマシテ救護法實施ノ時期ガ  
未ダ確定ヲ致シマセヌデアリマシタ爲ニ、  
本地租法ノ中ニ、當時社會局ト大藏省主稅  
局トノ間ニ御話合ヒヲ致シマシタコトヲ實  
號ニハ村社マデハ免租ニナッテ居リマスガ、  
無格社ニハ恩典ヲ與ヘテ居ラナイ沖繩縣ノ  
拜所ハ性質ハ私能ク存ジマヌガ、大體内地  
ノ無格社ニ當ルモノラシイノデアリマス、  
是モ先程ノ論法デ内地ノ無格社ガ免租サレ  
地ノ取扱ヲ止メル、斯ウ云フコトニナルト  
スカラ、救護法施行ノ曉ニ於テ曩ニ御約束  
ヲ致シマシタコトヲ實現スル必要ヲ認メマ  
スル場合ニ於キマシテハ、誠意ヲ以テ御約  
束ヲ實現スルヤウナ立法ノ手段ヲ執リタイ  
ム

ハ鬼ニ角トシテ誠意ヲ以テ研究シヤウト云  
フコトデ甚ダ満足イタシマシタガ、尙ホ此  
沖繩縣土地整理法ノ第二十三條ニ依ル沖繩  
縣ノ拜所ハ從來無租地トナッテ居ルガ、今回  
ノ改正デモ無租地デセウカ

○政府委員(青木得三君) 御答ヘ致シマ  
ス、左様ヂゴザイマス

○政府委員(青木得三君) 御答ヘ致シマ  
ス、左様ヂゴザイマス

云ト云フコトヲ仰シヤツテ甚ダ迷惑シテ居リ  
マスガ、サウ云フ内密ノコトハ、ドウデモ  
ニアリマス

云ト云フコトヲ仰シヤツテ甚ダ迷惑シテ居リ  
マスガ、サウ云フ内密ノコトハ、ドウデモ  
ニアリマス

云フヤウニ御計ヒニハ行カヌモノヂゴザイ  
マセウカ

○政府委員(青木得三君) 御答致シマス、  
内地ノ無格社ト沖繩縣ノ拜所ヲ比較イタシ  
ゲテ申シマスト、水天宮ノヤウナモノハ無  
格社ノ中デ最モ顯著ナル例ニ引カレテ居ル  
ノデアリマスガ、其無格社ノ中ニハ民有地  
ニゴザイマシテ、多額ノ收益ヲ舉ゲテ居ル  
ト云フヤウナモノモゴザイマスノデ、研究  
ヲ致シマシタ結果、沖繩縣ノ拜所ト同ジヤ  
社ヲ免租地ノ中ニ加ヘマセヌ次第ヂゴザイ  
マス

云フヤウニ御計ヒニハ行カヌモノヂゴザイ  
マセウカ

○政府委員(青木得三君) 御答致シマス、  
内地ノ無格社ト沖繩縣ノ拜所ヲ比較イタシ  
ゲテ申シマスト、水天宮ノヤウナモノハ無  
格社ノ中デ最モ顯著ナル例ニ引カレテ居ル  
ノデアリマスガ、其無格社ノ中ニハ民有地  
ニゴザイマシテ、多額ノ收益ヲ舉ゲテ居ル  
ト云フヤウナモノモゴザイマスノデ、研究  
ヲ致シマシタ結果、沖繩縣ノ拜所ト同ジヤ  
社ヲ免租地ノ中ニ加ヘマセヌ次第ヂゴザイ  
マス

○長岡隆一郎君 是モサウナリマスト、内  
地ノ無格社ノ社地ト甚ダ權衡ヲ失スルヤウ  
ニナル、今回ノ地租法ノ第二條第一項第三  
號ニハ村社マデハ免租ニナッテ居リマスガ、  
無格社ニハ恩典ヲ與ヘテ居ラナイ沖繩縣ノ  
拜所ハ性質ハ私能ク存ジマヌガ、大體内地  
ノ無格社ニ當ルモノラシイノデアリマス、  
是モ先程ノ論法デ内地ノ無格社ガ免租サレ  
地ノ取扱ヲ止メル、斯ウ云フコトニナルト  
スカラ、救護法施行ノ曉ニ於テ曩ニ御約束  
ヲ致シマシタコトヲ實現スル必要ヲ認メマ  
スルモノガアルカラト云ツテ、他ノモノノ地租  
レドモ偶、例外的ニ無格社ノ中デ收入ガア  
ルモノガアルカラト云ツテ、他ノモノノ地租  
ヲ取ルト云フコトハ私ハ權衡ヲ得ナイヤウ  
ニ思フノヂゴザイマスガ、是モ議論ニ涉ル  
カラ是以上ハ申シマセヌ、篤ト御考究ヲ願  
ヒタイノデアリマス、ソレカラ地租法ノ附  
則第九十條ニ依リマスト、自作農ノ免租ノ

ト存ジテ居リマス

○長岡隆一郎君 私ノ社會局長官時代ニ云

ノ各府縣ノ無格社ノ社地モ免租ニサレルト

申請ハ昭和六年ニ限リ十二月中トアリマス、是ハ普通デアリマスレバ自作農免租ノ申請ハ三月デアリマスガ、昭和六年度ニ限リ十二月中トスウナツテ居リマス、デ申上ダル迄モナク地價二百圓以下ノ土地デアリマシテモ免租ノ申請ガナイ時ニハ自作農免租地ニハナラナイ、是ハ申上ゲル迄モナイ、然ルニ其申請ノナキ以前ニ其土地ニ對シ自作農免租地トシテ特別地稅又ハ附加稅ヲ賦課スルコトニナリハシマセヌカ、如何デゴザイマセウ。

○政府委員(青木得三君) 御答ヲ致シマス、只今ノ御質問ハ地方稅ヲ掛ケルコトニナリハシナイカト云フ御質問デゴザイマスカラ、私ガ御答ヲスル筋デハゴザイマセヌガ、此三月中ト云フコトヲ十二月中ト特ニガ、此三月中ト云フコトヲ十二月中トニ限リマサ、私カラ申上ゲマス。

○長岡隆一郎君 要リマセヌ

○政府委員(次田大三郎君) 是ハ本法ノ方ガ斯ウ云フ風ニナツテ居リマスル結果、一應ハ稅ヲ取ルコトニナルト思ヒマス、地租ノ附加稅ヲ取ルコトニナルト思ヒマス、併ナガラ本法ノ方ノ運用ニ依テ、ソレハ免租地ニナルト云フコトニナリマスレバ、其場合ニ今マデ取テ居リマス地租ノ附加稅ヨリ

少シク少額ニナルグラウト思ヒマスガ、特別地稅ニ形ガ變ル、其時ニ其餘計ノモノダケハ其納稅者ニ返スト云フ結果ニナルト思ヒマス

○長岡隆一郎君 理論上ハサウデアリマセウガ、併シ又是モ町村役場ニ隨分煩雜ナ手續ヲ強ヒルコトニナルノデ、先程ノ御答辯ト言ヒ、此問題ト言ヒ、町村役場デ聞ケバ隨分驚クダラウト思ヒマスガ、ソレハ別トシマシテ、次ノ質問ニ移リマスガ、從來法定地價ガ百九十九圓ノ土地ガアッタト致シマス、今回ノ賃貸價格ガ二百一圓トナッタモノガアルト致シマス、斯ウ云フコトハ有り得ルノデス、此間ニ水利ノ便ガ開ケタトカラ、私ガ御答ヲスル筋デハゴザイマセヌガ、此三月中ト云フコトヲ十二月中ト特ニガ、此三月中ト云フコトヲ十二月中トニ限リマセウガ、來年ハ三月デヤレバ、私カラ申上ゲマス。

○長岡隆一郎君 要リマセヌ

○政府委員(青木得三君) 御答ヲ致シマス、只今ノ御質問ハ地方稅ヲ掛ケルコトニナリハシナイカト云フ御質問デゴザイマスカラ、私ガ御答ヲスル筋デハゴザイマセヌガ、此三月中ト云フコトヲ十二月中トニ限リマセヌガ、昭和六年分ニ付テハ賃貸價格ニ依テ課稅ヲスルノデゴザイマスカラ、只今御話ノヤウナコトハ起ラナインデハアルマイカト存ジマス。

○長岡隆一郎君 此附則ノ第九十條ノ一番終ヒニ「第七十一條第一項ノ規定中三月中トアルハ十二月中トス」トアルノデアリマスカラ問題ハナイ、所ガ是ハ今度ハ申請ガ十二月中ニナリマセウガ、來年ハ三月デヤレバ、私カラ申上ゲマス。

○長岡隆一郎君 要リマセヌ

○政府委員(青木得三君) 是ハ自作農免租地ニハナリマセヌ、申ス迄モナク……本人ハ其場合ニハ勿論申請ヲ致シマセヌ、所ガ此過渡的規定ニ依リマスト地價ニ依リ徵收スペクトアリマスガ爲ニ、元ノ法定地價ガ百九十九圓デアリマスカラ、普通ノ地租モ地租ノ附加稅モ取レズ、レデ舊法ニ依ルト云フト、百九十九圓ノ土地デアルカラ、此元ノ地價ヲ襲踏スレバ、レデ舊法ニ依ルト云フト、百九十九圓ノ土は自作農免租地トナルノデ地租ハ掛ケラレヌ、所ガ賃貸價格ガ二百一圓デアルカラシテモ宜シウゴザイマスガ、地租附加稅モ取レバ、特別地稅モ取レヌ、斯ウ云フコトニナリハシマセヌカ、若シ私ノ誤解デシタラ御教ヘヲ願ヒマス。

○長岡隆一郎君 地租附加稅ノ問題ニ限局シテモ宜シウゴザイマスガ、地租附加稅モ取レバ、特別地稅モ取レヌ、斯ウ云フコトニナリハシマセヌカ、若シ私ノ誤解デシタラ御教ヘヲ願ヒマス。

○政府委員(次田大三郎君) 此附則ノ第三

項ニ、昭和六年度分ニ限テ從前ノ地租ヲ標準トシ、從前ノ規定ニ依リ地租附加税ヲ賦課スルコトヲ得ト云フ規定ハ、地租法ノ改正ニ依テ賃貸價格ヲ標準ニシテ地租ヲ納メマスルト同時ニ課スル地租ノ附加税ハ、從前ノ地租ヲ標準トシ從前ノ規定ニ依テ

賦課スルコトガ出來ルト云フ意味ナノデアリマス、ソレデ今御話ノ今年ハ法定地價ガ百九十九圓デ、而シテ十二月迄ニ免租ノ申請ヲスルコトガ出來ナイカラ、其儘デアルト云フヤウナ所デアリマスレバ、若シ其時マデ是ガ地租ヲ納メル土地デアルカ、然ラザル土地デアルカト云フコトガ分リマセヌ場合ニハ、地租ヲ二百一圓ノ賃貸價格、二百一圓ノ場合ニハ地租ノ附加税ヲ此規定ニ依テ取ルベキモノダト存ジテ居ルノデアリマス、賃貸價格ガ幾ラデアルカト云フコトハ、町村役場ニハ十二月ヲ待タナイデ分ルノデアリマス、若シソレガ二百圓以上デアレバ、申請ガ有ツテモ無クテモ地租ヲ取レル、サウスルトソレニ對シテ地租ノ附加税ヲ此附則ノ第三項ニ依テ、場合ニ依レバ從前ノ地租ヲ標準トシ從前ノ規定ニ依リ取テモ宜シト思フノデアリマス

○長岡隆一郎君 所ガサウナラヌノデス、昭和六年度分ニ限リ勅令ノ定ムル所ニ依テ、從前ノ地價ヲ標準トシ從前ノ規定ニ依テ地租ノ附加税ヲ賦課スルコトヲ得、トアリマスカラ、此場合ニハ本人ノ申請ヲ要シナイト云フヤウナ條文ヲ置カナケレババイカ

答辯モアリマスカラ、私ノ誤解デアルカ、政府委員ノ御答辯ガ正シイカ、篤ト御研究ノ上、先ノ質問ト一緒ニ他日御答ヲ願テモ結構デアリマス、大分問題ガ込ミ入ツテ居リマスカラ、尙ホ細イ問題ニ付テ質問ガゴザイマスケレドモ、大分疲勞イタシマシタカラ、私ハ地租法ニ關スル限り質問ヲ打切リマシテ、營業収益稅法以下ノ法案ニ付テハ又適當ナ機會ニ伺ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 如何デゴザイマセウカ、農林大臣ガ見エテ居リマスノデ、此ノ耕地整理法中改正法律案ノ御説明ヲ伺テ置クコトハ……マダ一過モ此法律案ニ付テ御説明ヲ伺テ居リマセヌカ

アレバ、申請ガ有ツテモ無クテモ地租ヲ取レル、サウスルトソレニ對シテ地租ノ附加税ヲ此附則ノ第三項ニ依テ、場合ニ依レバ從前ノ地租ヲ標準トシ從前ノ規定ニ依リ取テモ宜シト思フノデアリマス

テ、從前ノ地價ヲ標準トシ從前ノ規定ニ依テ地租ノ附加税ヲ賦課スルコトヲ成シテノデス、併シ是ハマア先程留保サレタ御請ヲスルコトアリマスカラ、茲ニ於キマサセヌデシタガ、此度ハ地租法ニ於キマシテ、大體、十年毎ニ賃貸價格ヲ改訂スルコトナリマシタノデ、單リ耕地整理

大藏省内ニ設置セラレマシタ關係省官吏ノ整理法中改正ノ大綱ヲ決定イタシマス爲ニ地租改正委員會ニ此耕地整理法ノ改正ノ事柄ヲ付議イタシマシテ、其審議ノ結果、耕地整理法中改正要項ナルモノガ決定セラレタノデアリマス、本改正案ハ其審議セラレタノデアリマス、骨子トシテ立案サレタモノデアリマス、斯ノ如ク本改正案ハ地價ヲ賃貸價格ニ改ムルガ爲ニ改正ヲ致シタノガ主ナル點デアリマス故ニ、從來耕地整理ニ基キテ附與セラレタル地租上ノ恩典ハ何等之ヲ變更イタシタモノデゴザリマセヌ、從テ本改正ニ於キマシテハ其恩典ノ名稱ハ地租法ニ倣テ適當ニ其名稱ハ變更イタシマシタモノ年期ノ期間ハ從前ト同様ニ致シマシタ點、此點ニ關シテ現行法ト異タル主ナル事柄ヲ申上ゲマスレバ、七十年ノ耕地整理、減租年期ニ關スル規定ヲ設ケタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ御承知ノ通リ耕地整理ニ付テ普通ノ地租上ノ恩典ハ地價ノ據置、即チ耕地整理ノ施行ニ依テ地味ガ向上シ收穫ガ增加シテモ、ソレガ爲ニ課稅標準タル地價ヲ變更スルコトナク、耕地整理

テハ、其結果トシテ耕地整理法中地租ニ關スル規定ガ當然改正ヲ要スルコトト相成シタノデアリマス、茲ニ於キマシテ更ニ耕地整理法中改正ノ大綱ヲ決定イタシマス爲ニ大藏省内ニ設置セラレマシタ關係省官吏ノ整理法中改正ノ事柄ヲ付議イタシマシテ、其審議ノ結果、耕

地整理法中改正要項ナルモノガ決定セラレタノデアリマス、本改正案ハ其審議セラレタノデアリマス、骨子トシテ立案サレタモノデアリマス、斯ノ如ク本改正案ハ地價ヲ賃貸價格ニ改ムルガ爲ニ改正ヲ致シタノガ主ナル點デアリマス故ニ、從來耕地整理ニ基キテ附與セラレタル地租上ノ恩典ハ何等之ヲ變更イタシタモノデゴザリマセヌ、從テ本改正ニ於キマシテハ其恩典ノ名稱ハ地租法ニ倣テ適當ニ其名稱ハ變更イタシマシタモノ年期ノ期間ハ從前ト同様ニ致シマシタ點、此點ニ關シテ現行法ト異タル主ナル事柄ヲ申上ゲマスレバ、七十年ノ耕地整理、減租年期ニ關スル規定ヲ設ケタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ御承知ノ通リ耕地整理ニ付テ普通ノ地租上ノ恩典ハ地價ノ據置、即チ耕地整理ノ施行ニ依テ地味ガ向上シ收穫ガ增加シテモ、ソレガ爲ニ課稅標準

テハ、其結果トシテ耕地整理法中地租ニ關スル規定ガ當然改正ヲ要スルコトト相成シタノデアリマス、茲ニ於キマシテ更ニ耕地整理法中改正ノ大綱ヲ決定イタシマス爲ニ大藏省内ニ設置セラレマシタ關係省官吏ノ整理法中改正ノ事柄ヲ付議イタシマシテ、其審議ノ結果、耕

地整理法中改正要項ナルモノガ決定セラレタノデアリマス、本改正案ハ其審議セラレタノデアリマス、骨子トシテ立案サレタモノデアリマス、斯ノ如ク本改正案ハ地價ヲ賃貸價格ニ改ムルガ爲ニ改正ヲ致シタノガ主ナル點デアリマス故ニ、從來耕地整理ニ基キテ附與セラレタル地租上ノ恩典ハ何等之ヲ變更イタシタモノデゴザリマセヌ、從テ本改正ニ於キマシテハ其恩典ノ名稱ハ地租法ニ倣テ適當ニ其名稱ハ變更イタシマシタモノ年期ノ期間ハ從前ト同様ニ致シマシタ點、此點ニ關シテ現行法ト異タル主ナル事柄ヲ申上ゲマスレバ、七十年ノ耕地整理、減租年期ニ關スル規定ヲ設ケタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ御承知ノ通リ耕地整理ニ付テ普通ノ地租上ノ恩典ハ地價ノ據置、即チ耕地整理ノ施行ニ依テ地味ガ向

上シ收穫ガ增加シテモ、ソレガ爲ニ課稅標準

テ本改正案デハ適當ノ規定ヲ之ニ設ケテ置

イタノデアリマス、以上述ベマシタル諸點ハ

何レモ地租制定ニ伴ヒマシテ當然改正ヲ要

スペキコトニナルノデアリマス、尙ホ之ニ  
關シ關聯イタシテ今回改正ヲ機會ニ市街地  
附近ノ耕地整理ニ付キマシテ特別ノ規定ヲ  
設ケタノデアリマス、即チ市街地附近ノ土  
地ハ原則トシテ耕地整理地區ニ編入スルヲ  
許サザル規定ヲ設ケタノデアリマス、原則  
トシテ耕地整理地區ニ編入スルコトヲ許サ  
ザル趣意ノ規定デアリマス、是ハ現在ノ耕  
地整理法第一條ニ明カニ規定シテ居ル通り  
デアリマスガ、申ス迄モナク耕地整理ナル  
モノハ農業上ノ利用増進ノ爲ニ行ハレルベ  
キモノナルニ拘ラズ、市街地附近ノ耕地整  
理ハ此精神ヲ脱却シテ宅地租稅ニ利用セラ  
レル慮リガアルノデアリマス、將來斯ノ如  
キコトノ無カラシムル爲ニ右規定ヲ設ケマ  
シテ、今回ノ改正ニ於キマシテハ、耕地整理  
ノ恩典ヲ嚴確ニスルト共ニ、其恩典ハ飽ク  
迄モ農業上ノ利用増進ノ爲ニ行ハレル場合  
ニノミ附興スルコトスルノ精神ヲ明カニ  
シタノデアリマス、此改正施行以後ニ於テ  
耕地整理地ノ賃貸價格ノ配賦ヲ行フモノニ  
關シテデアリマスガ、本改正施行以前ニ於  
テ、既ニ現行法又ハ舊耕地整理法ニ依ッテ地  
價ノ配賦ヲ終ツタモノニ付テハ、其配賦セラ  
レタ價格ヲバ本法施行後賃貸價格ニ改メル  
必要ガアルノデアリマス、如何ナル方法ニ

適當ニ之ヲ直スカト云フ點ニ關シマシテ附  
則ヲ以テ規定イタシタノデアリマス、本改  
正ハ右ノ如キ主トシテ地租法ノ制定ニ伴フ  
改正デアリマス故ニ、地租法ノ施行ト同時  
ニ此改正モ施行イタス必要ガアリマス故  
ニ、何卒御審議アラムコトヲ望ミマス  
○公爵一條實孝君 只今ノ農林大臣ノ御說  
明ニ對スル質問デハアリマセヌガ、大藏大  
臣ニ御質問イタシタイト思ヒマスガ……  
○子爵大河内輝耕君 私ハ耕地整理ノ方デ  
伺ヒタウゴザイマスガ、若シ他ニ關係ガナ  
イモノデアリマスレバ……  
○委員長(伯爵柳澤保惠君) 一條公爵ハ無  
關係デアリマスカ  
○公爵一條實孝君 耕地整理トハ關係アリ  
マセヌ  
○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレデハ後ニ  
願ヒマス、大河内子爵  
○子爵大河内輝耕君 只今承ツタ所ニ依ル  
ト、七十年ニ切ッタ云フコトト、宅地ヲ除  
外シタコトガ主ナル要點ニ存ジマスガ、御  
見方ニ依リマシテハ法律ヲ改正イタシマス  
レバ、致シタ時カラ、是ハ變ヘルコトガ出  
來ルト云フヤウニ考ヘラレルノデ、併シ耕  
地整理ヲ獎勵イタシマス上ニ必要ナリト致  
シテ色ミナ沿革ヲ以チマシテ期限ノナイ措  
置ト云フコトニナッタノデゴザイマス、此期  
限内据置ト云フモノハ相當尊重シナケレバ  
ナラヌコトト考ヘテ居ルノデアリマス、仍

シカ、耕地整理法ノ精神ニ合致シナイ緩  
ミガ生ジテアッタノヲ、ココデハ農業上ノモ  
ノニ限テ此法律ニ依ルト云フ少シ嚴格ニ  
レニ相當ナモノヲ與ヘレバ茲ニ於テ年期ト  
シテノ利益ガ確保セラレルト云フコトニ相  
成リマスルカラ最モ適當デアラウト考ヘマ  
シテ、七十年ト云フコトニ明カニ年期ノ恩  
典ヲ與ヘルコトニナリマシタノデゴザイマ  
ス  
○子爵大河内輝耕君 農林省ノ政府委員デ  
宜シウゴザイマス、若シ必要ノ場合ニハ大  
臣ニ御願ヒシマスガ、サウデナイ場合ハ政  
府委員デ宜シウゴザイマス、七十年ニシタ  
ノハドウ云フ譯デスカ  
○政府委員(石黒忠篤君) 只今ノ大河内子  
爵ノ御尋デゴザイマスガ、只今マデ耕地整  
理地價据置ノ恩典ハ別段現行法ニ付キマシ  
テハ期限ヲ切ッテ居リマセヌ、施行前ノ地區  
内ノ地價ノ價格ヲ相當ニ取リマシテ、ソレ  
ヲ据置ク、サウ云フコトニ相成ダテ居ツタノデ  
アリマス、期限ガゴザイマセヌガ故ニ、一  
方カラ見レバ永久ノ据置トモ見ラレル、又  
見方ニ依リマシテハ法律ヲ改正イタシマス  
至極御尤ダト思ヒマスガ、從來此免稅ノ恩  
典ヲ受ケテ居ツタヤウナ宅地モ今度ハ自然  
稅ガ上ガルヤウナコトニデモナリマスノデ  
スカ  
○政府委員(石黒忠篤君) ソレデ分リマシタ、ソ  
レカラ宅地ノ方ノ今度除外サレタノハ是ハ  
期ニ七十年ノ期間ガゴザイマス  
○子爵大河内輝耕君 ソレデ分リマシタ、ソ  
レカラ宅地ノ方ノ今度除外サレタノハ是ハ  
至極御尤ダト思ヒマスガ、從來此免稅ノ恩  
典ヲ受ケテ居ツタヤウナ宅地モ今度ハ自然  
稅ガ上ガルヤウナコトニデモナリマスノデ  
スカ  
○政府委員(石黒忠篤君) 御尋ヲチヨット  
私聽キ漏シタコトデゴザイマスカモ存ジマ  
セヌガ、從來ノ恩典ヲ受ケテ居ツタ宅地ト申  
ジヤウナ宅地モト云フ意味デゴザイマスレ

バ、今度ハ、從來ニ於キマシテハ市ノ區域及農林大臣ノ指定スルヤウナ市街地的ノ所モ一應除外ヲ致シテ居ルノデアリマスルカラ、同ジヤウナ所デ、耕地整理ヲヤルト云

フコトガ出來ナクナリマス結果、從來ト同

ジヤウナ土地ハ取扱ハレナイ、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 今ノデ能ク分リマシタガ、私が伺ッタノハ、是ハ誤解シテ居ルカモ知レマセヌガ、御遠慮ナク御指摘ヲ願ヒ

マス、丁ノ所ニ將來ノ整理施行地域内ノ宅地ニ於キマシテハ其趣旨ニ依ルコトトシテ

色ミナコトガ書イテアル、是ハ從來ハ是デ宜シノデゴザイマスカ、從來トモ耕地整

理法ニ依ッテ宅地ノ都市計畫ト云フヤウナモノハヤツタノダラウト思ヒマスガ、サウ云

フモノハ有ツタノデスカ、無イノデスカ、將來ノトアリマスト、從來ノガ無ケレバナラ

ヌヤウニ思フノデスガ、或ハ私一向斯ウ云

フコトハ存ジマセヌデスカラドウゾ……

○政府委員(石黒忠篤君) 従來、市及市街地的所ニ於キマシテ行ヒマシタル耕地整

理モゴザイマスルシ、又只今既ニ認可ヲ得テヤツテ居リマスルモノモゴザイマス、ソレ

ハ耕地整理法ノ今度ノ改正法ノ附則ニ於キマシテ、十六條ニ於キマシテ、ソレヲ規定

ヲヤツテ居ルノデアリマス、即チ其處ノ地區内ニゴザイマス宅地ニ關シマシテハ、概シ

テ申上ゲマスレバ、恩典ヲ與ヘナイ主義ニ致シタノデアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウスルト與ヘナイト云フコトニナリマスト、具體的ニ仰シヤルト、ドウ云フコトニナリマスカ、恩典ヲ與ヘナイト云フノハ、恩典ヲ今マデ持ッテ居ツテ、今度ハドウ云フ風ニナルカ、其詳細ヲ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(有働良夫君) 少シ細目ニ涉リマスノデアリマスカラ、私カラ御答ヲ申上

ゲマス、此問題ハ衆議院ニ於キマシテモ大分質問應答ガ重ねラレタノデアリマスガ、

先づ御了解ヲ得テ置カナクテハナリマセヌ

コトハ、從來ヤリマシク認可ヲ致シマシタ

耕地整理ト致シマシテモ、此宅地ノ問題ニ付テノ根本的ノ趣旨ハ此改正案ト別ニ變ル

コトハゴザイマセヌ、即チ此市街地附近ノ耕地整理ニ致シマシテモ、元ノ耕地ヲ整理

改良イタシマシテ、矢張リ改良セラレタル

耕地ニスルト云フ設計ノ下ニ耕地整理ノ認可ヲ與ヘテ居ルノデゴザイマス、ソコデア

リマスガ、其設計ニ依リマシテ道路水路等ノ工事ヲ始メマスルト、發展シツワアリマ

スル市街地附近デアリマスト、其工事ニ伴

ヒマシテ段々其處ニ宅地ガ出來テ行クノデアリマス、實際此宅地ガ出來テ行キマスノハ、耕地整理ノ設計即チ耕地整理ノ事業ト

シテスルコトデハゴザイマセヌデス、耕地整

理ハ何處マデモ矢張リ田畠ヲ改正スルト云

トコトデアリマスケレドモ、耕地整理ノマ

ダ終リマセヌ中途ニ於テ日々此宅地ガ殖エ

テ行ク、是ハ耕地整理ノ組合員ノ個人ニ委任スルコトナンデゴザイマス、デアリマス

カラシテ此宅地ニナツテ行キマス之ニ對シ

マシテハ耕地整理法ハ直接關係ヲ有タナイ

問題デアリマシテ、此事ガ今迄ノコトニ致

シマシテモ、ソレカラ此改正案ニ規定シテ居リマス趣旨カラ致シマシテモ、其事ハ同

シマシテモ、ソレカラ此改正案ニ規定シテ

居リマス趣旨カラ致シマシテモ、其事ハ同

シマシテモ、然ルニ從來ハ耕地整

理ノ今ノ工事進行中ニ段々宅地ニナツテ行

キマスルモノニ對スル取扱ガ多少區々ニ

シマシテモ、ハツキリ整理ヲ致シマシテ、農

業ニ關係ノナイ宅地ガ此耕地整理法ニ依テ

シマシテ、其年期ノ恩典ヲ附ケナイコトニ

マスレバ、ソレ等ハ此際ココデ整理ヲ致

耕地整理ヲヤツテ居ツタ所ガ即チ農業ノ積リデヤツテ居タニ相違ガナイ、ソレガ宅地ニナツテンマッタ、宅地ニナツテンシマッタ以上ハ

從來ノ恩典ヲ除クト、即チ七十年ト云フ恩典ヲ除イテシマウ、斯ウ云フ御説明ダト承

知シマスガ、若シサウダトシマスト、是等ノ宅地ニ對シテハ直グニ普通ノ賃貸價格同

様ニ、普通ノ土地ト同ジク賃貸價格ヲ定メ

テ國稅地方稅モ掛ケラレル、斯ウ云フ結果ニナルト承知シテ宜シウゴザイマスカ

ノ附則十六條ニ定メテ居ルノデゴザイマス、既ニ地價配賦ヲシテ、モウ手續ガ濟ンデシ

マツテ居ルモノハ此法律改正ト共ニ新シイ賃貸價格ヲ取ルト云フコトニナル、ソレカラマダ手續進行中ニアリマシテ地價配賦ガ

マダ濟ンデ居リマセヌモノニ付キマシテハ、此次ノ改訂期即チ昭和十三年デゴザイ

マスカ、十三年ノ改訂期ニ於テ新ニ調査シタル賃貸價格デ取ル、斯ウ云フコトニナリ

マスカラ必然ノ結果ト致シマシテ、マダ地價配賦ノ手續ヲ現行法ニ依テ致シテ居リ

マセヌモノハ此十三年マデハ低イ元ノ儘ノ地租デ宜シイ、斯ウ云フコトニナリマス、

十三年カラ其時改訂イタシマスル賃貸價格

增加ハ地租ニナリマスノデゴザイマスガ、

其大正十三年ニ調査致シマシタ賃貸價格ニ

依テ改マッテ行クト云フコトニナッテ居リ  
マス

○子爵大河内輝耕君 其將來ノハソレハ宜

シウゴザイマスガ、此次ノ賃貸價格ヲ取ル

ト云フノハソレデ宜シイノデゴザイマス

ガ、今回稅ヲ掛ケラレルト云フノハ恩典ヲ

失フト云フコトニナリマスガ、ソレハ面積

ニシマシテドノ位、アリマスカ、其賃貸價

格ノ總額、國稅竝ニ地方稅ノ總額ハ幾ラニ

ナリマスカ、参考書ヲ戴イテ居ルナラ参考

書ニ付テドウカ御説明ヲ願イタイノデアリ

マス

○男爵阪谷芳郎君 私ノ所へ最近ニ名古屋

ノ人ガ陳情ニ参テ、名古屋ガ大都市計畫ニ

ナッタカラ市部ノ中ニ澤山郡村宅地ガアル、

ソレニ大キナ道路ヲ付ケル、耕地整理ニ依

テヤツタ所ソレヲ今度政府ガ其既得權ヲ認

メテ吳レナイト云フコトヲ大變苦情ヲ申シ

テ居リマスガ、何カ既得權ヲ害スルヤウナ

コトガアルト大變而白クナイノデアリマス

ガ、ソレハドウ云フ事實デスカ

○政府委員(石黒忠篤君) 只今阪谷男爵ノ

御言葉ニモアリマシタヤウニ、此問題ハ名

古屋ガ一番關係ガ大キヤウニ存ジテ居リ

マス、ソレ以外ニ於キマシテハ福島縣群馬

縣ナドニ多少ノ例ガゴザイマス、併シ名古

屋ガ一番大キヤウニ思ヒマス、御承知ノ

通リニ名古屋市ガ非常ニ大キナ地積ヲ市ノ

區域ニ致シマシタ云フ結果サウ云フコト

ニナッタモノト承知イタシテ居リマス、從來

都市計畫區畫整理ト云フヤウナ特別ノ法規

モゴザイマセナカッタ時ニハ、市ノ近郊ノ土

地ガ耕地整理ト云フコトデ以テ一應田圃ヲ

埋メマシテ畑ニスルト云フヤウナコトヲ致

シ、道ヲ造ルト云フヤウナコトニ致シテ、

サウシテソレガ耕地整理ト致シマシテハ耕

地ノ利用増進ヲスルト云フコトデ計畫ガ

立ッテ居リマシタモノヲ、ソレガ出來テシマ

ヒマンテカラ、ソレヲ更ニ個人々々ノ處分

ニ依リマシテ宅地ニスル、斯ウ云フコトデ

ヤツテ來テ居タノデゴザイマス、其方法ヲ

取りマシテ宅地ノ……終局ニ於テ宅地ノ造

成ヲスルト云フ見込デ耕地整理ヲスルト云

ヒマンテカラ、ソレヲ更ニ個人々々ノ處分

ニ依リマシテ宅地ニスル、斯ウ云フコトデ

ヤツテ來テ居タノデゴザイマス、其方法ヲ

取りマシテ宅地ノ……終局ニ於テ宅地ノ造

成ヲスルト云フ見込デ耕地整理ヲスルト云

ヒマンテカラ、ソレヲ更ニ個人々々ノ處分

ト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 其名古屋ノ人ノ言フ所

ニ依ルト、本人等ハ全ク此恩典ニ浴スルコ

トヲ計算ニ入レテ色ニ費用モ使タノデア

ル、所ガ政府ガ此法律ニ依テ此得ラルベキ

利益ヲ奪ハレルト云フヤウナ意味ニ聞エル

ノデアルガ、サウ云フコトハナイノデスカ

○政府委員(石黒忠篤君) 全ク個人々々ノ

目論見ト云フモノハサウ云フ所ニアッタ人

モゴザイマセウト存ジマスガ、耕地整理法

ガ地租ニ關シマシテ左様ナ恩典ヲ特ニ與ヘ

テ居リマスルノハ、土地ノ農業上ノ改良增

進ト云フコトガ食糧政策上必要デアリ、耕

地整理法ニ依テヤリマスルコトハ相當強

制力ヲ以テヤッテ居ルト云フヤウナ關係上、

相當之ニ對シテ獎勵ヲ必要トスルト云フノ

タノデゴザイマス、耕地整理法ノ附則第

六條ニ斯様ナ規定ガアリマス「大正十五年三

月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル整理施

行地區内ノ土地ノ賃貸價格ハ其ノ土地ノ屬

スル郡又ハ市ニ於ケル土地ノ地目別ノ大正

十五年四月一日現在ノ地價ノ合計額ヲ以テ

之ニ對スル地租法第九十二條ノ規定ニ依ル

賃貸價格ノ合計額ヲ除シテ得タル比率ヲ地

目別ニ每筆ノ地價ニ乘ジタル額トス」ト云

フコトガゴザイマスガ、是ガ只今問題ニナッ

テ居リマス所謂恩典ト云フモノデアリマ

ス、是ハドウ云フコトデアルカト申シマス

ト、先づ賃貸價格調査ノコトヲ一應御話ヲ

云フヤウニ考ヘテハ居リマセヌ

○湯地幸平君 チヨット牽聯シテ……宜シ

ウゴザイマスカ

○委員長(伯爵柳澤保惠君) 宜シウゴザイ

マスガ大河内サンハ……

○子爵大河内輝耕君 今ノ材料ガ出來マシ

タラ……

○政府委員(青木得三君) 御答ヘ致シマ

ス、只今茲ニ數字ヲ申上げマスガ、其數字

ヲ申上ゲル前ニ其數字ヲ如何ナル數字デア

ルカト云フコトヲ前以テチヨット御説明シ

ナケレバナラヌト思ヒマス、ドウカ耕地整

理法ノ附則ノ第六條ト云フノヲ御覽ヲ願ヒ

タノデゴザイマス、耕地整理法ノ附則第

六條ニ斯様ナ規定ガアリマス「大正十五年三

月三十一日迄ニ地價配賦ヲ爲シタル整理施

行地區内ノ土地ノ賃貸價格ハ其ノ土地ノ屬

スル郡又ハ市ニ於ケル土地ノ地目別ノ大正

十五年四月一日現在ノ地價ノ合計額ヲ以テ

之ニ對スル地租法第九十二條ノ規定ニ依ル

賃貸價格ノ合計額ヲ除シテ得タル比率ヲ地

目別ニ每筆ノ地價ニ乘ジタル額トス」ト云

フコトガゴザイマスガ、是ガ只今問題ニナッ

テ居リマス所謂恩典ト云フモノデアリマ

ス、是ハドウ云フコトデアルカト申シマス

ト、先づ賃貸價格調査ノコトヲ一應御話ヲ

五年四月一日現在デ耕地整理地ノ賃貸價格ヲ調査致シマシタ耕地整理地ニ付テモ左様デゴザイマス、大正十五年四月一日現在デ耕地整理地ノ賃貸價格ヲ調査致シマス際ニ、大正十五年三月三十日マデニ地價ノ配賦ガ済ンデ居リマシタ整理施行地ニ付キマシテモ、耕地整理ノ結果、其土地ガ利用ガ増進ヲシテ居ルト云フ其結果ヲ併セテ賃貸價格ヲ調査イタシマシタノデアリマス、言換ヘマスト其賃貸價格ノ調査ト云フモノハ耕地整理ノ結果ガ現ハレタ賃貸價格ナノデゴザイマス、所ガ此度先程農林省カラ御説明ニナリマシタヤウニ耕地整理ノ結果賃貸價格ガ増スト云フ、其増シタル賃貸價格デ地租ヲ取ラレルト云フ場合ニ於テハ、從來耕地整理ヲシテモ地價ハ殖サナイト云フコトニナッテ居タニモ拘ラズ、今度賃貸價格ノ調査ヲスル結果、耕地整理ヲシタ爲ニ賃貸價格ガ殖エルト云フコトデアッテハ、從來ノ恩典ト達フデハナイカト云フ御説ガ出マシタ、ソコデ此附則ノ第十六條…第六條ニ書イテアリマスヤウニ大正十五年三月三十一日マデニ地價配賦ヲ爲シタル整理施行地區内ノ土地ノ賃貸價格ハ…是ハ大變複雜ナコトデアリマスガ、兎モ角モ或ル割引ヲ致シマシテ、サウ

ト云フコトハ地租ヲ取ル上ニ於テハ現ハレ  
ナイヤウニシヤウト云フ規定ナノデアリマ  
ス、然ルニ此附則第六條ト云フモノヲ…  
附則第十六條ト云フモノヲ御覽戴キマスト  
云フト、附則第十六條ニ於テ「附則第六條ノ  
規定ハ市ノ區域内ノ宅地及主務大臣ノ指定  
スル地域内ノ宅地ニハ之ヲ適用セス」と云  
フコトガゴザイマスノデアリマスカラ、今  
ノ賃貸價格ヲ調査スル時ニ耕地整理ノ結果  
ヲ見テ、高イ賃貸價格ガ出テ居ルモノハ田  
畑ニ付テハ割引ヲシテ地租ヲ取ルト云フ附  
則第六條ノ恩典ヲ此市ノ區域内ノ宅地ニハ  
之ヲ適用シナイト云フ規定ヲ設ケマシタノ  
デアリマス、是ハ私共ノ考ヘル所デハ、賃  
貸價格ノ調査ト云フコトガ無カリシ時代ニ  
於テ、如何ニシテ斯ノ如キコトガ豫想サレ  
ルデアリマセウカ、耕地整理ヲオヤリニナッ  
タ時ニ、賃貸價格ノ調査ト云フコトガ來ル  
コトヲ豫想セラレナイデオヤリニナッタノ  
デアリマスルガ、賃貸價格ヲ調査スルト云  
フ結果斯様ナコトガ出テ來ルト云フコト  
ハ、誠ニ已ムヲ得ナイコトデアルト私ハ存  
ジテ居ルノデアリマス、ソコデ此數字ヲ申  
上ゲマス、其數字ハ市及市ニ準ズベキ區域  
内ニ於キマシテ、耕地整理地ニ對シマシテ

此則第六條ノ規定ヲ假ニ適用スルトシタ  
云フコトヲ取調べマシタ譯アリマス、デ  
ナラバ、如何ナル結果ガ出テ參リマスカト  
整理地ニ對シマシテ、附則第六條ノ規定ヲ  
適用スルト如何ナル結果ヲ生ズルカラ取調  
ペマスニ當ツテハ、先づ第一ニ現在地價ト云  
フモノヲ調べナケレバナリマセヌデシタ、其  
現在地價ハ三百四十九万五千七百七十一圓  
ト云フノデゴザイマス、又ソレニ對シテ取  
調べマシタ所ノ賃貸價格ハ、五百五十二万  
三千八百二十圓デゴザイマス、ソコデ此附  
則第六條ノ規定ニ依ツテ、此規定スル割引ヲ  
スルト云フト、ドレ位賃貸價格ガ減ルデア  
ラウカト云フコトヲ計算イタシテ見マシタ  
所ガ、其賃貸價格ガ減ルデアラウト思ハレ  
ル金額ハ百三十一万三千六百十五圓デゴザ  
イマス、然ルニ毎度茲ニ問題ニナリマス所  
ノ三倍八割ノ増加スルモノハソレヲ制限ス  
ルト云フコトガアリマスカラ、尙ホ賃貸價  
格ハ減少イタシマシテ、結局其第六條ノ規  
定ヲ適用スルトセバ、如何ナル賃貸價格ニ  
依ツテ課稅スペキカト云フ、其賃貸價格ハ三  
百八十万四千四百八十二圓ト相成リマス、此  
貸價格ノ減少モ含マレテ居リマスガ、兎モ角

ト云フト、五百五十二万三千八百二十圓ノ  
賃貸價格ニ對シテ稅ヲ取リマスト云フト二  
十万九千九百五圓ニナリマス、又只今申上  
ゲマシタ三百八十万四千四百八十二圓ヲ賃  
貸價格トシテ稅ヲ取リマスレバ十四万四千  
五百七十七圓ト云フコトニ相成リマスカラ、  
ソコデ稅ノ違ヒハ、是ハ日本全國ニ付テデ  
アリマスガ、六万五千三百三十五圓ト云フ  
數字ニ相成ッテ居リマス、之ニ地方稅ノ附加  
稅ノ限制率ヲ御掛ケ下サレバ、自然又地方  
稅ノ計數ガ出テ參ル譯デアリマス

<p>○政府委員(青木得三君) 是ハ農林省ノ方 カラ御答ニナッテモ宜シイカト思ヒマスガ、便宜私カラ御答ヲ致シマシテ、足リナイ所 ハ尙ホ補足シテ戴クコトニ致シマスガ、先程農林大臣或ハ農務局長、耕地課長カラモ申上、ゲマシタヤウニ、耕地整理法ト云フモノハ私ガ申上ゲル迄モナク耕地ノ増進ヲ目的トシテ出来テ居ルモノデアラウト存ジマス、隨テ大藏省ガ從來此耕地整理地區ニ對シテ地價ノ配賦ヲスルニ當テ、耕地整理ニ依テ地價ガ增加シテ居ルニモ拘ラズ、從來ノ地價ヲ配賦ヲスルニ當テ、耕地整理ニノ増進ヲ保護或ハ獎勵スル目的ヲ以テヤッテ居ルノデアリマシテ、決シテ宅地ノ増進ヲ目的トシテ斯様ナ恩典ヲ與ヘルモノデナカタコトハ一點ノ疑ガ私ハ無イト存ジテ居リマス、不幸ニシテ名古屋等ニ於キマシテ、其權限ガ地方長官ニ委任セラレテ居リマシタ爲ニ、地方長官ガ市街宅地ノ造成ヲ目的トスル所ノ耕地整理ヲ御許シニナッタト云フコトハ、耕地整理法ヲ惡用シタ云フ言葉ハ使フコトガ出來ナイト致シマシテモ、私共ハ誠ニ遺憾ナコトデアラ、大藏省ガ恩典ヲ與ヘマシタ趣旨ヲ全ク没却イタシテ居ルト存ジテ居リマス、其點ニ付キマシテハ農林當局ニ於テモ大藏省ノ意見ニ對シ</p>
<p>○子爵大河内輝耕君 意味ハ能ク分リマンタガ、其御方針ハサウ承知シテ宜シイノデスガ、實際問題ト致シマシテ、ドレダケノ範圍ガ適用ニナリ、ドレダケノ範圍ガ適用ニナリ、結局數字ハ何處ニ落付ク譯デスカナラヌカト云フ問題ハ、將來ノ問題ハ別デゴザイマスガ、過去ノ問題ニ付キマシテハ、附則第十六條ニ規定イタシマスル如ク附則第六條ダケノ問題デゴザイマス、而シテ其附則第六條ノ規定ニ依リマシテ、若シモ市ノ中ノ宅地ニモ適用ヲスルトスレバデス、尙ホ六万五千圓減ルベキ所デアリマスガ、左様ナ規定ヲ適用スルコトハ不穩富、妥當デナイト考ヘマスカラ適用ヲ致シマセヌカラ、六万五千圓ダケ地租ヲ負擔スル金額ガラ、六万五千圓ト云フノハ六大都市ガ主ダラウト思ヒマスガ、何カ各市ニ付テノ區別トカ何トカ、大體ノ觀念ガ得ラレマスマイカ、何處デ幾ラ／＼ト云フ……</p>
<p>○子爵大河内輝耕君 サウスルト大體マア六万圓位ト押ヘテ御尋ネ致シマスガ、其大體六万圓ト云フノハ六大都市ガ主ダラウト思ヒマスガ、何カ各市ニ付テノ區別トカ何トカ、大體ノ觀念ガ得ラレマスマイカ、何處デ幾ラ／＼ト云フ……</p> <p>○委員長(伯爵柳澤保惠君) ソレヲ表カ何カニシテ渡シテ下サイ</p>
<p>○政府委員(青木得三君) 此表ハ印刷ニ致テナイト考ヘマスカラ適用ヲ致シマセヌカラ、左様ナ規定ヲ適用スルコトハ不穩富、妥當デナイト考ヘマスカラ適用ヲ致シマセヌカラ、六万五千圓ダケ地租ヲ負擔スル金額ガラ、六万五千圓ト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、茲ノ恩典ニ浴シナイ土地ト云フ意味ハ先程申上ゲマシタヤウニ附則第十六條ノ規定ガゴザイマシテ、市ノ區域内ノ宅地及主務大臣ノ指定スル地域内ノ各宅地トスウナツテ居リマス、尙ホソレニ但書が出來マシテ市ノ区域内ノ宅地ニシテ主務大臣ノ指定スル地</p>

域内ノモノニ付テハ此限りニ非ズト規定シ  
テゴザイマス、而シテ此主務大臣ハ農林大臣ノナサルコトデアリマス、尤モ農林大臣ガ之ヲナサル時ニハ大藏省ニ御協議ヲ願フコトニ御願ヒガシテゴザイマスガ、農林大臣ノナサルコトデアリマス、ソレデ農林省ニ於キマシテハドレダケノ區域ヲ指定スルカト云フコトハマダ御確定ニナッテ居ラナイノデアリマス、私ガ只今申上ゲマシタ數字ハ大凡是位ノ範圍ニ於テ御指定ニナルデアラウト云フ大藏省ノ推測ヲ以テ取調べマシタ數字デゴザイマスガ、サウ云フ條件附キガ御差支ゴザイマセヌケレバ成ルベク御希望ニ副フヤウニ致シタイト思ヒマス

ラ御出シ下サツテ宜シイ、ソレカラモウ一  
ツ此機會ニ於テ本案ヲ審議スルノニ關係シ  
テ居ルノデ御尋不シテ見タイト思ヒマス、  
農林省ノ御役人サンデ宜シウゴザイマス、  
某地ノ耕地整理組合ガ市街宅地ト田畠トヲ  
地區トシテ面積約二百町歩ヲ將來宅地ノ見  
込トシテ設計シ、勸業銀行ヨリ資金ヲ借り  
マシテ工事ヲ完成シタ、組合ハ土地ノ配當ヲ  
其他割地ノ事務ガ済ンダ、市街地ハ配當ヲ  
一般ニ一割引イテ配當スルコトニナツタ、何  
故ナラバ道路トカ、溝渠等ノ爲デアリマス、  
所ガ殘餘地ヲ生ジタ、ソレヲ賣、タ金ガ四五  
万圓出來タ、ソレハ組合長ガ銀行ニ預金シ  
タ儘デ今日マデ長イ間放任シテ居ル、斯ウ  
云フコトニ對シテ監督官廳ハ一切放任シテ  
置クノデアルカ否ヤ、斯ウ云フ問題デアリ  
マス

耕地整理法ノ認可ヲ致シテ居タ嫌ガゴザ  
イマスノデ、ソレヲ今度ハ此機會ニ於キマ  
シテ、明カニ其弊ニ陥ラナイヤウニ明文ヲ  
以テ豫メ之ヲ許サヌコトニ致シタイト云フ  
ノガ今回ノ改正ノ趣旨ナデアリマス、從  
來ノモノニ付キマシテハ、能ク取調べマシ  
テ十分ノ監督ヲ致シタイト思ヒマス

○森田福市君 御氣付キニナフテ居ラヌデ  
ハ仕方ガナイガ、監督官廳ハ斯ウ云フコト  
ヲ放任シテ置クコトハ宜シクナイト思ヒマ  
スガ、組合長ハ土地モ貰ヘナケレバ何モ貰  
ヘナイ、詳シイコトヲ言ヘバ組合長ノ名マ  
デ申上ゲテモ宜シイガ、餘リソレハドウカ  
ト思ヒマスガ、御氣付キニナフテ居ル筈ダ  
ト、知テ居ラレル筈デアリマスガ、御知リ  
ナカッタト言ハレルノハ不思議ダガ、知ラヌ  
トイシヤルナラバ、委員會ノ開會中ニ御調  
査ニナフテ簡単ニ結果ダケデモ御報告ヲ得  
タイ、本案ニ付テノ質問ハ多少アリマス  
ガ、藤田サンカラ御尋ヲ致サレルサウデス  
ガ、私ハ大藏大臣ニマダ鳲ノ著イテ居ラヌ  
所ガ多少アルノデ鳲ヲ著ケタイト思フノデ  
アリマス

マシタガ、此數字ハ各稅務監督局カラ只今  
監督局ニ更ニ電報ヲ以テ紹介イタシマセヌ  
ケレバ、府縣別ノ數字ガ分リマセヌ、從ラテ  
本委員會ノ御繼續中ニ間ニ合フカ、ドウデ  
アリマスカ、ト云フコトハハキリト御約  
束ヲ致シ兼ネマスカラ、豫メ申上ゲマス、  
是ハ全ク事務的ニ間ニ合フカ間ニ合ハヌカ  
ト云フコトノ次第アリマス

又主務大臣ト申シマスレバ農林大臣ト云  
フ御話デゴザイマスルガ、拒否權ハ農林大臣  
臣デアリマシタカ知リマセヌガ、宅地ノコ  
トニ付テノ課稅ヲ定メマスルコトハ大藏大  
臣ナリノナサルベキモノデヤナイノデゴザ  
イマセウカト云フコトモ併セテ承知シタ  
イ、ソレカラシテ主務大臣ノ指定スル地域  
内ト云フノハ、大藏大臣ガナサルノニ屬シ  
マスルカ知リマセヌガ、農林大臣カ知リマ  
セヌガ、是ハ豫メ案ガ出來テ居リマスルノ  
デゴザイマスカ、其時ノ都合ニ依ッテナサル  
ノデゴザイマセウカ、其場所ト云フモノハ、  
ソレモ併セテ承知シタイ

計畫ノ方ニ準用スルカト云フコトニ付テ、  
新タニ御定メニナラナケレバナラナイコト  
ニ相成リマス、而シテ其準備ハ今日都市計  
畫課ニ於テ、既ニ著々進ンデ居ルコトト存  
ジマス、是ハ都市計畫課長其他内務省ノ政  
府委員カラ御答ヲ申上ゲル方ガ宜シイカト  
存ジマス、ソレカラ東京市外ノ耕地整理組  
合カラ陳情ガ出テ居ルト云フ御話デゴザイ  
マスガ、是ハ私ハ承知イタシテ居リマセヌ  
ノデ、農林當局ノ方カラ御答ヲ致スコトト  
存ジマス、大正十五年三月三十日ヲ區切  
リニ致シマシタノハ、ドウ云フ譯デアルカ  
ト申シマスト、先程モチヨント申上ゲマシタ  
ノデゴザイマスガ、大正十五年四月一日ト  
云フノハ、即チ賃貸價格ヲ調査イタシマシ  
タ日ナノデゴザイマス、其賃貸價格ノ調査  
ヲ致シマス際ニ於キマシテ、斯ウ云フ大方針  
ヲ耕地整理地區ニ付テハ立テタノデアリマ  
ス、即チ大正十五年四月一日前ニ地價ノ配  
賦ガ濟ンデ居ル耕地整理地區ニ付キマシテ  
ハ、耕地整理ノ結果ガ現ハレタ高イ賃貸價  
格ヲ取調ベルト云フ方針ヲ立テタ、ゾレカラ  
シテ大正十五年四月一日前ニ地價ノ配賦ノ  
マダ濟ンデ居ラナイ所ノ耕地整理地區ニ付  
テハ、其賃貸價格ハ耕地整理ノ結果ノ現ハ  
レナイ所ノ、低イ賃貸價格ヲ取調ベルト云

フ方針ヲ以テ取調べマシタカラ、大正十五年四月一日後ニ地價配賦ヲナシタル耕地整理地區ニ付キマシテハ、賃貸價格ハ耕地整理ナカリシモノトシテ出來テ居ルノデアリマスカラ、是ニ付テハ何等ノ恩典ヲ與ヘルトカ、與ヘラレヌトカ云フ問題ハ起リマセヌ、唯大正十五年四月一日前ニ地價配賦ヲ了シタル耕地整理ニ付テハ、賃貸價格ノ由ニ耕地整理ノ結果方問題ニ相成リマス次第デゴザイマス、主務大臣ノ解釋ニ付キマシテハ農林省ノ方カラ御答ヲ願フ方ガ宜シイト思ヒマス。

○藤田四郎君　主務大臣ノ解釋デアリマスガ、ドウモ斯ウ云フモノガ出來マスト主務大臣ノ命令權ヲ……權限ヲ一つ定メテ、ソレカラ之ニ來ルヤウニナラナイト、不十分ノヤウニ思フノデアリマスガ……

○政府委員(青木得三君) 尚ホ一應附加ヘテ申上ゲタイト思ヒマスガ、耕地整理法ト云フノハ勿論、農林大臣ノ主管セラル法律デゴザイマスガ、只今御覽ニナッテ居リマス通リニ、此度御協贊ヲ願ンテ居リマス改正案ハ地價、賃貸價格……地租ノ方ガ主ニ依フテハ是ハ地租法ノ中ニ入レテ、サウシテ大藏大臣ガ之ヲ主管セラルト云フコト

モーツノ考ヘ方デアリマスケレドモ、從來  
総令地價ノコトデアリマシテモ、地租ノコ  
トデアリマシテモ、是ハ耕地整理法ノ中ニ  
入れテゴザイマスモノデスカラ、ソレデ農  
林大臣ノ主管デアッテ、農林大臣ガ種々ナル  
命令ヲ發シテ居ル次第ゴザイマス、尙且  
足リマセヌ所ハ農林省ノ方カラ御答ヲ致シ  
マス。

即チ農業上ノ利用増進ニ當ルヤ、否ヤト云  
フ判断ハ農林大臣ニ於テサレテ適當ナコト

ト存ジマスノデゴザイマスガ、從ヒマシテ

此耕地整理ノ地區内ニ入ルコトガ出來ルカ  
出來ナイカノ判断ガ本ニナリマシテ、其結

果法ノ規定イタシテ居リマスル恩典ヲ受ケ  
得ルヤ否ヤト云フコトガ自然ナ結果トシテ

出テ參ルコトナノデゴザイマス、其意味ニ  
於キマシテ農林大臣ガ能ク土地ノ事情ヲ考  
慮イタシマシテ決定イタシテ之ヲ指定ヲス  
ル、其指定ヲ公表イタシマスレバソレデ適  
當デアラウカト考ヘテ居リマス

○藤田四郎君 目黒ノ方ハ……東京附近ノ  
方ハ……

○政府委員(石黒忠篤君) 只今藤田委員ノ  
御質問ノ東京附近ノ耕地整理ニ付テ色々陳

情ガアルト云フコトデゴザイマスガ、東京  
附近ノ目黒ノ耕地整理、ソレカラ玉川村デ  
スカ、ソレカラ長崎……奥鴨ノ方ノ先ノ長  
崎村ノ近邊ノ耕地整理ト云フヤウナ所カラ

二三回参リマシテ、組合事務ノ取扱ノ上ニ  
於テ耕地整理組合ガモウ少シ事務ヲ促進シ  
テ貰ヒタイ、或ハ會計上ニ於テ十分ノ監督

ヲシテ貰ヒタイト云フヤウナ陳情ガ參ッタ  
コトガゴザイマス、其都度東京府ヲ督勵ヲ  
致シマシテ、換地交付ヤ何カノ促進ヲ致シ

マスルヤウニ十分注意ヲ致シテ居リマス次  
第デゴザイマス

○藤田四郎君 サウスルト此分ハ此處ニチ  
ヨット書類ヲ見タノデゴザイマスルガ、マダ  
名古屋ノヤウニ進歩シタルモノデヤナイン  
デゴザイマスカ

○政府委員(有働良夫君) チヨット明確ニ  
致シ兼不マシタガ、詰リ東京附近ノ耕地整  
理ハ名古屋ノ例ノ如ク、宅地化シテ居ル部  
分ガ進ンデ居ナイカドウカト云フ御趣意ノ  
ヤウニ承ハリマシタガ、サウデアルト致シ  
ト大體見テ居リマス、名古屋ハ著シク宅地  
化シテ居リマス、是ハモウ極ク大體ノ觀測  
デゴザイマシテ、左様申上ゲテ宜カラウト  
思ヒマス

○藤田四郎君 私ノ御尋シタノハ既ニ農林  
大臣ノ許可ヲ得テ耕地整理法ニ依ッテ其計  
畫ヲ進行シテ、既ニ出來上ガタモノデアル  
カドウカト云フヤウナコトノ程度ガ、名古  
屋程進ンデ居ルヤ否ヤト云フコトヲ、進行  
ノ工合ヲ比較ノ爲ニ聽イタノデアリマス

○政府委員(有働良夫君) 名古屋ノ方ガ少  
シ進ンデ居ルト大體考ヘテ居リマス、名古  
屋ノ方ガ少し早ク行テ居ルト考ヘテ居リ  
マス

○政府委員(石黒忠篤君) 私ハ先程藤田委  
員ノ御質問ヲチヨット取違ヘテ居リマシタ、  
ト云フ質問トサウ考ヘマシタガ、サウデハ  
ナクテ、此耕地整理法ノ改正法律案ニ對シ

マスル、地租上ノ恩典ニ付テノ影響ヲ慮テ  
マスル、地租上ノ恩典ニ付テノ影響ヲ慮テ  
ト云フ質問トサウ考ヘマシタガ、サウデハ  
ナクテ、此耕地整理法ノ改正法律案ニ對シ

陳情ヲシテ參リマシタコトニ付テノ御質問  
は東京府ノ耕地協會、區劃整理協會、兩

方連名デ御手許ニ陳情書ヲ出シテ居ルヤウ  
デアリマスガ、私共ハ此陳情ニハ接シテ居

リマセヌ、今有働政府委員カラ申上ゲマシ  
タヤウニ、東京府ノ市街宅地的ノ耕地整理  
ハ名古屋ニ比シマスルト少イヤウニ思ヒマ

ス、私ガ先刻モ申上ゲマシタ、三ツノ事例  
ハ、是ハ郊外ノモノデゴザイマスルガ、一  
部分市街宅地的ノモノモ含ンデ居リマスケ  
レドモ、多クノ部分ハ矢張リ耕地ノモノデ

アリマス

○政府委員(青木得三君) 御答ヘ致シマス  
ガ、只今仰セニナリマシタコトハ、此都市

計畫法又ハ特別都市計畫法ニ依リマシテ、  
土地區劃整理ト云フモノヲスルト云フコト  
デゴザイマスレバソレハ全然耕地整理法ノ

法律ニハ關係ゴザイマセヌノデアリマス  
ガ、若シ耕地整理法ノ規定ヲ適用シテ、耕

地整理ト云フ形式ヲ取テ區劃整理、都市計  
畫ヲヤルト云フコトデアリマスレバ、是ハ

農林省ノ方カラ御答ニナシテ居リマスルヤ  
ガ、若シ耕地整理法ノ規定ヲ適用シテ、耕

地整理ト云フ形式ヲ取テ區劃整理、都市計  
畫ヲヤルト云フコトデアリマスレバ、是ハ

農林省ノ方カラ御答ニナシテ居リマス、サウ  
ニ、サウ云フモノハ、將來ハ許サナイ方

針デアルト仰セニナシテ居リマス、サウ致シ

シタノデアリマシタガ、尙ホモウ少シ伺、テ  
置キタイト思ヒマスルノハ、是カラ先モ此

市街ノ中デモ、幾分カ耕地整理組合、此處カ  
行シタイト云フモノモアルグラウト思ヒマ

スガ、從來ノ特典ト云フヤウナモノハナク  
ナルト致シマシテモ、矢張リ法律上ノ不道

理ナモノデモ、其仲間ニ加ヘルノモ此法律  
ニ依ルノガ必要デアリマセウカ、ソレハ矢

張リ將來内務大臣ノ方デナサルノデアリマ  
スカ、サウシテソレハ矢張リ宅地ノモノデ

ゴザイマスカラ、大藏省へ移サヌデモ、當  
然大藏省ノ方ニアルノデアリマスカラ、差  
支ナイノデアリマスカ

○政府委員(青木得三君) 御答ヘ致シマス  
ガ、只今仰セニナリマシタコトハ、此都市

計畫法又ハ特別都市計畫法ニ依リマシテ、  
土地區劃整理ト云フモノヲスルト云フコト  
デゴザイマスレバソレハ全然耕地整理法ノ

法律ニハ關係ゴザイマセヌノデアリマス  
ガ、若シ耕地整理法ノ規定ヲ適用シテ、耕  
地整理ト云フ形式ヲ取テ區劃整理、都市計  
畫ヲヤルト云フコトデアリマスレバ、是ハ  
農林省ノ方カラ御答ニナシテ居リマスルヤ  
ガ、若シ耕地整理法ノ規定ヲ適用シテ、耕  
地整理ト云フ形式ヲ取テ區劃整理、都市計  
畫ヲヤルト云フコトデアリマスレバ、是ハ  
農林省ノ方カラ御答ニナシテ居リマス、サウ  
ニ、サウ云フモノハ、將來ハ許サナイ方  
針デアルト仰セニナシテ居リマス、サウ致シ  
シタノデアリマシタガ、尙ホモウ少シ伺、テ  
置キタイト思ヒマスルノハ、是カラ先モ此  
市街ノ中デモ、幾分カ耕地整理組合、此處カ  
行シタイト云フモノモアルグラウト思ヒマ  
スガ、從來ノ特典ト云フヤウナモノハナク  
ナルト致シマシテモ、矢張リ法律上ノ不道  
理ナモノデモ、其仲間ニ加ヘルノモ此法律  
ニ依ルノガ必要デアリマセウカ、ソレハ矢  
張リ將來内務大臣ノ方デナサルノデアリマ  
スカ、サウシテソレハ矢張リ宅地ノモノデ  
ゴザイマスカラ、大藏省へ移サヌデモ、當  
然大藏省ノ方ニアルノデアリマスカラ、差  
支ナイノデアリマスカ

<p>マスレバ、是ハ茲ニ都市計畫課長モ居リマスカラ、御答ヘスルト思ヒマスガ、ソレハ内務大藏兩省ノ間ニ勅令ノ規定ニ依テ、此耕地整理法ノ一部ヲ準用シテ、サウシテ市街地内ニ於ケル都市計畫ノ地租及賃貸價格ヲ定メルト云フヤウナコトニ致ス考ヲ持テ居ルノデアリマス</p> <p>○藤田四郎君 只今ノハ能ク諒解イタシマシテゴザンマスガ、唯先刻モ御尋ネシク「主務大臣ノ指定シタル」ト云フ分、ゴザイマスルガ、今ノ宅地トシテ行クノハ宜シウゴザイマスガ、耕地整理法ノ或恩典ヲ得マスモノニ付キマシテハ、矢張リ此指定ノ利害ガ大變アルコト思ヒマスガ、是ハドウ云フ形式ニナッテ、此法律ガ出來レバ直ニ出來マスモノデスカ、必要ニ應ジテナサルノデゴザンスルカ、ドウ云フモノデスカ</p> <p>○政府委員(石黒忠篤君) 其點ヲ先キニ御答ヘ致シマスノヲ失念イタシマシテ、甚ダ恐縮デゴザイマスガ、此農林大臣ガ指定ヲ致シマスルノハ、大體ニ於テ市街地タル市街如キ隨分廣い市ノ區域ガアルノデアリマスカラ、其間ニ於キマシテ必要ニ應ジマシテ、及ビ近キ將來ニ於テ市街地タルコトガ明カニ認メラレルヤウナ所ヲ指定ヲ致ス積リデ居リマス、併シ只今何處々々ヲヤルト</p>	<p>云フコトヲ確定的ニ持テ居リマセヌ、法律ガ通リマシタナラバ、直ニ地方長官ノ意見ヲ十分ニ徵シマシタ上ニ指定ヲ致シタイト</p> <p>○藤田四郎君 ソレハ鄭重ニ御調べニナルノハ大變結構デゴザンスルケレドモ、人ノ利害ニ關スルコトゴザンスルカラ、豫メ是ハ御定メニナッテ置クベキモノデアルト思ヒマスガ、大抵法律ヲ行フト云ヘバ、同時ニ是ハ出來ベキモノダラウト思ヒマスガ、既ニ施行シタル場所ハ其土地ニ依テ地方官ノ意見ヲ聞イテナント云フノハ、何ダカ心細イヤウナ感ジガ致シマスガ……</p> <p>○政府委員(石黒忠篤君) 大體市ノ區域ノ所ハ法律ヲ以テ概括的ニ明瞭ニナッテ居ルノデゴザイマス、唯全部指定ヲ了シマスルマデハ、市ニ準ズルヤウナ住宅建物等ノ稠密ナ所ヲ、市デナクテモ市ノ郊外等ニ於キマシテ、續イタヤウナ所ヲ指定イタシタイト云フ考ヲ持テ居リマス、尙ホ市ノ區域内ノ所デモ、農業上ノ利用ヲ主ト致シマシテ認メテ差支ナイヤウナ所ヘ……名古屋市ノ恐縮デゴザイマスガ、此農林大臣ガ指定ヲ致シマスルノハ、大體ニ於テ市街地タルコトガ事下サツテ居ラヌノデゴザンシテ、第六條ノ結果トシテ十六條ヘ出來テ、其十六條ニ依テ居ル所ニハ御返</p>
<p>○政府委員(有働良夫君) 此十六條ノ問題デゴザイマスガ、是ハ今申上げタヤウニマダ何處々々ト云フ具體的ニ場所ヲ極メテ居農業用ニ使フ宅地ト云フモノハ耕地整理ノ恩典カラ省クト云フ趣意デアリマスカラ、此法案が定マリマスレバ當業者ト致シマシテハ、サウ云フ宅地ハモウ除外サレルト云ノデゴザイマス、唯全部指定ヲ了シマスル非常ニ拔打チ的ニドウスルト云フ性質ノモノデゴザイマセヌ、而シテ是ハ豫メ調べトハメタニゴザイマセヌカラ、チヨット一ツ特ニ伺、テ置キタインデアリマスガ、是ハ過日競馬法ノ改正ニ依テ馬券賣得稅ガ附セラレ、競馬俱樂部ニ對スル地方公共團體ノ寄附金モ自然ナクナルト云フコトニ對シテ置キマシテモ、一箇月ノ中ニ……</p> <p>○藤田四郎君 モウ段々時間モ經チマスカラ、ソレデハ私ノ尋ねテ居ル所ニハ御返</p>	<p>○政府委員(井野頼哉君) 十六條ハ適用セナイト云フコトガアルノデス、恩典ヲ……、ソレデアリマスカラ、ソレハ早ク御極メニナルベキモノデアルノダラウト思フノデス、後ニナツテノモノデハナイヤウニ讀ミマシタノデスガ……</p> <p>○長岡陸一郎君 此耕地整理法中改正法律コトガアルノデス、恩典ヲ……、ソレデアリマス</p>
<p>案ニ付キマシテハ、私モ質問ガ多々ゴザイマスガ、實ハ今日農林大臣ノ御説明、提案ノ理由ヲ承ハタダケデマダ質問事項モ定メテ居リマセヌガ、誠ニ御迷惑デゴザイマスガ、モウ一度農林省ノ御方ノ御出デヲ願ヒタイト云フコトヲ希望シテ置キマス、唯内務大臣ト農林大臣ノ御顔ノ揃ヒマスルコトハメタニゴザイマセヌカラ、チヨット一ツ特ニ伺、テ置キタインデアリマスガ、是ハ過日競馬法ノ改正ニ依テ馬券賣得稅ガ附セラレ、競馬俱樂部ニ對スル地方公共團體ノ寄附金モ自然ナクナルト云フコトニ對シテ置キマシテモ、一箇月ノ中ニ……</p> <p>○藤田四郎君 モウ段々時間モ經チマスカラ、ソレデハ私ノ尋ねテ居ル所ニハ御返</p>	<p>ガ、ドナタデモ宜シウゴザイマス、外ノ御方デモ宜シウゴザイマスカラ、御答辯ヲ願ヒマス</p> <p>○政府委員(井野頼哉君) 大體租稅ノ關係デゴザイマスカラ、六月中マデニハ必ズ調べマシテ指定スル積リデアリマス</p> <p>○長岡陸一郎君 此耕地整理法中改正法律コトガアルノデス、恩典ヲ……、ソレデアリマス</p>

	副委員長 男爵阪谷 芳郎君	國務大臣	大藏大臣 井上準之助君
委員	公爵一條 實孝君	商工大臣 俵 孫一君	内務大臣 安達 謙藏君
	侯爵細川 護立君	農林大臣 町田 忠治君	
	子爵梅小路定行君		
	子爵大久保 立君		
政府委員	子爵大河内輝耕君		
	子爵裏松 友光君		
	水野鍊太郎君		
	伊澤多喜男君		
	男爵小畠大太郎君		
	男爵黒田 長和君		
	男爵井上 清純君		
	片岡 直溫君		
	藤田 四郎君		
	湯地 幸平君		
	馬場 錠一君		
	長岡隆一郎君		
	後藤 文夫君		
	木村清四郎君		
	大橋新太郎君		
	森 平兵衛君		
	濱口儀兵衛君		
	田中 一馬君		
	森田 福市君		
出席者左ノ如シ	出席者左ノ如シ		
午後四時三十三分散會	午後四時三十三分散會		
委員長 伯爵柳澤保惠君	御贊成ナラバ		
散會イタシマス、明日八十時ヨリ始メマス			
出席者左ノ如シ	出席者左ノ如シ		
委員長 伯爵柳澤保惠君	〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕		
○委員長(伯爵柳澤保惠君)	御贊成ナラバ		
○委員長(伯爵柳澤保惠君)	ソレデハ今日		
ハ、贊成ガゴザイマスレバ、是デ散會シテ			
宜シウゴザイマスカ			
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕			
○委員長(伯爵柳澤保惠君)	ソレデハ今日		
ハ、贊成ガゴザイマスレバ、是デ散會シテ			
宜シウゴザイマスカ			